

官報

號外

明治二十六年二月二十五日

土曜日

內閣官報局

○第四回 帝國議會 衆議院議事速記録第四十三號

明治二十六年二月二十四日(金曜日)午後一時二十七分開議

議事日程 第四十二號 明治二十六年二月二十四日

午後一時開議

- 第一 砂鑛採取法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第二 選舉干涉ニ關スル上奏案(河野廣中君外三名提出) (請願委員)(長報告)
- 第三 土岐川河身改修工事差止ノ請願 (請願委員)(長報告)
- 第四 岐阜縣震災土木工事實地調査ノ請願 (請願委員)(長報告)
- 第五 宮津港ニ浦鹽斯德港等貿易ニ關スル船舶ノ出入及貨物ノ積卸ヲ許スノ法律案(神輿知常君提出) 第一讀會
- 第六 製鐵所設立ニ關スル建議案(柏田盛文君提出) 第一讀會
- 第七 生絲検査所法案(神輿知常君外十三名提出) 第一讀會
- 第八 生絲検査所設置ノ建議案(影山秀樹君外七名提出) 第一讀會
- 第九 蠶業傳習所設置建議案(五十嵐力助君外十三名提出) 第一讀會
- 第十 海底電線布設ニ關スル建議案(鵜飼郁次郎君提出) 第一讀會
- 第十一 風水災地方租稅特別處分案(加賀美嘉兵衛君外十二名提出) 第一讀會
- 第十二 古物商取締條例中改正法律案(森東一郎君外二名提出) 第一讀會
- 第十三 海關稅法案(鈴木昌司君外四名提出) 第一讀會
- 第十四 外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案(角田眞平君外十名提出) 第一讀會

○議長(星亨君) 是ヨリ開會ヲ致シマス

(水野書記官長朗讀)

改野耕三君外五名提出ニ係ル岐阜縣震災費ニ關スル件、加藤喜右衛門君外一名提出ニ係ル會計法無視ニ關スル質問ニ對シ井上內務大臣ヨリ答辯アリ

衆議院議員改野耕三君外五名ヨリ岐阜縣震災費ニ關スル質問及加藤喜右衛門君外一名ヨリ橫濱築港ノ工事ニ關スル質問ニ對シ內務大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御同付候也

明治二十六年二月二十三日

內閣總理大臣伯爵伊藤博文

衆議院議長星亨殿

衆議院議員改野耕三君外五名提出岐阜縣震災費ニ關スル質問ニ對シ別紙

衆議院議事速記録第四十三號

明治二十六年二月二十四日

議長ノ報告

答辯書差進候也

明治二十六年二月二十三日

內務大臣伯爵井上馨

衆議院議長星亨殿

衆議院議員改野耕三君外五名提出岐阜縣震災費ニ關スル質問ニ對スル答辯

岐阜縣震災費ニ關スル質問ノ件ハ目下事實ニ就キ專ラ調査中ニ係リ未タ其結了ヲ告クルニ至ラス依テ今之レヲ辯明スルニ由ナシ若シ不當ノ事アルトキハ政府ハ相當ノ處分ヲ行フヘシ

明治二十六年二月二十三日

內務大臣伯爵井上馨

衆議院議員加藤喜右衛門君外一名提出明治二十六年一月十二日付質問ニ對スル答辯書別紙差進候也

明治二十六年二月二十二日

內務大臣伯爵井上馨

衆議院議長星亨殿

衆議院議員加藤喜右衛門君外一名提出明治二十六年一月十二日付質問ニ對スル答辯書

橫濱築港ノ工事タル水中ニ經營スル所ノ大事業ニシテ其主要ノ材料タルセメントハ一時ニ多量ヲ要シ其品質ハ一定ニシテ硬化ノ度亦適宜迅速ナルコト最モ緊要ナリ然ルニ既往ノ實歴ニ徴シ現時ノ實況ニ於テセメント製造者ニシテ充分製造力ニ富ミ且製造品ノ適當ト認ムヘキ者ニ就キ直接買入ヲ爲スニアラサレハ其目的ヲ達スルヲ得ス故ニ臨時橫濱築港局ハ會計法第二十四條第四項ニ依リ隨意契約ヲ以テ製造者ヨリ直接買入ヲ爲スヲ必要ト認メ淺野總一郎ヨリ六千噸ノセメントヲ購入シタリ

明治二十六年二月二十二日

內務大臣伯爵井上馨

貴族院ニ於テ商法及商法施行條例中改正並施行法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

田中正造君工藤行幹君香月恕經君加藤六藏君犬養毅君百万梅治君加藤政之助君武市安哉君佐々田懋君加藤淳造君福田久松君ヨリ北海道炭鐵鑛道會社ニ關スル件、中村彌六君柴四朗君長谷場純孝君犬養毅君ヨリ無籍外國人ヤコツブカルステン殺人被告事件ニ關スル件、田中正造君ヨリ油坑借區損害賠償ニ對スル不正支拂ニ關スル件及石川縣人斬巡査在職不法ニ關スル件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

北海道炭鐵鑛道會社ニ關スル質問

北海道炭鐵鑛道會社ノ義ニ關シテハ明治二十四年十二月二十一日第二回議會ニ於テ議員田中正造ヨリ質問書ヲ提出シタルモ政府ハ之ニ答辯ヲ與ヘスシテ議會ノ解散ヲ命シ尋テ明治二十五年四月二十三日第三回議會ニ於

テ再ヒ田中正造加藤淳造ヨリ質問書ヲ提出シタルニ政府ハ六月十三日即チ議會開會ノ前日ニ差迫リ漸ク書面ヲ以テ答辯ニ及ヘリ然レトモ其言フ所曖昧模稜ニシテ質問者ノ疑義ヲ氷釋スルニ足ラス抑這般ノ事件ヲ取リテ之ヲ曖昧模稜ノ間ニ沒スルハ固ヨリ政事ノ公明ヲ缺キ國民ノ不信ヲ來ス所以ナルヲ以テ爰ニ更ニ發見シタル新疑義ヲ併セテ再ヒ質問書ヲ提出ス當局大臣ハ憲法ノ命スル所ニ從ヒ十分責任ヲ負ヒ日ヲ期シテ公明歟クナキヲ答辯アラント望ム

第一 百八十萬圓ノ官費ヲ注入シタル幌內郡春別鐵道及炭礦ヲ一箇年僅々五千圓ツノ借用料ヲ以テ村田堤ニ貸下ケタル理由如何トノ前同ノ質問ニ對シ政府ノ答辯スル所、毎年七萬餘圓ノ補充費ヲ要セス、二、三貸下料五千圓ヲ收メテ之ヲ他ノ事業ニ轉用ス、三、官費ヲ要セスシテ都春別鐵道ヲ落成ス云々ノ理由ヲ以テ貸下ケタルナリト云フニアリ然レトモ一、初メ國庫カ七萬餘圓ノ補充費ヲ要シタルハ素ト該鐵道改良ノ事業ニ充テタルモノナリ去レハ今之ヲ村田堤ニ貸下クレハ該補充費ノ支出ヲ要セサルニ至ルト雖モ之ト同時ニ一面ニ鐵道ヲ遂ニ改良セラルルノ期ナク自然其敗壞ニ任セサル可カラサル事トナル是レ果シテ國家的事業ヲ處理スルノ道ナル乎

第二 政府ハ拂下價格ヲ三十五萬圓ト定メタルハ純益ヲ以テ年利一割ニ相當スル元金ヲ算出シタルナリ云々ト答ヘリ然レトモ右鐵道及炭礦ハ政府カ百八十餘萬圓ヲ費シタル大事業ニシテ現ニ拂下許可ヲ得タル堀基ハ前ノ拜借人村田堤ニ對シ權利讓受料ノミニテモ三十萬圓其他所屬物件讓受料トシテ合シテ金七十二萬餘圓ヲ支拂タリ由是看之右鐵道及炭礦ハ少クとも金七十二萬餘圓ニ値ヒスルモノナリ然レニ政府ハ年利一割云々ノ口實ヲ以テ僅々三十五萬餘圓十箇年賦支拂トナシタリ是レ果シテ國家ノ財政ヲ整理スルノ道ナル乎

第三 郁春別鐵道ハ六十三萬餘圓ノ高價ヲ以テ拂下ヲ出願シタル先願者ニ許可セシテ却テ後願者タル堀基ニ僅々三拾五萬圓ノ低價ヲ以テ拂下ケタリ之ニ對スル政府答辯ノ要旨ハ前者ハ資本金僅ニ六拾萬圓ニシテ規模狹隘ナルニ由ル云々ト云フニアリ然レトモ是レ詭罔ナリ蓋シ先願者タル村田堤等ハ明治二十二年一月金三拾萬圓ヲ以テ拂下ヲ出願シタルニ政府ハ之ヲ以テ低廉ニ失ストナシテ許可セス更ニ鐵道價格ノ半額ヲ見積リ五拾八萬餘圓トナシ別ニ國道開設費五萬圓ヲ上納スヘシト内諭シタリ(此内諭ハ北海道理事官堀基ノ口達シタルモノナリ)是ニ於テ村田堤等ハ其内諭ニ基キ同年五月合計金六拾三萬餘圓ヲ以テ拂下ヲ出願シタルモノナリ然レニ政府ハ之ヲ許可セス同年九月ニ至リ僅々貳拾四萬餘圓ヲ以テ前ニ北海道理事官ヲ奉職シ而カモ現ニ右ノ内諭ヲ口達シタル堀基ニ拂下ケタリ拂下當時ノ事情ハ實ニ此ノ如シ故ニ會社資本金ノ多少規模ノ廣狹ハ固ヨリ其當時ニ於テ知ルヲ得ヘキニアラス且會社ノ性質トシテ必要ニ應ジテ資本金ヲ増加シ規模ヲ擴張スルハ常ニ爲シ得ヘキ所ナリ然レニ政府ハ此明白ナル事實ヲ避ケテ辯解ヲ與ヘズ徒ニ規模狹隘云々ヲ構ヘテ口實トナス是レ益疑團ヲ増ス所以ナリ尙右先願後願許否當時ノ眞事實ニヨリ理由ヲ詳悉シテ明答セシコトヲ望ム

第四 郁春別鐵道補足工事其他ノ費用六萬四千餘圓ハ北海道炭礦鐵道會社ヨリ直接村田堤ニ償却スヘキ契約アルニ拘ハラズ政府ハ右鐵道拂下代金貳拾四萬七千餘圓ノ内初期ノ年賦金トシテ炭礦鐵道會社ヨリ納付セシ金圓ヲ更ニ村田堤カ鐵道借用中郁春別鐵道補足工事其他ノ費用償還トシテ同人ニ下附シタル理由如何且ツ此項ハ前回田中正造ヨリ質問シタルニ之ニ對シテ政府ノ答辯セサルハ如何其理由ヲモ併セテ答辯セシコトヲ望ム

第五 又郁春別鐵道ノ全延長ハ四哩二千五百十呎ニシテ此内一哩ハ明治十九年北海道廳ニ於テ自ラ築設セシモノナルコトハ村田堤等カ拂下願書ヲ見ルニ事實明白ナリ然レニ政府ハ此一哩分ノ官設費ヲモ併セテ村田堤カ補足工事費トシテ同人ニ下附シタル理由如何且此一哩モ前回田中正造ヨリ質問シタルニ之ニ對シテ答辯セサルハ如何其理由ヲモ併セテ答辯セシコトヲ望ム

第六 北海道炭礦鐵道會社ハ其鐵道工事ニ就キ同社カ當初道廳ニ差出シタル鐵道線路圖面並ニ工事方法書ニ違反セリ其顛末ハ

(一) 室蘭空知太閤幹線及ト空知夕張兩炭山ニ達スル支線トモ共起終兩點ヲ始メ中心線ノ位置ハ概シテ之ヲ變更シタリ則チ支線ニ在テハ甲ハ幹線ノ最終點タル空知太ニ起リ空知ニ終リ乙ハ幹線中ノ馬追ニ起リ夕張ニ終ルヘキ線路圖面ナリシニ會社ハ恣ニ甲支線ノ起點ナル空知太ヲ變更シテ砂川(此間凡二哩半ヲ隔ツ)トシ乙支線ノ起點タル馬追ヲ變更シテ追分(此間凡十二哩ヲ隔ツ)ト爲シタリ而シテ各線點地モ亦其場處ヲ變更シ此變更ノ爲メ甲ハ凡二哩ヲ減縮シ乙ハ凡十六哩ヲ延伸シタリ是レ壇ニ線路ヲ變更シタル事實ノ主要ナル者ナリ

(二) 明治二十二年八月九日附該社創立願書ニハ資本金五百萬圓ニ對シ向十ヶ年間利子御補給云々ト有リ又之ニ對スル内閣ノ指揮ニ依ル命令書ニ鐵道資本ニ對シ利子補給云々ト有リ而シテ該社カ工費豫算書トシテ同月二十一日附ヲ以テ社長堀基ノ名ヲ以テ道廳ニ差出シタル書面ニ據ル時ハ其内譯左ノ如シ

一金三百六十八萬九千九百二十六圓	鐵道建設費
一金二百七十七萬二千七百七十四圓	幌內鐵道改良工費
一金三百三十七萬三千三百圓	室蘭築港工費

右工費豫算書中明揭スル如ク該社ハ百三萬餘圓ヲ以テ室蘭埠頭建築并ニ浚渫埋立等ヲ爲ス可キ管ナルニ後室蘭カ軍港ニ豫定サレタル爲メ僅カニ假橋ヲ架スルニ止メテ之ガ工費ヲ轉シテ線路變更哩程延長等ノ工費ニ充テタリ

抑、當初ノ線路圖面并ニ工事方法書等ハ私設鐵道條例第一條「旅客及荷物運輸營業ノ目的ヲ以テ鐵道ヲ布設セント欲スル者ハ發起人五名以上結合シ鐵道會社創立願書ニ起業目論見書ヲ添ヘ本社ヲ設置セントスル地ノ地方廳ヲ經由シテ政府ニ差出スヘシ」ニ據リテ會社カ政府ニ差出シ以テ一旦認定ヲ得タル確定不動ノ者ニシテ若シ會社カ擅ニ之ヲ變更シテ甲地方ニ架設スヘキ者ヲ乙地方ニ移ス如キアラハ私設鐵道條例ハ無キニ均シ故ニ同條例第二十八條ニハ特ニ

「會社ニ於テ工事ノ方法又ハ會社ノ定款ヲ變更セントスルトキハ本社所在ノ地方廳ヲ經由シテ政府ニ具申シ認可ヲ受クヘシ」ト規定シテ以テ會社ノ專權ヲ禁セリ

然ルニ今炭鑛鐵道會社ガ右第一項所述ノ如ク線路變更ヲ專斷シタルハ即チ私設鐵道條例ニ違反セル者ト認メザル可カラズ

此事ニ就テ政府ハ第三議會ニ於テ議員田中正造加藤淳造ノ質問ニ答ヘテ「線路變更云々ニ付テハ未タ認可ヲ與ヘス專ラ調査云々」ト辯シタリ

是レ則チ政府ハ暗ニ該社ノ線路變更ヲ爲シタルノ曲事タルヲ認メナガラ曖昧模稜ノ間ニ答辯ノ責ヲ免レタル者ト信ス

抑モ私設鐵道條例第二十八條ニ所謂認可ナルモノハ勿論事前ニ於テセザル可カラズ會社カ既ニ線路ヲ變更シ其他ノ諸事ヲ濟シタル日ニ於テ事後ノ認可ヲ與フルハ其當ヲ得タル者ニ非ス則チ該社ハ實ニ私設鐵道條例ヲ蹂躪シタル者ニシテ假令政府カ事後ニ認可ヲ與ヘタリトモ會社ノ不法違法ハ到底消滅ス可カラサルナリ蓋シ私設鐵道條例ハ元勅令ナリト雖モ今日ヨリ見レハ儼然タル一箇ノ法律ナレハナリ

然ルニ政府カ斯クノ如キ不法違法ノ會社ヲ默許シテ開業ヲ爲サシメ爾後毫モ之ニ對スル處置ヲ遂ケサルノ理由如何

開ク日本鐵道會社布設ニ係ル品川赤羽間鐵道及ヒ仙臺鹽釜間鐵道ノ如キ何レモ一旦補給部内ニ算入セシカ前者ハ起點地東京ニ在ラサルノ故ヲ以テ後者ハ終點地青森ニ聯通セサルノ故ヲ以テ各之ヲ補給部ノ外ニ更正シタリト然レハ政府カ此炭鑛鐵道ニ對スルモ亦宜ク之ニ準シテ處置スヘキニ該社ニ限リテ之レカ公正ノ處置ヲナサス當初豫定ノ線路ヲ變換シ其條例ヲ犯シタル支線鐵道ヲ默許シテ今日ニ至ル迄其補給利子ヲ視察セサルノ理由如何

右第二項室蘭築港費ヲ轉用シテ悉ニ夕張空知線路ヲ延長シタル百三萬七千圓ヲ利子補給ノ範圍ニ加ヘ國庫ノ負擔ヲ増加シ憲法第六十二條及ヒ第六十四條等ニ對スル憲法上ノ手續ヲ履マシテ漫リニ保護ヲ加ヘタルノ理由如何

第七 昨年六月炭鑛鐵道會社内部不整理ノ形迹世上ニ暴露シ政府周章同社ニ對シテ検査ヲ行ヒタルガ當時則チ六月三日同社ガ道廳長官渡邊千秋ニ差出シタル勘定書ニ據レバ

借方

一 支社勘定 金五拾三圓〇四錢

一 假出金 金貳千九百五拾三圓五拾錢

一 第一銀行預入 金七千二百〇一圓十錢三厘

一 第五銀行同斷 金一千七百九十五圓七十七錢三厘

一 第二十銀行同斷 金七十八圓三十四錢五厘

一 正金銀行同斷 金五十三圓三十四錢三厘

一 田中銀行同斷 金二十九萬一千七百三十九圓八十六錢

一 是レハ當座預金トシテ年四朱利ヲ以テ預入レアリ

一 北海銀行同斷 金三萬七千六百〇八圓五十七錢五厘

一通貨 金八百五十二圓五十一錢二厘

計金三十四萬二千〇三十六圓七錢一厘

貸方

一 第八回株 金百五十圓也

一 延滞利子 金七十六錢四厘

一 株券書替手数料 金三十五圓〇九錢

一 假收入 金二十八萬圓二錢

一 本社勘定 金六萬一千八百五十圓十九錢七厘

計金三十四萬二千〇三十六圓七錢一厘

ト有リ而シテ右貸方ノ内假收入金二十八萬圓ハ會社カ日步三錢三厘ノ利子ニテ正金銀行ヨリ借入レ右ノ内金十五萬圓ハ二十五年度上半季ノ配當金ニ充テ殘ル十三萬圓ハ軌鐵其ノ外外國輸入ノ材料購求ニ費シタル由檢察官ニ告白シタリト云フ果シテ然ラハ會社ハ營業資金ヲ消耗シ借金ヲ以テ利益ヲ配當スル者ニシテ其表面ニ發スル報告書ト實際ト異ニシ其定款ニ背ク者ナリ蓋シ右帳簿上ノ計算ノ如キハ會社ノ最秘スル所ナリ問者ハ其陰事ヲ摘發スルモノニアラス唯表中ニ關スル銀行其他ニ就テ調査ヲ遂ケテ彼此ヲ照合セハ右計算書カ當時ノ實際ヲ證スル者タルヤ明カナリ政府ハ斯クノ如キ顯著ナル會社ノ不都合ニ對シテ果シテ何等ノ處置ヲ施シタル乎

第八 炭鑛鐵道會社ハ資本總額六百五十萬圓ノ内五百五十萬圓ヲ以テ採炭業ニ從事シ五百萬圓ヲ以テ鐵道ヲ布設スルノ目的タリ而シテ政府ヨリ受クルノ補給利子ハ單ニ鐵道部ノミニ限リ決シテ之ヲ以テ炭鑛部ニ流用シ其損失ヲ補填スル等ヲ許サス然ルニ會社經濟ノ實際ニ於テハ常ニ鐵道部ノ利益僅少ナルカ如ク假裝シ以テ可成多額ノ補給利子ヲ貪リ之ヲ炭鑛部ニ流用シテ其損失ヲ補填シ一方ニ於テハ株式價格ヲ維持スルト同時ニ他方ニ於テハ石炭ノ濫賣投資ヲ試ミ以テ他ノ同業者ヲ壓倒セシトコトヲ計レリ故ニ政府ガ鐵道資金ニ對シテ補給利子與フルハ恰カモ同會社ノ石炭ニ向テ補給スルト同一ノ結果ヲ來セリ左ノ一表(該社ノ報告書ニ據ル)之ヲ證ス可シ

乘客貨物及石炭運賃率比較表

乘客一人一 貨物一噸一

明治二十三年上半季 一錢四厘六毛 一錢四厘六毛

同 下半季 一錢四厘三毛 一錢四厘三毛

同 二十四年上半季 一錢四厘八毛 一錢四厘八毛

同 下半季 一錢四厘一毛 一錢四厘一毛

同 二十五年上半季 一錢四厘四毛 一錢四厘四毛

同 下半季 一錢四厘四毛 一錢四厘四毛

今日日本鐵道會社ノ例ニ依レハ貨物運賃二百哩以上ハ一噸ニ付一錢、二百哩以下ハ一噸一錢二厘乃至一錢五厘ニシテ石炭運賃ハ十二噸以上一噸ニ付一錢五厘十二噸以下ハ一噸百斤ニ付二厘(一噸ニ付三錢三厘六毛)トス然ルニ炭鑛鐵道會社ハ貨物ニ對シテハ實ニ五倍ノ運賃ヲ貪リ石炭ニ對シテハ却テ殆ント三分ノ一ノ運賃ニ止ム之ニ依テ見レハ北海炭鑛鐵道會社ノ鐵道資金ニ對スル補給利子ハ其性質ヲ一變シテ該

會社炭礦ノ保護金ト同一ノ結果ヲ來シタルモノナリ
右ニ就テ本期議會ニ於テ議員工藤行幹外二名ヨリ提出シタル質問ニ對シ
政府ハ炭礦鐵道會社ハ炭礦ト鐵道トハ營業上會計其他劃然區別シテ厘毛
モ彼此混亂スルナキ趣キヲ答辯セリト雖トモ今昨二十五年三月同社第五
回報告ヲ見ルニ

資金區別(當時拂込株金高四百八十五萬圓)

北海道廳命令書第七條ニ基キ資本金ヲ各部ニ區別シ第七回募集金七十八
萬圓ノ内五十五萬圓ヲ新設鐵道ニ充テ殘金貳十三萬圓ノ内金五萬圓ヲ既
成鐵道部ニ金十八萬圓ヲ炭礦部ノ資本トナセリ之レニ前期迄ノ各部ノ資
本ヲ加ヘ新設鐵道部ハ金三百九十五萬圓(第一區金二百八十五萬圓第二
區金百拾萬圓)既成鐵道部ハ金七十五萬圓炭礦部ハ金百十五萬圓トナ
レリトアリ即チ同社ハ既成鐵道部ト炭礦部トヲ併セテ金百九十五萬圓ヲ使
用センコトヲ明白セリ

抑々該社ハ新設鐵道資 本全五十五萬圓ノミニ對シテ五ノ利子保證ヲ請
モノナレハ此五百萬圓ハ厘毛モ新設鐵道以外ニ流用ヲ許サハルモノニシ
テ該社カ勝手ニ使用シ得ル資金ハ炭礦部ニ於テ百五十萬圓ニ止ルモ
ノナルニ該社ハ金百九十萬圓ヲ用ヒタレハ炭礦資金ノ超過四十萬圓トナ
レリ是レ實ニ補給ヲ受クル鐵道ノ資金ヲ濫リニ轉用セルモノナリ夫レ兩
兩劃然會計ヲ區別シテ毫厘相混同スヘカラサル炭礦鐵道兩部ヲ混同セル
ハ現ニ該社自身ノ報告書ニ於テモ之ヲ證明ス可キコト斯ノ如シ然ルニ政
府カ炭礦鐵道ノ二者混同セシ跡ナシト斷言スルノ理由如何

右議院法第四十八條ニ據リ提出ス

提出者

田中正造

外十名

贊成者

中村彌六

外七十四名

司法大臣ニ對スル質問書

無籍外國人ヤコブカルステン殺人被告事件ニ關スル質問

右殺人被告事件ハ橫濱地方裁判所ニ起訴セラレタルモノタル處檢事ニ於
テ起訴シ置キナカラ自ラ之ヲ拋棄セントシタリ右地方裁判所公判廷ニ現
ハレタル事實ニ依レハ外務大臣若クハ司法大臣ニ於テ司法裁判所ニ繫屬
中ノ事件ニ關シ容喙シタルヨリ是ニ至リタルモノナリト聞ク其事タル司
法行政兩權ノ關係上及憲法ノ精神上當ヲ失シタルモノアルカ如シ是レ本
件ノ質問ヲナス所以ナリトス
一右被告人ハ先ニ毆打創傷罪ヲ犯シタル時橫濱地方裁判所檢事正ハ國籍
ノ事ニ關シ獨逸國領事ニ照會セシニ十餘年間無居ニテ他國ニ在ルノ故
ヲ以テ右國民籍ヲ失ヒタルモノナリト回答ニ接シ始メテ同裁判所ハ
之ヲ審理判決シタルコトアリト云フハ果シテ然ルヤ否ヤ又之ヲ了知セ
ルヤ否ヤ

二若シ然リトセハ右殺人犯件ニ付テモ右同一ノ被告人ナルヲ以テ其我
裁判管轄ニ屬スヘキモノナルニ相違ナシト信ス然ルニ今同ノ被告事件
ニ於ケル當該檢事ハ管轄違ナリト申立ヲナシタリト云フ而シテ此申
立ハ獨逸公使ヨリ吾外務大臣ハ宛テタル本國ヲ取調ヘタル處右被告人
ハ今尙ホ獨逸國ニ國民籍アリト照會ヲナシタルニ依リ吾外務大臣ハ
其旨ヲ吾司法大臣ニ通シ吾司法大臣ハ同裁判所檢事正ニ訓令シテ獨逸
國總領事ハ求刑ノ手續ヲナスヘシト命シタルヨリ右管轄違ノ申立ヲ
ナサシメタリト云フ而シテ右ハ檢事尾崎忠義讓カ公判廷ニ於テ陳述シタ
ル所ナリ司法大臣ハ果シテ此事實ニ基キ此訓令ヲナシタルヤ否ヤ
三若シ吾司法大臣ガ此事實ニ基キ此訓令ヲナシタルモノトセハ司法大臣
ハ如何ナル理由ニ基キ之ヲナシタルモノナルヤ其說明アリタシ
右議院法第四十八條ニヨリ及質問候條當局大臣ハ詳細ナル答辯アラシ
トヲ望ム

外務大臣ニ對スル質問書

無籍外國人ヤコブカルステン殺人被告事件ニ關スル質問
右殺人被告事件ハ橫濱地方裁判所ニ起訴セラレタルモノタル所檢事ニ於
テ起訴シ置キナカラ自ラ之ヲ拋棄セントシタリ右地方裁判所公判廷ニ現
ハレタル事實ニ依レハ外務大臣若クハ司法大臣於テ司法裁判所ニ繫屬中
ノ事件ニ關シ容喙シタルヨリ是ニ至リタルモノナリト聞ク其事タル司
法行政兩權ノ關係上及憲法ノ精神上當ヲ失シタルモノアルカ如シ是レ本
件ノ質問ヲナス所以ナリトス
一吾外務大臣ハ本件ニツキ如何ナル照會ヲ獨逸公使ヨリ領受シタルヤ而
シテ吾外務大臣ハ此照會ニ對シ如何ナル處置ヲナシタルカ其處置如何
ニ右殺人犯件ノ我裁判所ニ繫屬中ノモノナルハ公然ノ事實ナルカ右ノ如
キ照會ニ應シタルハ如何ナル事由ニ基クモノナルヤ
右議院法第四十八條ニ依リ及質問候條當局大臣ハ詳細ナル答辯アラシ
トヲ望ム

明治二十六年二月二十三日

提出者

中村彌六

外三人

贊成者

工藤行幹

外二十九人

油坑借區損害要償ニ對スル不正支拂ノ質問

明治十九年六月中新潟縣知事ハ同縣中浦原郡津島村大字金津中野貫一ノ
油坑借區ニ係ル千五百號三千百十三號(此區ハ中野貫一眞柄富衛共有借
區ニシテ總千三百一坪中野ハ之ヲ屬スル部分三百五十坪)ノ兩區ニ對シ坑業
禁止ノ令ヲ下セシニ中野ハ之ヲ不法トナシ同二十四年五月行政裁判所
ニ訴願シ同年十二月十五日同裁判所ハ中野ニ對スル坑業禁止令ハ取消ス
ヘキモノト判決セリ然レトモ兩區ハ已ニ日本坑油會社ヘ借區ヲ許スコト

ナリタルヲ以テ中野ハ損害ヲ要求シ金三萬五千八百七十八圓十五錢八厘ヲ收受セリ而シテ其損害賠償金要求書中ノ計算ヲ見ルニ不當ノ點多カラス然レトモ當局官吏ハ一モ爭議スルコトナク直ニ之ヲ容諾シ該金額ヲ支出シタルハ頗ル不正ノ疑ナキ能ハス

一要求書ハ出油高ヲ計算スルニ明治十九年度上半季坑業明細表ニ届出タル產出額即チ九百四十四石八斗八升ヲ行業數日數ニ平均シタルヲ以テ標準トナシ次年度以後ハ此標準石數ニ一割減ノ比例ニ基キ借區年限ノ全期ヲ算出セリ抑モ坑業明細表ハ昨年六月鑛業條例施行以前ハ坑業人ニ執リ納稅及其他ノ利害ニ關係ナキヲ以テ恒ニ實際ノ產出ヨリ多額ニ居置クヲ一般ノ習慣トナセリ而ルニ實際ノ賣買ヲ記入スル帳簿ニ依ラシテ此信任シ難キ明細表ニ依リ算出シタル要求ヲ正當ナリト認諾シタルハ如何

一下半季ノ產出高ヲ計算スルニ上半季ノ明細書ニ依リタルハ尙ホ又不正タルヲ免レス同縣下ノ石油ハ氣候及ヒ地質ノ變異ニヨリ上半季ハ其質水分ヲ含ミ多量ヲ產出シ下半季ハ其質純良ニシテ產出少量ナルヲ常トス而ルニ上半季即年中最多量ニ產出スル時期ヲ一日ニ平均シ以テ借區年限間ヲ計算スルノ標準トナシタルヲ正當ナリト認諾シタルハ如何

一同縣ノ石油ハ運輸ノ開塞需要ノ多少性質ノ善惡等ノ關係ヨリシテ上半季ハ下半季ニ比シ概ネ一割乃至二割ノ低價トス已ニ數量ヲ計算スルニ上半季ノ明細表ニヨレハ價格モ亦之ニ依ルヘキヲ至當トス而ルニ油量ヲ計算スルニハ年中最多量ヲ產出スル部分ヲ取リ油價ハ低價ノ明細表ヲ避ケテ年中ノ高低ヲ平均シタル眞柄富衛ノ價格ニ準シタルヲ正當ナリト認諾シタルハ如何

一該年度ハ當地ノ石油實際ノ賣買一石ノ代價平均一圓内外ヲ出テサルニ明細表ニ高價ノ届出ヲナシタル眞柄富衛ノ價格即チ一圓八十四錢五厘ヲ以テ算出シタルヲ正當ナリト認諾シタルハ如何

一油坑ハ開坑ヨリ十年前後ヲ經過セハ全ク涸渇シ廢坑トナルモノ多シ或ハ十五年間位廢坑トナラサル者ナキニ非ラサルモ是迄ニ稀有ニシテ此等ノ古坑ハ油量非常ニ減少スルヲ常トス而ルニ年次僅ニ前年度產出ノ一割減ヲ以テ至當ナリトナセルハ正當ノ計算ト謂フ可ラス其理由如何

一中野カ坑業ヲ禁止セラレタル以後間モナク兩區トモニ日本坑油會社ノ所有トナリタルハ同會社該坑ニ從事セントセシニ千五百號ノ借區ハ當時ハ少額ヲ產出セシモ二十四年ニ至リ復タ廢坑ニ歸シタルト云フ而シテ賠償ノ裁判確定トナリタルハ二十五年四月ニアリ即チ兩區トモ廢坑トナリタルハ賠償支出ノ以前ニアリ然ルニ此事實アルモ顧ミス一ハ十九年ヨリ二十七年迄ノ要求ニ應シ一ハ十九年ヨリ二十九年マテノ要求ニ應シタルハ如何

一要求書ニハ千五百號ノ借區ハ八百二十二坪出油高一日平均五石二斗七升八合五勺三千百十三號ノ借區中野ニ屬スル部分三百五十坪出油高一日平均九石四斗七升トアリ而ルニ隣坑眞柄富衛ノ所屬ハ六百八十一坪ニシテ十九年中僅ニ三十四石八斗一日平均九升五合六勺ヲ產出シタル

ニ過キス兩者ヲ比較スルニ中野ノ坪數直柄ニ二倍餘ニシテ出油高ハ五十五倍乃至九十五倍餘ニ相當ス中野ノ油坑如何ニ善長ナルモ隣坑トスノ如キ差違アルヘキカ其理由如何

一明細表ハ坑法第十九款ニ依リ調製スルモノナレハ正當ト認メ又之ニ據ルノ外ナキカ如シト雖モ以上ノ數項ニ舉ケタル疑問アルニ於テハ宜シク審査精調スヘキナリ然ルニ直チニ取テ以テ確乎タル標準トナシ大ニ實際ト懸隔セル支拂ヲナシタルハ疎漏杜撰ノ責ヲ免ラサルカ如シ其理由如何

之ヲ要スルニ農商務省カ租稅中ヨリ三萬五千八百七十八圓十五錢八厘ヲ支出セサル可ラサルニ至リタルハ當局官吏ノ過失誤認ヨリ起リタルモノナリ當局官吏ハ宜シク其過失ヲ輕カラシメ支出ヲ少カラシメ被害者ヲシテ相當ノ賠償ヲ得セシムヘキ此不當ノ要求ニ對シ毫モ調査セシメ過當ノ賠償ヲ得セシムルノ實アルニ至リテハ頗ル怪訝ニ堪エス亦農商務省ハ此金額ヲ如何ナル費目ヨリ支出シタルカ各項ニ付キ敢テ詳細ノ答辯ヲ求ム

右議院法第四十八條ニ依提出候也

明治二十六年二月二十三日

提出者 田中正造
贊成者 大垣 兵次
外二十九名

三タロハ新巡査在職不法ニ關シ質問ス

石川縣人新巡査在職不法ニ關スル質問ニ對シ內務大臣ハ數十日ヲ經テ明治二十六年一月九日ニ至リ一應ノ答辯ヲナシタルモ其主旨質問ノ要領ニ適ハサルノミナラス事實上謬妄無稽ノ點多キヲ以テ尋テ同年一月十六日更ニ再質問書ヲ提出シタル然ルニ內務大臣ハ同年二月十八日之ニ答辯シテ曰ク石川縣巡査在職ノ理由ニ關スル件ハ當初ノ質問ニ對シ已ニ詳細答ヘタルニ依リ其答辯書ニ掲クル所ノ外更ニ辯明スルノ必要ヲ認メスト嗚呼何ソ不親切ニシテ責ヲ避クルノ甚シキヤ

答辯ハ必シモ長キヲ要セス質問ノ要旨ニ辯明ヲ與フレハ即チ足レリ如何ニ元長ノ答辯ナリトテ其要領ヲ得サルニ於テハ再三再四質問セザルヲ得ス內務大臣ノ答辯ハ當ニ質問ノ要領ニ適ハサルノミナラス事實ヲ顛倒セシモノ多キニ於テヤ故ニ其顛倒セル所以及其謬妄ナル所以ヲ指示シテ質問ノ主旨ヲ闡明スル何ゾ必要ト謂ハン

內務大臣ハ本案ノ再質問ヲ認メテ必要ナラストスルモ質問者ニ於テハ其必要ヲ有スルヲ深シ何トナレバ行政監督上人新巡査ヲ不問ニ付スルニ於テハ危險ノ感ニ堪エサレハナリ而シテ質問者ニ於テ必要ヲ有シテ之ヲ質問スル以上ハ答辯ノ責任者ハ之ヲ忌避セシメテ宜シク質問ノ主旨ニ應ジ満足ナル答辯ヲ與フベシ是レ事實ノ當然應答ノ順法ナリ然ルニ徒ラニ辭ヲ不必要ト云フニ托シテ答辯ノ責ヲ避クルハ何ゾヤ寧ロ答辯ヲ必要ナラズト云フハ答辯ヲ爲シ能ハザルガ故ニ然ル乎果シテ答辯ヲ爲シ能ハズトナラバ彼レハ新巡査ノ兇狀ヲ自認セルモノ乎單ニ答辯ノ必要ヲ認メズト

云フヲ以テ答辯ノ責ヲ辭スルニ於テハ愈々以テ默止シ居ル能ハザルヲ奈
何セン是レニタビ質問書ヲ提出スルノ止ムヲ得ザルニ至リシ所以ナリ
乃チ内務大臣ハ再質問ノ主旨ニ應ジ満足ナル答辯アラントヲ望ム
右議院法第四十八條ニ據リ提出候也

明治二十六年二月二十四日

提出者 田中正造
賛成者 達谷窟信敬
外三十四名

安部井磐根君ハ早川龍介君外五名提出ニ係ル神祇官復興上奏案ノ賛成ヲ取
消ス旨申出ラレタリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ニ取掛リマス

(此時發言ヲ求ムル者數名アリ)

○議長(星亨君) 先ヅ會議ニ取掛ル宣告ノ無イ中ニ……六十五番何デスカ

○小倉貞則君(六十五番) 本員ハ曩ニ質問書ヲ提出致シマシタガ未ダ何ノ御
回答モゴザリマセヌ、最早會期ニ盡キントスル場合デゴザリマスカラ議長ニ

於テ宜シク答辯ノ督促ヲ願ヒタウゴザリマス

○議長(星亨君) 宜シイ、一寸件名式書イテ此處ヘ出シテ下サイ

○加藤喜右衛門君(十三番) 唯今ノ政府ノ答辯ニ就イテ一言致シタイデス

○中村彌六君(百六十九番) 議長

○議長(星亨君) 貴方先キヘヤルデスカ

○中村彌六君(百六十九番) 私ガ……

(中村彌六君演壇ニ登ル)

○中村彌六君(百六十九番) 本員等ガ司法大臣竝ニ外務大臣ニ質問書ヲ差出
シマシタルコトハ、新聞上デ略々御承知デモゴザリマス、此元ト獨逸人デ
ヤコツぶかるすてんノ殺人犯ノ一條ニ關シタコトデゴザリマス、是ハ單ニ皮
相ヨリ見マスレバ高ガ知レタル無籍ノ外國人ハ無賴漢ノコトデゴザリマス
ガ、是ヨリ生ジマスルコトガ我國ノ國權上又我國ノ體面上ニ對シマシテ餘程
關係ヲ有スルモノト考ヘマス、又是ヨリ生ジタル司法大臣及外務大臣ノ所
爲ト云ヒマスルモノガ、憲法ノ明文ニ背イテ居ルト本員等ハ考ヘルノデゴザ
リマス、故ニ質問書ヲ提出致シマシタルノデゴザリマス、其大要ヲ摘ン
デ申上ゲマスレバ元來此ヤコツぶかるすてんハ、昨年ノ五月ニ英人ノろー
とビリチーニ對シマシテ毆打、此英人ヲ毆打致シテ其當時ニ日本ヨリ
シテ此獨逸ノ總領事ニ照會ヲ致シタル所ガ、十年以來モ既ニ外國ニ居ルガ故
ニ獨逸ノ國法ニ依ッテ獨逸ノ國籍ヲ失フコト云フコトデゴザリマス、其當
時五日ノ確カ拘留ニ處セラレタ者デゴザリマス、即チ日本裁判權ノ下ニ在
テ其裁判ヲ受ケタ者デゴザリマス、然ルニソレガ又拘留カラ出マスルヤ、七
月七日ニ前ノ毆打シマシタル所ノろーとビリチーヲ殺害シタルコトデ、同
時ニ此日本ノ警察官一名ニ負傷セシメタ、是ガタメニ橫濱地方裁判所ニ於キ
マシテハ前ノ裁判モアツテ、即チ此治外法權ノ權利ヲ以テ保護セラル、所ノ
者デナクシテ、直ニ日本ノ裁判ノ下ニ服スベキ者デゴザリマスルガ故ニ、ソ

レノ起訴ヲ致シテ置イタ所、外務大臣ニ宛テ、此度ハ獨逸ノ公使ヨリシ
テ此ヤコツぶかるすてんハ段々取調ベル所ガ成國ノ……字漏生國ノ者デアル
カラシテ、是ハドウカ獨逸ノ總領事ノ方ヘ引渡シテ貰ヒタイト云フコトノ照
會ガアツテ、此手續ヲ外務大臣ガ司法大臣ニ移シテ司法大臣ハ檢事正ノ香
坂駒太郎ト云フ者ニ訓令致シマシテ、此權利ト云フモノヲ拋棄セント致シタ
ノデゴザリマス、是ガ大體ノ事實デゴザリマス、故ニ私ノ問ハント欲シマスル
モノハ、右被告人ハ曩ニ毆打創傷罪ヲ犯シタル時ニ、橫濱地方裁判所檢事正
ハ國籍ノ事ニ關シ獨逸國領事ニ照會セシニ、十餘年間無居ニテ他國ニ在ル
故ヲ以テ、右國民籍ヲ失ヒタル者ナリトノ回答ニ接シ、始テ同裁判所ハ之ヲ審
理判決シタルコトアリト云フハ果シテ然ルヤ否ヤ、又之ヲ了知セルヤ否ヤ、
是ガ司法大臣ニ向ッテ第一ノ問デ、若シ然リトセバ、右殺人犯件ニ附イテ
モ右同一ノ被告人ナルヲ以テ、其裁判管轄ニ屬スベキモノナルニ相違ナ
シト信ズ、然ルニ今回ノ被告事件ニ於ケル當該檢事ハ管轄違ナリト申立ヲ
ナシタルコト云フ、而シテ此申立ハ獨逸公使ヨリ我外務大臣ヘ宛テタル、本國ヲ
取調ベタル處被告人ハ今尙ホ獨逸國ニ國民籍アリトノ照會ヲ爲シタルニ依
リ、我外務大臣ハ其旨ヲ我司法大臣ニ通ジ、我司法大臣ハ同裁判所檢事正
ヘ訓令シテ、獨逸國總領事ニ求刑ノ手續ヲナスヘシト命ジタルヨリ、右管轄
違ノ申立ヲナサシメタルコト云フ、而シテ右ハ檢事尾崎忠義ガ公判廷ニ於テ陳
述シタル所ナリ、司法大臣ハ果シテ此事實ニ基キ此訓令ヲナシタルヤ否ヤ、
若シ司法大臣ガ此事實ニ基キ此訓令ヲナシタルモノトセバ、司法大臣ハ如何
ナル法律ニ依リ如何ナル職權ニ基イテ之ヲナシタルモノナルカ、之ヲ司法大
臣カラ聽キタイト云フノト、又外務大臣ハ本件ニ就イテ如何ナル照會ヲ獨逸
公使ヨリ領受シタルヤ否ヤ、而シテ我内務大臣ハ此照會ニ對シ如何ナル處置
ヲナシタルカ、其處置如何ヲ問フノデアリマス、又右殺人犯件ノ我裁判所ニ繫
屬中ノ者ナルハ公然ノ事實ナルカ、右ノ如キ照會ニ應ジタルハ如何ナル事由
ニ基キモノナルヤ、是ハ明ニ外務大臣司法大臣カラ聽キタイト思フノデアアル
モノハ、僅カ是丈ノ唯一片ノモノデアアル

本年七月七日英國人ロバートビーチーヲ殺害シ二名ノ日本警察官ニ負傷セ
シメタル犯罪人ヤコツブカルステンノ國籍ニ關シテハ本年五月三
十日同人カラ右被害者ニ對シ毆打創傷罪ヲ犯セシ節在橫濱獨逸帝國總領事ニ
於テ同人義ハ已ニ獨逸帝國國民タル資格ヲ失ヒタル者ナルコトヲ明言セシ
ヲ以テ帝國裁判所ニ於テ裁判ノ上處刑相成候處今般本邦駐劄獨逸帝國臨時
代理公使ヨリ今回獨逸帝國政府ニ於テ同人ハ現時字漏生王國ノ國籍ニ在ル
者タルコトヲ發見シタルニ付獨逸ノ裁判權下ニ屬スベキ者ニ有之尤モ日本
帝國政府ニ於テ是迄同人ニ對シ執行來リタル處置ニ就テハ獨逸帝國政府ニ
於テ毫モ異議無之候得共今般同人ノ現ニ獨逸國籍ニ在リシコト判然相成候
上ハ日獨條約ノ規定ニ基キ同人ヲ在橫濱獨逸帝國總領事ニ引渡吳候様申來
候ニ付請求通同人ヲ在橫濱獨逸帝國總領事ヘ引渡方御取計相成度候也
是カ外務大臣司法大臣ニ遣ッタ照會文デアアル、又司法大臣ハ之ニ對シテ如
何ナルコトヲシタト云フト、即チ橫濱ノ檢事正ニ出シタルハ
謀殺被告事件ニ付橫濱地方裁判所ニ於テ審理中ナルヤコツブカルステン

國籍ノ儀ニ付別紙ノ通外務大臣ヨリ照會有之候條裁判所ニ對シ管轄違ノ申立ヲ爲シ其言渡アリタル上ハ獨逸國領事ニ對シ求刑ノ手續ヲ爲ス可シ是ガ私ノ聞及ブ所デアリマス、是デ是ガ先刻申シマスル通りニ至大ノ關係ヲ持ツト云ヒマスモノハ、果シテ此ノ如キモノデアリマシタナラバ、實ニ憲法ノ明文ト精神ト云フモノニ違フテ仕舞フノデゴザリマス、デ總テ我邦ガ此憲法ノ明施以來、實ニ外國人ハ杯ハ果シテ真正ニ此立憲政體ヲ荷ツテ、文明ニ進ンデ往ケルヤ否ヤト云フ視線ハ實ニ此島國ニ注イデ居ルノデゴザリマス、然ルニ此憲法アリナガラ憲法ノ明文ト精神ニ背クコトガアリマシタラ如何デアル、實ニ是ゾ文明國ノ笑ヲ招クコトデゴザリマセウ、又行政司法ノ區別ト云フモノハ申迄モナク、憲法上ニ於キマシテ實ニ明ナルモノデアル以上ハ、此

〔田中正造君演壇ニ登ル〕

ス、然ルニ今一片外國公使ノ照會文ノ如キ行政ノ手續ヲ以テ、司法ノ手續ト云フモノヲ覆スト云フ様ナコトハ、決シテ文明政府ト云フモノ、行フベキコトデハ無イノデアル、我々ノ考フル所ニ依レバ、外務大臣ハ外國公使等ニ對シ日本トノ手續ハ元ト之ヲ正當ノ式ヲ備ヘテ來タ者ナラバ、ウレヲ傳達スルニ止ルベキモノデアラウト思フ、又司法大臣ニ致シマシテモ司法大臣ハ檢事裁判官ヲ監督スベシト云フコトガアリマス、是ハ唯其身上ニ附イテ監督スベシト云フコトデアッテ、決シテ其檢事ガ職務ヲ行フ此職務上ニ對シテ喩ヲ容レテ、之ヲ制肘スルト云フコトハ出來得ベキモノデハナイト思ヒマス、デ元ト其職務上ノ執行ニ附イテ喩ヲ容レテ之ヲ制肘スルガ如キコトハ、實ニ憲法ノ許ス所ノコトデハナイト私ハ考ヘル、元來是等ノ事實ト云フモノハ、果シテ十分アツデアアラウト云フコトヲ確信スルノハ、此藩閥政府ガ從來海外ニ對シマシタル所ノ政略ノ既往ニ徵シテ最モ明ナル様ニ私ハ思フ、僅ニ此數年前日本ノ内閣ニ列シタル所ノ人ガ、位置コツ違ヘ立場コツ違ヘ、皆此數年前條約改正ノ時ニ當テモ、其事ニ當ツタ所ノ人デゴザリマス、其當時實ニ我國體ヲ傷ケ我國權ヲ傷ケ自ラヲ欺キ自ラヲ輕シ、而シテ唯讒詔面諛膝ヲ外人ノ前ニ屈シテ、而シテ舞踏トカ或ハヤンばん飲ンデ條約改正ヲ欲シタル事蹟ハ此實ニ數年前ニアルノデアリマス、外國人ハ大ニ之ヲ以テ輕侮シ、我國民ハ此卑屈ナル處置ニ對シテ今尙ホ怒ツテ居ルノデアル、悲シクモ亦斯カル卑屈ナル斯ル拙劣ナル外交政略ノ紀念トシテ居ル、又茲ニ鹿鳴館ト云フモノガ馬鹿ト云フ紀念トシテ鹿ト云フ字ヲ附ケテ建ツテアル、デ我々ガ(栗谷品三君躍リ躍リ所シヤト呼ブ)先日來條約改正ノ事モ、一日モ早ク對等ノ條約ヲ結ンデ、我々邦ノ獨立ノ對面ヲ保チ帝國ノ此光輝ヲ輝カサント欲スル所ノ即チ上奏案、是モ通ツテハ居リマスルケレドモガ、元來此日本ノ政府ガ段々是マデ條約改正ノ事ニ就イテ照會致シテモ彼ガ常ニ云フ所ハ如何デアル、未ダ日本ノ邦ト云フモノハ外人ガ其裁判ノ下ニ服從スル丈ノ立派ナ法律ガナイ、尤モナ話デア、法律ガ始テ出來レバ、此法律ヲ立派ニ運用スル所ノ裁判官ガ無イカラ、對等ノ條約改正モ亦法權モ讓ルコトガ出來ヌト云フテ居ル、此度ノ如キハ即チ一片ナル行政ノ手續ヲ以テ、司法ノ事ヲ動かスト云フコトデアッテ、マダ日本ノ此司法ト云フモノハ獨立シナイ、僅ニ一片ノ書附ヲ以テドウデモ行政司法ノ事モ動クト云フコトハ、我々ノ最モ此條約改正ニ對シテ不利益ナルコトヲ自ラ行ツテ居ル、實ニ是等ニ對シテハ我邦ノ獨立ノ體面ヲ瀆シ、又我國權ヲ傷ケル所爲ト私ハ斷言シテ憚ラスノデゴザリマス、デ此當時ノ外務大

イノデアルケレドモ此質問ノ要領ハ彼ノ内部ニ立入ッテ彼是彼ノ社ノ内輪ノ善クナイコトヲ許キ立テルノガ趣意デハナイ、彼等ノ泥棒ヲスルコトヲ之ヲ世ノ中ニ發表スルノガ趣意デハナイノデアル、又現内閣員或ハ官吏等ガ之ニ關係シテ居ッテカラニ善クナイコトヲスルト云フコトヲ、之ヲ一々證據立テシテ此處デ演説スルノデハナイノデアル、唯此社ノ補助金ト云フ様ナモノ、或ハ諸銀行取引所ノ隱スベカラザル、世ノ中ニ殆ド公ケ同様に報告書ト云フ様ナモノ、或ハ法律ニ觸レテ居ル、其該社ノ定款ト云フ様ナモノ命令ト云フ様ナモノニ背イテ居ル所タケノ要點ヲ御話申ス丈ノコトデアッテ、決シテ彼ノ社ノ内幕ノ善クナイコトヲ此處デ發表スル譯デハナイノデゴザイマス、其目ヲ申シマスレバ大層數ガ多イノデアル、先ヅ鐵道ノ拂下金額ガ不當デアルト云フコトカ、或ハ此新設鐵道ノ線路ヲシテ命令書ニ背イテ、政府ノ差圖ヲ待タズシテ、伺濟デナカッタ線路ヲ勝手氣儘ニ變更シタ事件、又勝手氣儘ニ變更シタ所ノ不正ノ鐵道ノ利益、此鐵道ノ利益ト云フモノハ如何ニモ鐵道ノ取扱方、此鐵道ニ得ル所ノ收入、此收入ガ色々取扱上ニ甚シキ不公平ノ處置ガアッテカラニ、北海道人民ハ此鐵道ノアルガタメニ非常ニ難義ヲスルコト、又該社ノ會計ガ非常ニ混亂シテ居ルコト、尤モ昨年ノ議會ニ於テ喋喋シテ質問書杯ヲ提出ニナリマシタ頃ニ、政府モ或ハ周章狼狽ヲナサレタカ、全ク御心付ガアッテカラシテ此會社ノ取調ニ掛ラレタ、其取調ニ掛ラレタ、此検査官ノ前デ役人ガ白狀ヲシタ頗末、ソレカラ此議會デ議決シテ協贊ヲ經テ與ヘタ所ノ補助金マデ之ガ會計ガ正シクナイタメニ、此補助金マデ甚ダ其當ヲ得ナイ使途ニナッテ居ルト云フコト、斯ウ云フ様ナコトガアルノデアル、ソレデ先ヅ第一此鐵道ニ補助ヲ與ヘルノハ、北海道ノ拓殖ノ方法ニ於テ必要デアルト云フ意味ヲ十分ニ含ンデ居ルノガ、此鐵道ノタメニ北海道ノ人民ガ難儀ヲスルト云フ場合、天下ノ良民天下ノ良民、純朴ナル人ハ株主トナツテ欺カレ、其資産ヲ喪フコト云フ危殆ニ迫ッテ居ルコト云フ場合、純粹ナル實業家ガ保護金ノタメニ、其保護金ヲ正當ニ使ハズシテ惡ク用ヒルカラ、之ガタメニ營業ノ競争ヲスル、競争上此北海道鐵道ノ保護金ノ非常ニ害ヲ爲シテ、十分ニ純粹ナル國家ノ財產、國家ノ財產唯一ノ財產トモ申スベキ所ノ同業者ガ、皆比々衰頽シテ遂ニ倒レルニ至ルト云フコト、其結果ハ國家ノ經濟ヲ亂シテ且ツ國家ノ經濟上ノ大腐敗ヲ來タシテ居ルト云フコトデ、甚シキハ此會社ノ株ノ中ニハ、皇室ノ財產ヲ以テ御買上ニナッテ居ル所ノ株モアルノデアル、然ルニ投機商ノ如キ評判ヲ受ケテ、皇室ノ財產ニマデ色々ノ心配ヲ掛ケ奉ルト云フヤウナコトノ無イヤウニシナケレバナラヌト云フコト、凡ソサウ云フ要領デゴザリマシテ、決シテ是カラ先キ能ク改メレバ宜イコト云フノガ本旨デアリマスノデ、決シテ官吏等ヤ何カガ賄賂ヲ取ッタナドト云フコトヲ此處デ公言スル譯デハナイ、唯彼等ヲシテ肝膽塞カラシメ後來ヲ戒メルノデアル、此鐵道ノ拂下ガ不當デアルト云フコトハ、昨年モ演説致シマシタカラ是ハ今日ハ省キマス、線路變更ニ就イテハ甚ダ不當デアルト云フコトノ……、新設鐵道ノ線路ヲ變更スルニハ宜シク其筋ノ裁可ヲ得ナケレバナラヌニ、之ヲ無居テ勝手氣儘ニ變更シタト云フコトハ昨年モ質問書ヲ提出シテゴザリマシタ、處ガ此答辯ニ是ハ取調中デアアル、未ダ認可ヲ與ヘナイ取調中デアルト云フ答辯ハ、私及加藤淳造君ノ質問ニ對シテ其答辯ガアルノデアアル、其後

政府ハ如何シタカト申シマスルト云フト、昨年八月此鐵道ニ開業免狀ヲ與ヘタ、凡ソ約定ハ事ノ前ニスベキモノデアアル、事ノ前ニスベキヲ此約定ヲシナイノハ勿論其命令ニ背ケテ、法律ニ背ケテ居ル、其命令ハ即チ法律デアアル、法律ニ背ケテ仕事ヲシテ居ル者ヲシテ是ヲ正シキニ正サズシテ、此者ニ就イテ、議會カラモ質問書モ出テ居ルニ拘ラズ、此等ニ開業ノ免狀ヲ與ヘルトハドウ云フ事ニ依ッテ之ヲ爲シタノデアアルカ、成程聞ク所ニ據レバ社長ヲ免職シタ、宜シクナイコトヲシタカラ社長ヲ免職スルト云フ一事ハアリサウナ事デアアルガ、社長ノ免職ト云フコトハ、此事ニ關係アルモノデハナイ、社長ヲ免職シテモ法律ニ背ケタノガ、此法律ノ效用ヲ失ハナイト云フモノデハナイ、之ヲ以テ差引ニナルモノデハナイ、依然タル今日ト雖モ炭礦鐵道中新設鐵道ノ起點ハ室蘭ヨリ通ジテ居ル支線ノ鐵道デアアル、此鐵道ハ馬追ト云フ所カラ夕張ト云フ所ニ往クベキモノガ追分ヨリ夕張ニ變更シ、空知太ヨリ空知ニ至ルベキモノヲ、砂川ヨリ空知太ノ方ニ架ケテ居ルカラシテ、又此約束書ノ中ニ無イ地面ノ鐵道ニナッテ居リマスカラシテ、如何ニモ此新シク約束ヲ直サナケレバナラヌノデアアル、新シク約定ヲ直サナケレバナラヌノニ、此地名ガ書面ニ無イ、明文ニナイノデアアル、一度赤羽ノ鐵道ト鹽釜ノ鐵道ガ一時ハ東北線ニ加ヘテアッテ、ケレドモ東京ヲ發シテ青森ニ至ルト云フ線路ノ名義デアアルノニ、此線路ニ關係ノ名ガナイト云フタメニ、鹽釜ノ鐵道ト赤羽ノ鐵道ハ保護ノ中カラ省キ出サレタノハ近比ノ事デアアル、是スヲ以テ保護ヲ受ケナイ、況ヤ此炭礦鐵道支線ノ如キ、新設鐵道ノ如キ其支線ノ空知太ニ達スル……夕張ヘ往ク鐵道ト云フモノハ、其命令ニ背ケテ地名ヲ變更シテ、帳簿ニモ約定書ニモ無イ土地ニ指ヘタモノデ、其線路ヲ長ウシテ補助金ヲ受ケル里程ヲ長ウシタモノデアアル、是スヲ以テ何ノ調査ヲシテ、調査中ト云フハドウ様ナ調査ヲシテ、ドウ云フ詮索ヲシテ、ドウ云フ手續ヲシテ、開業免狀ヲ與ヘル場合ニナッタノデアアルカ、是ガ質問ノ一ノ要點デアリマス、是ヨリ政府ガラ派出シタ所ノ検査官ト云フヤウナ者ノ前デ白狀シタヤウナモノハちやんとアル、是ハ決シテ検査官ノ前デ白狀シタカラ現ハレタト云フデハナイ、何處ノ帳簿ヲ見テモ能ク分リマス、何處ノ帳簿ト申スノハ、報告書或ハ銀行等ノ帳面デ分ルカラシテ是ハ公ケナモノデアアル、此鐵道ノ使用法ハ如何ニモ彼ノ北海道人民ノタメニ宜シクナイノデアアル、彼等ガ此社ニ於テ口實トスル所ハ我々ハ土地ノタメニ盡スト云フ口實トスル所ハ何カト云ヘバ、其土地デ作ル農產物ト云フヤウナモノヲ運搬スル、鐵道ヲ運搬スルトキハ無賃ヲ運搬スル、或ハ其賃錢ノ半ヲ運搬スル、又ハ此方ヘ移住民ガ往ク、其移住民ヲ載セル時ハ無賃デアルト云フ、之ガ先ヅ夫ノ國家ニ盡スル義務デアアル、之ニ向ッテ世ノ中ニ誇ルノデアアル、其誇ル所ノ運賃ノ高ハ幾ラデアアルカト云フト、是ハ一箇年四千圓デアアル、四千圓掛ケレバソレデモウ澤山ナノデアリマス、二十萬圓以上ノ保護金ヲ受ケル所ノモノガ四千圓ノ義務ヲ盡セバ、是デ彼等ハ十分ナル責任ヲ盡シタリトスル所デアアル、是ハ第六回報告ニ書イテアル、ソレカラ其土地ニドウ云フ難儀ヲ掛ケルカト云ヘバ、此鐵道ヲ運搬スル荷物ノ運賃ガ非常ニ高イノデアアル、是ガ幾ド日本鐵道會社ノ五倍ニナッテ居ル、日本鐵道會社一錢取ルモノヲ五錢取ル、日本鐵道會社ニ於テ貨物運搬費ハ一噸一哩ガ先ヅ一錢二厘デアアル、一錢ノコトモ一錢三厘ノコトモアルガ先ヅ一錢

二厘位デアルノニ、炭礦鐵道ハ五錢デアル、若クハ六錢ニ上ツテ居ルコトガアル、サウスルト云フト日本鐵道會社ノ幾下五倍ノ賃錢ヲ取ツテ、土地ノ者ノ荷物運搬費ヲ取ル以上ハ、之ヲ以テ北海道ノ拓殖ヲ助ケル、北海道ノ拓殖ノ方法ニ此鐵道ガ效用ヲナス所デハナイ、實ニ土地ヲ酷イ目ニ遭ハス所ノ、土地ヲシテ開拓所デハナイ衰頹セシムル所ノ鐵道デアル、左スレバ自分デ取扱フ所ノ炭礦即チ此炭山カラ引出ス石炭ハ何程ノ賃錢デ之ヲ運搬スルカト云フト、此石炭ヲ運搬スルハ至ツテ是ハ非常ニ安イノデアル、或ハ九厘ヨリ一錢ト云フ——、一噸ニ附イテ九厘ヨリ一錢ト云フ賃錢デアル、九厘ノ時モアリ一錢ノ時モアルカラ、先ヅ之ヲ一錢ト假ニ見テカラガ如何ニモ安イノデアルノデアル、是ハ日本鐵道會社杯ハドノ位デアルカト云フト凡ソ三錢デアル、此自分ノ石炭ヲ運ブニハ日本鐵道會社ノ三分ノ一ノ運賃ヲ以テ勝手手自儘ニ使用シ、其土地人民——北海道ノ未開ノ土地人民ノ物ヲ運搬スルニハ、日本鐵道會社ノ五倍ノ運賃ヲ取ツテ居ルノデアル、斯様ナコトデゴザリマシテ北海道ノ拓殖ノ方法ニ適當スル鐵道デゴザリマセウカ、如何ニモ甚ダ實ニ不正ノ所業ト言ハナケレバナラヌノデアル、是ハ此保護ヲ與ヘルト云フ性質ニ於テ大ニ保護ヲ與ヘルト云フ性質ニ背クノデアル、帝國議會ノ協贊シテ北海道ノ炭礦鐵道ニ保護ヲ與ヘルニシテモ、斯様ナ精神デ北海道ノ補助金ヲ協贊スル者ハナイノデアル、宜シク其土地ノ拓殖ノ方法ヲ滿タサンガタメニ、協贊ヲシテ與ヘル所ノ金二十萬圓内外ノ金ヲ年々與ヘルノデアル、然ルニ此補助金ヲ以テ斯ノ如キ不正ノ所業ヲシテ居ルノデアル、既ニ政府ノ命令ニ背イタ鐵道ニ政府ハ之ニ營業ヲ許シ、又補助金ノ性質ニ背イテ居ル所ノモノガ營業ヲ爲シテ居ルノモ、政府ニ於テハ之ガ監督ガ甚ダ一向ニ行届カヌデ居ルノデアル、凡ソ炭礦鐵道ト云フモノハ六百五十萬圓ノ資本デアル、六百五十萬圓ノ資本デアツテ、五百萬圓ハ新設鐵道ト云フモノ、資本デアツテ、百五十萬圓ハ炭礦即チ石炭ノ出ル山ノ資本デアルノデアル、デ其外ニ前ニ此拂下ゲタル所ノ鐵道ト云フモノハ是ハ既設鐵道デアツテ、既ニ古イ鐵道ニ屬シテ居ル、古イ方ノ鐵道ハ六十三萬圓デ拂下ゲタイト云フ者ガアルニモ拘ラズ、之ヲ二十四萬圓デ堀基ニ拂下ゲタノデアル、是デハナイ新規ニ出來タ新設鐵道ノ方ノ支線ニ斯ノ如キ不正ノ處置ガアルニモ拘ラズ、之ニ開業ヲ許シテ總體ノ林ニ補助金ヲ與ヘ、斯ノ如キ不正ノ營業ノ遣方デアルノデアル、政府ハ之ヲ默許シテ居ルノデアル、又五百萬圓ト百五十萬圓ト振分ケテ、百五十萬圓ハ炭礦ノ方ノ資金五百萬圓ハ鐵道ノ資金ト振分ケタノハ何デアルカト云フトちやんと區別ガ立ツテアルノデアル、此五百萬圓ノ金ニ五朱ノ保證ヲ附ケテ貰フノデアル、此五百萬圓ハ如何ニモ動カスベカラザル金デアルト云フコトハ分ツテ居ル、然ルニ此社ハ炭礦ト鐵道トヲ兼ネテ居ル社デアルカラシテ、此金ヲドウモ流用シテナラヌノデアル、昔新律綱令ノ時分ニ那移出納ト云ツテ、罪ノアル位ノ事デ宜シクナイノデアル、之ヲ流用スルノハ即チ是ハ法律ヲ犯スノデアル、五百萬圓ノ金ニ五朱ノ利子ヲ貰ヘバ一錢一厘モ動カヌト云フコトハナラヌノデアル、然ルニ此中ノ金ヲ流用シテ之ヲ炭礦ノ方ニ用ヒ、既ニ一昨年四十萬圓ノ金ヲ炭礦ノ方ニ流用シタノデアル、之ヲ炭礦ノ方ヘ流用シタコトハ此會社ノ定款ニ背キ政府ノ約定ニ——、政府カラ保護ヲ受ケルヲ法律ノ結果即チ政府ノ義務ニ屬スル云々ト云フ六十七條ノ約定ニモ觸

レテ居ルノデアル、會社ノ定款ニモ觸レテ居ルト云フ遣方ニ成ツテ居ル、此等ノ如キハ自分ノ認メタル報告書等ニ於テちやんとは載セテアルカラシテ、此社ノ株ニ關係ノナイ人ハ見ナイデゴザイマセウ、ケレドモ是ハ公ケノ事實トシテ宜シイノデアル、斯ノ如ク法ニ觸レテ居リ、斯ノ如ク定款ニ觸レテ居リ、及規則ニ觸レテ居ルコトヲシテ之ヲ歷々遣ツテ居ル、之ヲシテ政府ニ於テハ之ヲ改良セナイト云フノハ如何ノコトデアルカ、餘リ甚シイコトデアアルノデアル、工藤行幹氏ノ質問ヲ致シマシタ所ハ決シテ是ハ其會計ガ別ニ成ツテ混亂シナイト云フ答辯デゴザリマス、ケレドモ是ハ正ニ混亂シテ居ル明ニ分ツテ居ル、其社ノ報告書ニアルカラ、又検査ヲスル取調ニ參ツタ役人ノ前デ白狀シテ居ルコトデアルカラ、是ハ決シテ間違ナイコトデ、工藤行幹君ニ爲シタ答辯ハ、實ニ是ハ曖昧模稜僞リヲ以テ恭シクモ我帝國議會ニ答辯シタノデアル、實ニ失禮千萬不法ノ調言ハナケレバナラヌノデアル、又左様ニ會社ノ内幕デハナイ此會社ノ中ノ遺方ヲ見マセルト云フト、二十九萬圓ト云フ金ヲ炭山ノ金——炭山ノ金ヲ田中平八ト云フ人ノ銀行ニ預ケテ置キタルハ餘地ガアルカラダト思フ、又二十八萬圓ト云フ金ヲ或ル銀行ヨリ二錢三厘ノ日歩デ之ヲ借りテ、此金ヲ以テ利益ノ配當ニ充テタト云フコトハ、小サイ遣繰リ銀行、貧乏銀行ニ在ルコトデアツテ、六百五十萬圓ト云フ大金デ苟モ堂堂タル此事業家トシテ——、事業家ト云フモノガサウ云フコトヲ遣ルヤウデハ、是ハ先ヅ此株主ハ勿論國家ノタメニ甚ダ宜シクナイ危險ナ話デアル、又其船ノ取扱船杯ト云フモノモ空知丸ト云フ船ヲ以テ——、此船ヲ郵船會社ニ預ケテ置クノデアル、サウシテ置イテ一方ハ淺野總一郎ト云フ人カラシテ、一箇年七萬二千圓デ船ヲ借りテ使ツテ居ルハドウ云フ遣繰デアアルカ、容易ニ尋常ノ我々ニハ分ラヌノデアル、唯預ケルト云フ船ヲ——一方ニ人ニ預ケテ置クカト思フト、コッチニハ七萬二千圓デ船ヲ借りテ居ルト云フ、七萬二千圓ハ惡イコトヲスル金ト思フ、是モ内輪ヲ許クト云フノデナイ、是モ公明ナル帳簿ニ明ニアツテ、内輪ヲ許クトキハナカク、コンナモノデハナイ、色々ノ事ガアルガ、ソレハ前々モ申シマシタ通り私ガソレヲ此處デ吹聴シテ、社ノ人々ヲ困ラセルノ目的ニアラズシテ、會社ニ關係ノ人ハ能ク過ヲ改メテ正當ノモノニシテ、亂暴ノコトヲシナイヤウニスレバツレデ宜シイノデアルカラ、決シテ——一口ニ申セバ我々ノ申スコトハ甚ダ此會社ニ關係ノ人及政府ノ人ヤ何カニ、耳ノ痛イ人モアリマセウガ、惡イコトヲ申サヌ良藥ハ口ニ苦イ位デ、苦イ位ハ仕方ガナイ、耳ノ痛イ位ハ我慢シナケレバナラヌ、宜シク古イコトノ惡イコトハ何程シテ居ツテモ、既往ノ事ヲ答メルノデナイカラ、後來ハ過ヲ改メナケレバナラヌノデアル、實ニ北門ノ鎖鑰北門ノ鎖鑰ト申シテ、唯口バカリ北門ノ鎖鑰ヲ唱ヘテモ斯ノ如キ腐レタ人物ヲ集メ、議會ノ協贊ヲ經テ得タ金ハ其土地ヲ害スルコトニ使ツテ居ツテハ、是迄ハ宜シクモ最早帝國議會ガ開イテ、人民ノ代表者三百ノ人ガ集マツタ以上ハ、一日モ早く之ニ向ツテ改良ヲ加ヘナケレバナラヌ、若シ此過ヲ改メズシテ又勅令ノ力デモ藉リテ云々ト云フ心得違ノナイヤウニシナケレバナラヌノデアル、斯ル道理ガアルニモ拘ラズ之ヲシテ此儘ニ捨置クト云フコトデアレバ、如何セン來ル十一月ニ於テハモウ内輪ノ事迄モ許イテ之ヲ質問書ニ掲載シ新聞ニ載セテ十分ニ遣ラナケレバナラヌ、我々ハ其過ヲ深カラシメザル中ニ早く改心セシムル

タメニ此一言ヲ述ベルノデアル、併ナガラ忠告監督ハ忠告ヲ受ケル方ト監督ヲ受ケル方ニ德義ガアレバ效用ガアル、價直ガアル、如何ニコッチガ誠心ノ積リテ忠告ヲシ、或ハ監督ヲシテモ、放蕩息子ヲ監督スルヤウデ監督ヲ受ケル奴ガ恬トシテ願ミザルトキハ、忠告ノ價直ハナシ、忠告ノ價直ハ忠告ヲスル者ノ價直ニアラズシテ忠告ヲ受ケル者ニアル、宜シク政府ノ當路ノ人ハ其價直ノ苦シト云フコトガ分ツタナラバ、假令忠告ヲスル者ハ言葉不足シテ言ガ足ラヌデモ、學力ガ足ラヌデ其意ヲ達スルコトガ出來ヌデモ、受ケル方ガ德義ヲ重シテ、忠告ノ價直アラシムルトナカラシムルトハ忠告ヲ受ケル方ノ方ニアラカシ、德義ヲ重シテ夫ノ道辭デナク、通達ヲ求メテ法律ヲ潜リサハスレバ宜シト云フ答辯デナク、國家ニ對シテ愧ヂナイ價直アル所ノ答辯ヲ爲サル、ヤウニ念ノタメニ希望シテ置キマス

○高田早苗君(二百九十番) 議長

○議長(星亨君) マダ質問ガアリマス

○加藤喜右衛門君(十三番) 今日ハ質問ノ演説ガ大變多ウゴザイマス、其中ノ一人デアリマスカラ極テ簡單ニ遣ル積リデアリマス、其事柄ハ此一月十二日ニ質問書ヲ出シマシタノガドウ云フ都合カ政府ハナカ、此答辯ヲシナイ、漸ク今日ニ至ッテ先刻書記官長ノ朗讀サレタ如キ事柄ノ答辯ガ參リマシタノデアリマス、凡ソ此四議會ニ於テ初メヨリ三十五件有餘モ質問ガ出タヤウデアリマスガ、其中此私共兩名ガ尋ネマシタ答辯程日數ノ掛ツタモノハアリマセヌ、會期ノ將ニ盡キントスル今日ニ至ッテ答辯ヲシテ、其答辯ハ少シモ要領ヲ得ナイ、曩ニ問ヒマシタ事柄ハ横濱築港ノコトニ就イテせめんとラ七千噸、是ハ六千噸ト云フ答辯デゴザイマスカラ六千噸デモ宜シイ、六千噸ヲ淺見總一郎ト隨意契約シタト云フコトハ當時ノ質問書ニ委シタ書イテゴザイマス、其答辯ノ要領ハ水中經營工事デアアル、ソレカラ迅速ニシナケレバナラヌツレカラ多ク要スル、之ガタメニ會計法ノ二十四條ノ第四ニ據ラナケレバナラヌト云フ答辯デアリマス、是ハドウ云フ譯デ第四ニ據ラナケレバナラヌカ、捌怪シイコトハ第一回橫濱築港ニ就イテせめんとラ買入レタコトハ、第一回ノ時ハドウ云フ買入方ヲシタ、今度買入レタハ二回デアル、第一回ニハドウ云フ買入方ヲシタカト云フ、水中ノ經營デ迅速ヲ要シ多クモ要リマシタラウニ、第一回ニハ公入札ヲシテ公平ニシタ所ガ、第二回ニハ特別ノ事情ガ起ツタト見エテ之ヲ淺野總一郎ト云フ者ト隨意契約ヲシテ、少シモ公入札ニシナカッタト云フコトハ答辯ニ依ッテ明デアアル、斯ノ如キコトハ同ジセめんとラ使ヒ、同ジ場所ニ使ヒ、同一ノ工事ニ使フモノデアアル、第一回ニハ公入札ニシテ第二回ニハ公入札ニシナイト云フハ、特別ナル物質デアアルト云フコトデアラウト思ヒマス、是ハ特別ノ物質デアアルカト云フ、政府委員ガ臨時豫算案ノ時ノ説明ニ横濱ニ用ヒルノハ特殊ノ物ハ外國カラ買フカト云フテ問フタ所ガ、決シテサウデナイ、普通ノせめんとラ買入レタ物質デアリサイスレバ宜シト云フコトハ、古市政府委員ガ答ヘテ明々瞭々ト速記録ニ載ッテ居ル、然ルニ今日井上内務大臣ノ答辯ハ特殊ノ物デアアルカラ第四ニ往クコト云フコトハ抑々何事デアアルカ更ニ私共ハ解シ得マセヌ、斯ノ如キコトヲ緩慢ニ打案デ置ケバ、世ノ中ニ此御用商人トカ紳商トカ云フ者ガ政府ノ間ニ潜リ込ンデ種々ノ惡イコトヲナシ、實業社會ニ毒ヲ流シ

弊害ヲ貽スノミナラズ、立法官カラ見レバ會計監督上ニ一日モ默認シ置ケヌコトデアアルカラ、是非トモ質問シナケレバナラヌト云フテ一月早々ニ出シタモノガ、會期ノ將ニ盡シタル今日ニ至ッテ答辯スルト云フノハ甚ダ私ハ解シ得ヌノデゴザイマス、又長イ時日ノ掛ツタコトハ敢テ怪ムニ足リマセヌガ、其答辯ノ要領タルヤ少シモ我々ノ問フタ所ニハ當ラズシテ勝手氣儘ノ答辯デアルト信ジマス、依ッテ此會計法第四ノコトニハ少シモ當テラヌコトヲシナガラ、恬トシテ是ハ會計法ニ當テラヌコトヲ言フナレバ、詳細ニ其實實及會計法ノ第四ノ場合ハドウ云フコトカ、又先キニ政府委員ガ此壇上ニ於テ述ベタコトハ、違フノデアリマスカラ、古市君ノ述ベタ所ガ違フナラバ違フト云フコトヲ再ビ説明セラレンコトヲ望ミマス、私ハ此一言ヲ述ベテ壇ヲ降りマス

○議長(星亨君) 貴方ハ演説シテ置イタ所ガ政府ハ答ヘマセヌゼ

○加藤喜右衛門君(十三番) 書面ニシテ書キマス

○議長(星亨君) 新ニ書面ニ書イテ質問書トシナイト答ヘマセン

○高田早苗君(二百九十番) 澤山質問ノ演説ガアリマシタ後トデ又報告ヲ御

聽キニ入レルノハ少々御氣ノ毒デアリマスガ、併シ是ガ此期ニ於ケル請願委員會ノ最後ノ報告デゴザイマスカラ暫時清聴ヲ演シタイト思ヒマス、今年モ前年ノ如クニ種々ノ方角カラシテ請願ガ許多參リマシテ其總數積ッテ二千七百六十二通ト云フコトニナリマシタ、其二千七百六十二通ト云フノハ昨朝迄ノ總數デゴザイマシテ、ソレ丈ヲ請願委員會ニ於テハ殘ラズ調査ヲ結了致シマシテ、今日此處ニ御報告ヲ致シ場合ト相成ツタデゴザイマス、マダ此會期モ二日アリマスシ、或ハ延ビテ幾日ニナルカ知レマセヌカラ、今後或ハ出マスカモ知レマセヌガ、其時ハ又別ニ御報告致シマス、今日迄ニ請願委員會ニ於テ受取リマシタ丈ハ調査ヲ了リマシタカラ其御報告ヲシタイト思ヒマス、其二千七百六十二通、其中ノ種類ヲ請願委員會ノ取扱ツタ其取扱振分ケテ申シマス、之ヲ又内譯シテ見マスルト既ニ院議ニ付シテ仕舞ヒマシタモノガ八通、マダ院議ニ付セザルモノハ付スベシト決シタガ、未ダ付セザル數ガ百九十七通デアルト云フ譯デゴザイマス、第二種類ハ院議ニ付スルトハ決シタガ委員會ノ參考ニ迴シマシタリ、又追ッテ其委員會ガ出來タラ迴サウト云フノデ請願委員會ニ留メテ置イテアルノガ二百七十二通、第三ガ其問題ニ就イテハ院議ガ既ニ定マツテ請願ヲ特ニ院議ヲ付スルヲ要セザルモノ、即チ院議既ニ判然シテ居リマスカラ請願ヲスル必要ノナイモノガ千九百九十三通ト云フノデ、地價修正ノ如キ此部類ニ這入ッテ居ルノガ、其請願ハ政府ノ方ニ迴シテゴザイマス、第四ニ院議ニ付セズト決シタモノガ百八十七通デ、第五ハ特別ノ事情ガアツテ部分合法案ノ如キ雙方カラノ意見ガ出テ居リマシテ、何レトモ決スルニ困ツタ十分調査ヲシマシタガ、兩方ニ利害ガアツテ判然タル議決ヲスルニ由ナシタルモノ、是ハ參考ノタメニ政府ニ迴ストシマシタモノガ五通、是デ締メマシテ前申ス二千七百六十二通、即チ本會期ノ今日迄ノ請願ノ總數デゴザイマス、右ノ中デ以テ業ニ已ニ此院ニ於テ採擇スベシト決シマシタモノハ勿論其都度政府ノ方ニ迴ツタ譯デゴザイマスルガ、マダ其他ノ

類一五類ニ分ツテアル中ノ第四ノ院議ニ付セズト決シタモノハ是ハ政府ノ方ニ廻ス譯ニハ往キマセヌガ、第二第三第五ノ類ノ如キハ本院ノ意見ヲ附ケテ政府ニ廻ス譯ニハ參ラヌガ、參考ノタメ御同意ヲ得テ政府ニ廻シタイト斯様ニ考ヘマス、ソレハ大體ニ就イテノ御報告デゴザイマスガ、此前ニ一般報告ヲ致シマシテカラ、議會ガ休會或ハ停會ニナリマシテ其後會議ヲ開イタ結果ヲ御報告ヲ仕殘シテゴザイマスカラ、ソレ又ヲ報告シナケレバナラヌト思ヒマス、請願委員會ハ十六日十八日二十日二十三日等ニ開會致シマシテソレソレ調査ヲ致シマシタガ其結果ハ唯今述ベマス通りデアリマス、第一ガ院議ニ付スベシト決議シタモノソレハ隨分數ハ多ウゴザイマスガ、ドウモ讀マナケレバナリマセヌカラ讀ミマスガ

明治二十三年法律第十號附則第四十三條改正ノ請願

山林制度改正ノ請願

小學教育費國庫補助ノ請願

區裁判所出張所設置ノ請願

官有地ヲ町村基本財産トシテ民有ニ歸セシムルノ請願

行軍支出費村稅負擔莫大事件ニ付請願

燈臺官設ノ儀ニ付請願

二大美術館建設ノ儀ニ付請願

郡制中ニ條例及規則ヲ設クルコトヲ得ルノ法案追加ノ儀ニ付請願

酒造稅納期日改正ノ請願

加波山、靜岡、名古屋、浦和等ノ事件ニ連係セシ罪囚特赦復權ノ請願

加波山事件入獄者特赦ノ請願

加波山、靜岡等ノ事件ニ關係セシ集治監在囚人特赦ノ請願

陸軍步兵下士被服組裁方新案ノ請願

松島灣築港ノ請願

菓子稅則ヲ全廢シ地方稅ニ編入ノ請願

舊福井藩卒士族ヘ編入及復祿ノ請願

制定祿歩引殘數ノ違算ヨリ生スル不足分ノ下渡シ方請願

驗液器驗溫器製造及輸入品ノ檢定販賣取締法ヲ度量衡法中ニ追加ノ請願

復祿ノ請願

舊久留米藩士族復祿ノ請願

金祿公債證書下附請願

江戶川低水工事ノ請願

日蝕皆既ニ付學士派遣ノ請願

備荒儲蓄金ノ儀ニ付請願

震災土木工事實地調査ノ請願

市町村立小學校教員俸給ヲ國庫補助ノ請願

官有原野之儀ニ付請願

魚類鹽造業擴張ノ請願

刈田郡分合ノ請願

能勢郡ヲ存稱シ並ニ組合設置ノ儀ニ付請願

方郡獨立ノ請願
郡域變更ノ請願
縣界變更ノ請願
合郡ノ請願

一郡新設ノ請願

射水郡分割ノ請願

島根縣石見國ヲ廣島縣ノ管轄ニ屬セシムルノ請願

島根島取兩縣併管ノ請願

管地組替ノ請願

郡分合ニ關スル請願

養父郡獨立ノ請願

互理郡獨立ノ請願

行政區畫變更ノ請願

郡分合ノ請願

郡域更正ノ請願

分縣及川浚ノ請願

郡制實施ノ請願

是ガ院議ニ付スベシト極リマシタ、ソレカラ次ニ院議ニ付シテ直ニ又ハ追テ各特別委員會ヘ廻ハスベシト云フ請願

北海道議會設立ノ請願

蠶絲檢査所設立ノ請願

昆布輸出稅免除ノ請願

神祇官再興ノ請願

宮津港ヲ特別輸出ト定メラレタキ請願

鑛業條例改正ノ請願

皇漢醫繼續ノ請願

輸出稅全廢ノ請願

車稅全廢ノ請願

鐵道ニ關スル請願

裁判所管轄區域改正ノ請願

朝鮮國貿易開港ノ請願

車稅輕減ノ請願

古物商條例改正ノ請願

生絲檢査所設置ノ請願

千島國樺捉島水產稅免除ノ請願

銅輸出稅免除ノ請願

生絲輸出稅免除ノ請願

官林制度改正ノ請願

山林制度改正ノ請願

東京府及神奈川縣境域變更ノ請願

同上變更ニ關スル法律案通過請願

ソレカラ次ニ述ベマスノハ院議ニ付スルヲ要セズ即チ否決ニナリマシタ

富ノ禁ヲ解キ開作事業創立ノ請願

北海道酒造特別稅率廢除請願

賣藥規則改正ノ請願

賣藥規則改正ノ請願

賣藥印紙稅規則改正ノ請願

北海道酒稅率據置ノ請願

自家用料酒類製造稅廢止ノ請願

質屋取締條例中削除ノ儀ニ付請願

荒川筋河身改修工事許可ノ請願

被服工場學舍ノ件ニ付請願

煙草稅則中改正ノ請願

衆議院議員當選訴訟法改正ノ請願

死刑廢止ノ請願

自家用料酒稅免除並ニ登記所ノ事務ヲ市町村役場ニ囑托スルノ請願

第四回內國勸業博覽會開設ノ請願

同開設地ノ件ニ關スル請願

狩獵規則變更ノ請願

產馬事業保護ノ請願

產馬保護ニ關スル請願

馬政ニ關スル請願

醬油稅率輕減並自家用料醬油取締ノ請願

町村制改正ノ請願

町村議員選舉法、獵則追加、賭博犯法律改正、地價修正、郡改正等ノ請願

千島國擇提島冬期開航並ニ電線架設ノ請願

苗代地租免除ノ請願

酒類釀造規則改正ノ請願

清酒造石納稅延期ノ請願

煙草稅則改正ノ請願

賣藥規則第三條改正ノ請願

酒造稅則改正ノ請願

井堰水掛誤謬地價更正ノ請願

北海道施設ノ請願

北海道拓殖事業ノ請願

出版法案追加ノ請願

玄米ヲ輒スク白米ト爲スノ新發明ヲ一般ニ流布スルニ付其報酬ノ請願

同上追加

土岐川改修工事差止ノ請願ヲ排斥ノ請願

震災新規工事ノ請願ヲ排斥ノ請願

醫制發布ノ請願

酒造稅年賦請願

娼妓全廢ノ請願

是ハ少シ說明ヲシナイト分リマセヌガ、長崎デ英國人ガ獸姦ヲシタト云フコトヲ言ツタ、彼ガ事實デアルカナイカ議院カラ政府ニ質問シテ貰ヒタイ、事

實ナラ政府カラ逐出シテ貰ヒタイト云フノデ、ソレハ無論往ケナイト決シマシタ

在留英國人拒絕ノ請願

漢醫藥ノ效驗ヲ研究スルノ請願

官有森林拜借及立木拂下ノ請願

小作條例ノ請願

遠洋漁業保護ノ請願

賞杯ヲ廢シテ賞旗ニ改正スルノ請願

酒造稅則附則中改正ノ請願

酒造稅則新置ノ請願

見沼代用水土工費國庫支辨ノ請願

元所有船沈没ノ件ニ付請願

政務所見ノ請願

九州炭礦患難救濟ノ請願

是ハ少シ說明ヲシナイト往ケマスマイト思ヒマスガ、是ハ九州ノ炭礦ニ關係ノアルモノガ出シテ居ル請願デゴザイマシテ、北海道ノ炭礦會社ガ種々ノ特權ガアルニ附イテ九州ノ炭礦會社ガ困ルト云フノガ大趣意デ、是ハ特ニ早ク調べテ吳レト云フテ議長ニ請求サレタ議員モアッテ、重大ノ問題デアルカラ請願委員モ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ調べタ、其中特別委員ヲ選ンデ、特別委員ガ調ヘタノヲ請願委員會デ本會ニ掛ケマシタガ、畢竟スルニ北海道炭礦會社ニ弊害ガアルト云フコトハ隨分耳ニシテ居ル事柄デ、先程田中君ノ質問モアル話デ弊害ガアルカモ知レマセヌ、又九州ノ炭礦ガ患難ニ陥ッテ居ルコトモ聞イテ居ルコトデ、其炭礦ガ患難ニ陥ッテ居ル重ナル原因ガ北海道ノ炭礦デアルカ、又重ナル原因ガサウデアッテモ九州カラサウ云フコトヲ言ッテ會社ノ組織ヲ變ヘテ吳レト云フ、變換シテト云フノハドウウカ、兎モ角モ北海道ノ炭礦會社ニ弊害ガアルコトモ聞イテ居ルシ、炭礦鐵道ノコトモ聞イテ居ルガ、是ト彼ト混交シテ居ッテハ穩カデナイカラ之ヲ否決スルガ宜イト云フノデアリマス

帆船検査廢止ノ儀請願

蠶業保護ノ請願

是丈ガ院議ニ付セスト云フノデアリマス、次ハ本院ガ可決シ又ハ否決シタルモノデ、院議ニ付スルニ及ハヌト云フ即チ院議ガ極ッテ居ルモノデアリマス

辯護士法案制定ノ請願

登記法改正ノ請願

酒造稅則中改正法案酒精營業規則ノ請願

煙草稅則中改正追加法案ノ請願

輸入「アルコール」取扱人へ營業稅賦課ノ請願

地價修正並地租輕減併行ノ請願

酒精「アルコール」ノ儀ニ付請願

水害地國庫補助ノ請願

十四大川治水費國庫支出ノ請願

地價修正ノ請願

棉花輸入關稅非免除ノ請願

輸入棉花關稅廢止ノ請願

木曾川改修工事速成ノ請願

木曾川改修工事再調査ノ請願

木曾川改修工事延期ノ請願

對馬國田畑地價低減ノ請願

北上阿武隈兩川治水費國庫支辨ノ請願

大井川治水費國庫支辨ノ請願

最上川河身改修ノ請願

下利根川河身改修ノ請願

四木川治水費國庫支辨ノ請願

信濃川治水費國庫支辨ノ請願

阿武隈川治水費國庫支辨ノ請願

林式組織取引所法ヲ定ムルノ請願

地租輕減ノ請願

郡長公選警察權自治ノ請願

次ニ先程申シタル通り兩方ニ議論ガアツテ到底札ノ上テバ定メラレナイカラ、

政府ニ迴送スルコト云フコトニ參考ノタメニ、即チ

宇摩郡別子山村ノ儀ニ付請願

ツレニ對スル郡所屬組替ニ係ル請願

賀茂郡阿賀村非分離ノ儀請願

ツレニ對スル加茂郡阿賀村ヲ安藝郡ヘ分合ノ請願

是式ヲ殘ラズ昨日マデ出マシタ分ハ審查ヲ了結シマシタ譯デゴザイマス、

ツレデモウ之ガ最後ノ報告デゴザイマスカラ、一應此會期ノ間ニ思ヒマシタ

コト丈御參考ノタメニ述ベテ置キタイト考ヘマスガ、此請願委員ハ議院法

ノ第七十三條ニ「議院ハ審查ノ爲人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス」

ト云フ箇條ガアリマスカラ、此箇條ノアル限りハ本統ノ調査ヲ問題ニ依ル

トドウシテモ出來ヌコトガアルト云フコトヲ諸君ニ申シテ置カナケレバナ

ナイ、例ヘバ郡ノ分合デアルトカ云フ分モ其通りデ、唯札ノ上丈デハ如何ト

モ判斷ノ出來ナイ様ナ問題ガアツテ、隨分困マルコトガアルト云フコトヲ諸

君ニ訴ヘテ置キタイト思フ、ツレカラモウ一ツハ請願委員會ノ方ハ隨分勉強

ヲスレバ調査ヲスルコトノ出來ナイコトハナイガ、幾通請願書ガ出テモ如何

セン折角院議ニ付スルコト云フコトガ極マツテモ、之ヲ院議ニ付スルコト云フ實

際ニ行ハレナイト云フコトハ困マツタコトデアアル、何トカハ將來ニ向ツテ

シナケレバナラヌコトデアアラウ、或ハ此一週ノ中一日ヲ定メテ其日丈ハ請願

ヲ議スルコト云フコトニシテ戴クトカ何トカシナケレバ、折角態々請願ヲシテ

來テ請願委員ノ方デア院議ニ付スル極メテモ、院議ニ付スル時日ガナイト云

フコトモ諸君ニ訴ヘテ置カナケレバナラナイ、未ダ後トカラ此二三日間ニ

出ルカモ知レマセヌガ、今日マデノ所デハ是ガ最後ノ報告デアリマスカラ此

段ヲ申上ゲテ置キマス

○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程第一ニ移リマス、砂鑛採取法案

第一 砂鑛採取法案

第一讀會ノ續(特別委員)

○鈴木萬次郎君(八十一番) 請願委員ノ報告ニ就イテ質問ガアリマス

○議長(星亨君) モウ移ッテ仕舞ッタ、砂鑛採取法案

○岡崎運兵衛君(百二十九番) 此砂鑛採取法案ノ審查特別委員會ノ經過及其結果

ヲ御報告シマス

本案ノ委員會ハ一昨日午前ノ十時ヲ以テ開キマシタ、其初メニ當リマシテ委

員長及理事ノ選舉ヲ了ヘマシタガ、其日ハ本會ノ方ニ出マシテ委員會ハ開デ

マシタ、而シテ昨日午前ノ十時ヨリ委員會ヲ開キマシテアリマス、此大體ヲ

議スルニ當リマシテ此鑛山監督署ニ屬シテ居リマス所ノ方ハ、是ハ既ニ鑛業

條例ノ改正案ガ出テ居リマシテ、即チ此中委員ノ調査ニ屬シテ居ル様ナ次第

デ、ツレデ果シテ此鑛山監督署ト云フモノヲ夫ノ鑛業條例ノ方デア廢シマスレ

バ、無論此砂鑛法案ノ方デモ之ヲ廢スルノガ當然デアアラウト云フ議論デゴザ

イマシタ、併シ彼ハ未ダ本院ヲ通過致シマセズ、又本院ヲ通過シテモ貴族院

ノ方ヘモ廻付致シテ彼ノ方デモ同意ヲ致サナケレバナラヌコトデアアル、併シ

今日ノ場合デハ此鑛山監督署ヲ廢スルコト云フニ就キマシテハ又反對ノ議論モ

アリマス、其反對ノ議論ノ要旨ト申シマスモノハ、此砂鑛法案トハ云フモノ

ノ實際ニ當ツテハ成ハ山ヲ崩シテ掘取ルト云フ様ナ場合モアルカラ、此鑛山

監督署ノ管轄ニ屬セシメテ置クト云フ方ガ穩當デアアルト云フ議論モアリマシ

タガ、詰リ昨日ノ結果ニ至リマシテハ夫ノ鑛業條例ガ果シテ改正ニナリマス

レバ其時ニ當ツテ本案ヲ改正スルモ宜イデアアラウカラ、今日ノ場合ニ於テハ

先ヅ此貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘテ、即チ廻付致シマシタ所ノ案ヲ以テ是認シ

テ宜カラウト云フコトニ可決ヲ致シマシテアリマス、ツレデ昨日午前ニ於テ

全體ヲ貴族院廻付ノ儘同意スルコト云フコトニ決シマシテアリマス、此段ヲ

御報告致シマス

○中村彌六君(百二十九番) 委員長ニ質問致シマスガ、左スルト委員會ニ於

テハ鑛山監督署ト云フモノ、必要ヲ認メナイ、認メナイケレドモ今日現行法

ニ據ツテ……、茲ニ殘シテ置クト云フ様ナコトデスカ

○岡崎運兵衛君(百二十九番) 必要ト云フ人モアリ、不必要ト云フ人モアリ、即

チ論ガ二ツアツタ

○中村彌六君(百二十九番) 委員會ハ

○岡崎運兵衛君(百二十九番) 委員會ハ即チ之ヲ必要ト云フコトガ多數デアツタ

○中村彌六君(百二十九番) 之ヲ置クト云フ方ガ多カッタ、ツレハ必要デ

○岡崎運兵衛君(百二十九番) 即チ先ヅ置クト云フ方ガ多カッタ、ツレハ必要デ

必ズ置クト云フ議論ト、ツレカラ或ハ一方ノ法律案即チ鑛業條例ト云フモノ

ガ、今本會ニ於テ之ガ通過シテ廢スルコト云フコトニ愈々決シテモ居ラナイ、シ

テ畢竟アレガ通過シテ廢スルコト云フコトニナツタラ、其時ニ於テ之ヲ廢止ス

ルモ宜カラウト斯ウ云フ……

○中村彌六君(百二十九番) サウスルト必要ト云フノニ一タ通リアツテ、今

日ノ場合ハ未ダ鑛業條例ノ改正ガナイカラシテ暫ク置クト云フ……

○岡崎運兵衛君(百二十九番) 左様

○中村彌六君(百二十九番) 永遠ニ之ガ必要ト云フコトノ必要ニ決シタノデ

ナイノデスカ

○岡崎運兵衛君(百二十九番) 左様

○中村彌六君(百二十九番) 分リマシタ

○角利助君(百二十九番) 政府委員ニ……

○議長(星亨君) 政府委員ニ質問デスカ

○角利助君(二百二十九番) 政府委員ニ質問ガアリマス、此第三條ニ就イテ少シク疑ヲ存シテ居ル、此三條ノ明文ガ取りモ直サズ現今ノ鐵條例ノ文ヲ其儘用ヒタモト存ジマスルガ

○議長(星亨君) モウ少シ大キナ聲ヲシナケレバ私ノ處マデ聞エマセヌ

○角利助君(二百二十九番) 其第一項ノ中ニ會社ノ株主ト云フコトガ政府ノ提出案ニ載ッテ居リマス、此會社ノ株主ト云フモノハ既ニ商法ノ商事會社ガ實行セラレマスレバ、其會社ノ中ニ會社員組織ト株主組織ト云フモノガ生ジマサルコトハ明デゴザリマスガ、此三條ノ第一項ニ於テ「帝國臣民ニ非サレハ採取人トナリ又採取業ニ關スル組合員又ハ會社ノ株主トナルコトヲ得ス」ト斯ウ出テ居リマス、然ラバ會社ノ社員トナルコトハ差支ナイト云フ意味ノ様ニ書イデアル、果シテサウデアアルヤ否ヤト云フコトヲ第一項ニ就イテ御尋致シタイ、ツレカラ第二項ニ就イテ是モ此原文ニ依リマスレバ「農商務省鑛山局及鑛山監督署ノ官吏ハ在職中採取人トナリ又ハ採取業ニ關スル組合員又ハ會社ノ株主若ハ役員トナルコトヲ得ス」此文中ニ疑ノ起ルノハ役員ト云フ文字デアリマス、此官吏ト云フ者ハ會社ノ株主ト云フ者ニナルコトハ出來マス、故ニ是ハサウシテハナラヌト云フコトヲ禁ジタコトハ明デアリマスガ、此役員ト云フコトハ苟モ官吏トナレバ他ノ商業ヲ營ムコトハ出來ヌト云フノガ適當デアラウト思ヒマス、然ルニ此處ヘ持ッテ來テ會社ノ役員ニナルコトガ出來ヌモノヲ、殊更ニ役員ニナルコトガ出來ナイト云フ明文ヲ掲グル必要ハナイ様デアリマスガ、若モ之ヲ加ヘタ理由ガ他ニアルナラバ承ハリタイ、其二點ニ就イテ御答ヲ願ヒマス

(政府委員農商務省鑛山局長和田維四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(和田維四郎君) 唯今二百二十九番ノ御質問ノ第三條ノ第一項ニ會社ノ株主トシマシタノハ、帝國臣民デナイ者ハ株主トナルコトハ出來ヌト云フ制限デアラタデス、役員トナルコトハ元ト構ハヌト云フ趣意デアッタデス、第一項ノ方ノ貴族院直サナイ原案ノ方ノ趣意ハ、株主トナルコトハ出來ナイ役員トナルコトハ出來ル斯ウ云フ趣意デアッタデス、ツレカラ第二項ノ方ハ成程御説ノ通り、政府ノ官吏ガ會社ノ役員トナルコトハ通例出來ナイ様デアリマスケレドモ、例ヘバ會社ノ顧問役ニナルト云フ様ナコトハ隨分出來ナイコトハナイデス、政府ニ奉職シテ居リマシテモ例ヘバ夜分トカ朝早トカ餘計ノ時間ガアリマスカラ、サウ云フ時ニ顧問トカ云フ様ナ役ニナレヌコトハナイデス、總テコシナ關係等ヲ絶ツタメニ役員トナルコトガ出來ヌ斷ハリヲシタデス

○角利助君(二百二十九番) 第二項ノ方ハ私ノ尋ト御答ガ違ヒマス、第一項ニ會社ノ株主ト云フコトガ書イデアル、然ルニ商法ノ商事會社ト云フモノヲ見マスレバ、會社ト云フモノハ社員組織ト云フモノハ役員組織ト云フモノハ、二ツガアル、其社員組織ト云フモノハ役員組織ト云フモノハ、社員組織ト云フモノハ、既ニ此會社ニハ社員ト云フモノハ役員ト云フモノハ、社員組織ト云フモノハ、然ルニ此本文デ見レバ株主ニハナレナイ社員ニハ外國人ハナルコトハ出來ルカラ、社員ノ名義ヲ以テドンノ金ヲ出シテモ宜イ、果シテサウ云フ精神カト云フコトヲ確カメルノデアリマス

○政府委員(和田維四郎君) 御尋ノコトハ原案ガ餘程不十分デ有ッタデス、

ツレデ此貴族院ノ會社員ト直ス方ガ餘程其曖昧ヲ防ギテ十分ニ完全スル様ニナリマシタノデ、此貴族院ノ修正ニ政府モ同意シタノデゴザリマス、元ノ儘デゴザリマスモ唯今御尋ノ點モ幾分力不十分ノコトモアツタカト考ヘマス

○角利助君(二百二十九番) ツレデハモウ一ツ御尋シナケレバナラス、貴族院ノハ會社ノ株主トナルノガ會社員トナル、サウシマスレバ私ガ今御尋シタコト、正反對デ若シ之ヲ社員トナルコトガ出來ヌト云フモノナラバ、株主ニハ苦シカラヌト云フコトニナル

○政府委員(和田維四郎君) 是ハ會社員トアリマスレバ株主モ無論其中ニ在ルデス

(採決ヲ呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 決ヲ採ルニハ二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトヲ決ヲ採リマセウ、二讀會ヲ開クト云フコトニ贊成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、然ラバ二讀會ヲ開クトニナリマシタ

○渡部芳造君(百三十一番) 直ニ二讀會ヲ開イテ三讀會ヲ省略シテ、確定議トナシタイト思ヒマスノデ此動議ヲ出シマス

(贊成ヲ呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 一讀會以下省略ト云フ動議デスカ

○渡部芳造君(百三十一番) 二讀會ヲ開キマシテ三讀會ヲ省略シテ、直ニ二讀會ヲ開クト云フ……

○議長(星亨君) サウスルト直ニ二讀會ヲ開クト云フコトデスカ、ツレナラバ直ニ二讀會ヲ開クト云フコトノ動議ヲ採レバ宜シイ、ツレナラバ讀會省略ト云フコトニ十人丈贊成ガアレバ宜シイ

(贊成ヲ呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ツレナラバ讀會省略ト云フコトニ御同意ノ方ハ起立ヲ、即チ三分ノ二アレバ宜シイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數デ確定議ニ、詰リ貴族院ノ修正通りニ確定議ニ致シテ宜シイ譯デゴザリマスガ

○角利助君(二百二十九番) 私ハ修正ガアリマス

○議長(星亨君) 宜シイ

○角利助君(二百二十九番) 唯今政府委員ニ質問致シマシタ此株主ト云フコトハ、矢張貴族院デ加ヘマシタ精神ガ果シテ唯今政府委員ノ言フ如ク、會社員ト云フ文字デ株主ヲ含シタト云フコトナラバ大變間違ッタ考デ

○議長(星亨君) 修正ノ何ヲ一ツ極メデ貫ハナケレバナラヌドウ云フ修正ヲ

○角利助君(二百二十九番) 第三條ノ中第一項貴族院ノ會社員ト云フ三字ヲ修正スルノデアリマス、會社ノ社員若クハ株主ト云フ……

○議長(星亨君) サウスルト會社ノ社員若クハ株主ト云フ……

○角利助君(二百二十九番) ツレカラ第三項ノ終リニ「會社員」トアル、之ヲ「會社ノ社員」株主若クハ株主ト云フ……

(會社ノ社員株主若クハ株主ト云フ……)

○議長(星亨君) 前ノヨリ一ツ下ガ多クナルノデスカ

○角利助君(二百二十九番) 詰リ社員ト云フ文字ガ這入ル、ツレハ何故カト申シマスモ此第三條ノ精神ト云フモノハ、免ニ角外國人ニ公共ノ權利ヲ與ヘナイト云フ先ヅ精神デアリマス、第一項ノ精神デアアル、又第三項ノ精神ハ公

右及報告候也

明治二十六年二月二十四日

協議會議長鳩山和夫

衆議院議長星亨殿

○議長(星亨君) 議事日程變換ニ御不同意ガ無ケレバ議事日程變換シタモノト認メマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(星亨君) 然ラバ議事日程變換致シマシタ

(鳩山和夫君演壇ニ登ル)

○鳩山和夫君(二百八十三番) 協議會ノ結果ハ唯今朝讀セラレタ通りデア
ル、茲ニ簡單ニ其理由ヲ述ベテ置ク必要ガアリマスルカラ述ベテ置キマス、
貴族院ニ於テ衆議院カラ廻シタ所ノ案ニ對シテ修正ノ箇所ハ諸所ニゴザリマ
シタケレドモ、多クハ緊要ナラザル場所ニ於ケル修正デアリマス、最モ今
日ノ協議會ニ於テ議論ノ喧シクアリマシタノハ第五條第二十六條第三十一
條デアリマス、此第五條デ元ト政府カラ衆議院ニ出シタ所ノ案ニハ、辯護
士ノ資格ノ中ニ輕罪ノ罪ヲ犯シタル者ハ辯護士タルコトヲ得ザルノコトニナ
ツテ居リマシタ、然ルニ此輕罪ノ中ニハ辯護士ノ職務ト云フ事柄ニ關係ヲ持
タナイ所ノ罪ガ幾ラモアル、其中ノ重ナルモノヲ言ハバ官吏侮辱デアルトカ
或ハ毆打創傷デアルトカ云フ如キモノガアルノデアルガ、是等ノ罪ヲ犯シタ
者ガ一生涯辯護士タルコトヲ得ズト云フコトニ規定スルコトハ宜クナイト云
フ衆議院ノ意見デアツテ、衆議院ニ於キマシテハ偽造偽證詐欺取財ト云フ如
キ罪ヲ列記シテ、是等ノ刑ニ處セラレタル者ハ辯護士タルコトヲ得ズト云フ
如ク修正シタ、貴族院ニ於テハ之ヲ元ノ政府案ニ復シテ仕舞フタノデアル、デ
今日ハ協議會ノ末ニ矢張罪ヲ列記シテ其列記ノ漏レタ所ノ罪ヲ犯ス者ガアッデ
モ、辯護士タル資格ニハ差障リノ無イコトニ致シタルデアル、左リナガラ
議ノ結果衆議院ニ於テ列記シタモノ、外ニ、尙ホ他ノ罪ヲモ唯今朝讀セラレ
タ如クニ列記シテアリマスカラ、諸君御領承ト存ジテ別ニ委シク申述ベマセ
ヌ、ソレカラ此五條中ニ公權停止中ノ者ト云フ一項ガ加リマシタガ、是ハ
入レテ置イデモ差支ナイト云フコトガ協議ノ結果デアリマス、其道行ハ長ウ
ゴザイマスルカラ申シマセヌ、唯是丈ノコトハ茲ニ述ベテ置カナケレバナラ
ス、公權停止中ノ者ガ辯護士タルコトヲ得ザルト云フコトニ規定シタルデアリ
マス、公權停止中ノ者ハ公權ノ復シタルトキ即チ復權シタル場合ニハ辯護士ヲモ
ホ又復スルモノデアルト云フ趣意デ、此箇條ヲ挿入シタル譯デアリマス、第
十六條ニ「謝金及」ノ三字ヲ加ヘマシタノハ、現在ノ代言人間ニ行ハル、所ノ
慣例ニ基キ、又代言人規則ニ用ヒタル所ノ言葉ヲ變更スルノ必要ガナイ、
單ニ手數料トミ法文ニ書イテ置クト謝金ト云フモノハナクナツテ仕舞フ
ト云フ如キ疑ヲ懷ク者カラシテ、現行ノ慣例ニ從ツテ「謝金及」ノ文字ヲ加
ヘル譯デアル、又三十一條中ニ貴族院ハ若クハ信用ヲ失フベキノ九文字、即
チ豫テ政府ノ案ニアツタ所ノ文字ヲ衆議院デ削除シタ、ソレヲ又貴族院ニ於
テ復活シタノデアリマス、協議會ノ末ニハ又削ルコトニナリマシタ、其
譯ハ第二十六條ニ辯護士ニ於テ定ムル所ノ會則ノ中ニ風紀ヲ維持スルヲ規
定ガアリマスカラ、其場所ニ讓ツテ置ケバ宜シイ、茲ニ漢ト若クハ信用ヲ失
フベキノ云フ如キ文字ヲ置クノハ却ツテ宜シクナイト云フ趣意デ削ルコトニ
ナリマシタ、其他總テ貴族院ノ修正ニ同意スルト云フコトデ協議ガ纏マリマ

共ニ掛ル特權ヲ官吏ニサセナイト云フ精神デアル、然ルニ此案ノ如キ文字デ
見ルト會社ノ社員ハナラヌ斯ウナツテ居ル、現ニ商法ガ實行サレルト此會社ノ
組織ニ社員ト株主ノアルコトハ明デアリマス、其社員ナル者ハナラナイ株主
ハ構ハヌト云フコトハ實際ニ於テ許サレヌコトデアル、然ルニ之ヲ株主ハ社
員ノ名稱ノ中ニ含シテ居ルト云フ政府委員ノ解釋デアリマスガ、是ガ含マレ
ナイ、實際會社ノ株主ト社員トハ別物デアル、株主ガ決シテ社員デナイ又社
員ガ決シテ株主デナイ、ソレハ已ニ商法ノ會社組織ノ上ニ明デアル以上ハ、
茲ニ會社社員ガナラナイト書イタ以上ハ、株主ハ宜シイコト云フ意味ニシカドウ
シテモ讀メナイ、故ニ此處ハ會社ノ社員ト株主ト分ケテ掲ゲヌト、現ニ此間
決議シテ近日カラ施行セラル、商法ノ會社法ニ立派ニ此二ツニ分ケテアリマ
ス、會社社員ノミヲ禁ズルト言ハバ片ツ方ハ許シタ形チニナル、現ニ商法ノ上
ノ仕組ニ於テハ協同事業ナルモノハ組合ノ組織ト、會社ノ上デハ社員組織ト
株式組織ト此ノ三ツガアル、然ルニ是デハ組合員ハナラヌ又會社ノ社員ハナ
ラヌト云フト、株式組織ノ株主ト之ヲ言ハヌト外國人ハどん／＼株主ニナル
ト云フ嫌ガアル、故ニ右ノ說ヲ提出致シマス

(贊成タケト呼ブ者アリ)

○立入奇一君(二百十番) 唯今ノ說ハ宜カラウト考ヘマスカラ贊成致シマス

○議長(星亨君) 協議會ヲ開キマス

○立入奇一君(二百十番) 將來ニ大ニ關係シマスカラ宜カラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 定規ノ贊成ガゴザリマセヌ、定規ノ贊成ハ二十名ナケレバ
往ケマセヌ、即チ今ノ動議ハ成立チマセヌデ、確定ノ決ヲ採ラウト考ヘル、
即チ貴族院ノ修正通りデ本案ヲ是認セラル、方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ニ依ッテ確定致シマシタ

○鳩山和夫君(二百八十三番) 議事日程ヲ變更スルノ動議ヲ起シマス

○議長(星亨君) 辯護士法案ニ就イテ兩院協議會ノ報告ガゴザリマスカラ、
議長ニ於テモ議事日程ヲ緊急ノモノト認メテ變更スルコトヲ相當ト思ヒマス
カラ、唯今之ヲ朗讀サセマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

(町田書記官朗讀)

辯護士法案兩院協議會報告

兩院協議員ハ左ノ通議決ス

第五條 第三項「不敬罪偽造罪偽證罪賄賂罪誣告罪竊盜罪詐欺取財罪費

消罪贓物ニ關スル罪遺失物埋藏物ニ關スル罪家資分散ニ關スル罪及刑法

第七十五條同第二百六十條同第二百八十二條同第二百八十六條同第二

百八十七條同第三百六十條ニ記載シタル定役ニ服スヘキ輕罪ヲ犯シタル

者ト改ム

第五條第三項第四項ノ間ニ「第三公權停止中ノ者」ノ一項ヲ挿入ス

第五條第四項ノ第三項第四項改ム

第二十六條中手數料ノ上ニ「謝金及」ノ三字ヲ挿入ス

第三十二條中「若ハ信用ヲ失フヘキ」ノ九字ヲ削除シ「違背シ」ノ下ニ「タル」

ノ二字ヲ加フ

其他貴族院修正ノ通

衆議院議事速記錄第四十三號

明治二十六年二月二十四日

議事日程變換ノ緊急動議

辯護士法案兩院協議會報告

一〇〇五

シタ、此案ヲ直ニ是認セラレンコトヲ望ミマス
○議長(星亨君) 御質問モ何モナケレバ採決致シタラドウデス
(採決々々ト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ソレデハ決ヲ採リマス、即チ協議會ノ報告ヲ是認セラレ、
ヤ否ヤ是認セラレ、方ハ起立ヲ願ヒマス
起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依ッテ協議會ノ報告ハ是認セラレマシタ、
是ヨリ本日ノ議事日程第二選舉干涉ニ關スル上奏案、朗讀ハ省キマス

第二 選舉干涉ニ關スル上奏案(河野廣中君外三名提出)

(左ノ上奏案ハ朗讀ヲ經サルモ參考ノタメ掲載ス)

衆議院議長星亨君茲ニ衆議院ノ決議ヲ以テ謹テ上奏ス伏テ惟ルニ
叙聖文武皇帝陛下龍飛ノ德ヲ以テ大ニ乾綱ヲ張り憲法ヲ布キ議會ヲ設ケ代
議政體ノ基ヲ開キ玉ヘリ其盛德大業ハ臣民ノ仰瞻スル所ナリ臣第二期帝國
議會ニ於テ内閣ニ對シ選舉干涉ノ非ヲ論シ官吏其職權ヲ濫用シ選舉權ヲ侵
犯シタル事實ヲ認メ國務大臣ハ宜シク反省シ其責任ヲ任シ自ラ疏決スル所
アルヘキコトヲ決議セリ然レニ内閣自ラ後メス治務猶舊ニ仍リ乃民政ノ紊
亂未タ理セス府縣會ノ紛擾荐リ起リ官民反目ノ蹟ヲ存シ地方自治ノ制ヲ
亂リ其餘毒流レテ今ニ至リ物論沸騰人心恟々抑々立憲ノ昭代ニ在テ斯
ノ如キハ是レ
陛下ノ盛德大業ヲ對揚シ奉ル所以ノ道ニアラス苟モ輔弼ノ任ニ當ル國務大
臣ハ決シテ其責ヲ免ルコト能ハサルヘシ既ニ現内閣ハ施政ノ方針ヲ議會
ニ公示シ乃憲法ノ條章ニ遵由シ行政百般ノ機關ヲシテ憲法ノ動作ヲ爲サシ
メ以テ益々其改善ヲ圖リ上ハ宏謨ヲ遵奉シ國家ノ基礎ヲ鞏固ニシ下ハ人
民ノ權利ヲ保全シテ其慶福ヲ増進セシメンコトヲ誓言セリ臣詳カニ施政ノ
狀ヲ察スルニ其言行未タ相伴隨セサルモノアリ是レ畢竟國務大臣ノ未タ其
職ヲ盡ササルニ因テナリ今ニシテ改善ヲ圖リ國基ヲ鞏固ニセサルトキハ國
家ハ將ニ岌々タラントス實ニ恐懼自ラ安スル能サル所ナリ臣辱クモ國民ヲ
代表スルノ職ニ居リ民情ヲ熟視シテ默止スルニ忍ヒサルモノアリ是レ臣カ
聖聽ヲ冒瀆シテ
聖裁ヲ仰キ奉ルモノ萬止ムヲ得サルノ至誠ニ出ツル所以ナリ仰キ願クハ
陛下御斷ヲ垂レ國務大臣ヲシテ其職ヲ盡サシメ而テ非行ノ官吏ヲ戒飭シ大
ニ民政ヲ更張セラレンコトヲ臣星亨誠惶誠恐謹言以テ上奏ス

(長谷場純孝君演壇ニ登ル)

○長谷場純孝君(二百二十六番) 諸君、本員ハ此選舉干涉ニ關スル上奏案ヲ
提出シタ所ノ一人デゴザイマス、今日議事ニ先キダチマシテ此上奏案ヲ提
出シタ所ノ理由ヲ述ベ様ト考ヘマス、暫クノ間ドウゾ御清聴ヲ煩ハシマス、
抑々昨年ノ二月總選舉ニ當ッテ前内閣ガ憲法以外ノ勸キヲ爲シ、道ナラヌ選舉
ニ干涉ヲ爲シタコト云フコトハ、業ニ已ニ事實ノ上ニ明ナルコトデゴザイマス、
故ニ我衆議院ニ於キマシテハ第三期ノ議會ニ於キマシテ既ニ斯ノ如ク議決ヲ
爲シマシタ
本年二月衆議院議員總選舉ニ際シ官吏カ其職權ヲ濫用シテ選舉權ヲ侵犯シ
タルハ其證據明確ニシテ全國人民ノ具瞻スル所區々ノ辯疏ヲ以テ之ヲ蔽フ

ヘキニアラス本院ハ認メテ以テ之ヲ事實ト爲ス内閣大臣ハ宜シク反省シテ
其責任ヲ自ラ處決スル所ナカルヘカラス然ラサレハ立憲制度ノ大綱ヲ失
墜セン茲ニ之ヲ決議ス

ト、即チ是ガ我立法部ノ一ナル衆議院ニ於テ第三ノ議會ニ決議ヲ爲シマシ
ゴザイマス、其後前内閣ノ所ヲ觀察致シマス、世論自ラ憲法ノ範圍外
ニ馳セ道ナラヌ勸キヲ爲シタ内閣アルカラシテ、其善後策ヲ講ズル答デモ
ナイ、併ナガラ此非行ニ就イテハ無論焉々ツレガタメ天下ノ志士仁人ハ甚ダ
憂憤ニ堪ヘズ、又國家將來ノコトヲ慮ツテ此弊ヲ杜絶セザル以上ハ、我帝國
ノ立憲政體ヲシテ圓滿ニ最モ著實ニ運行セシムルコトガ出來ナイト云フコト
ヲ感ジマシタ、而シテ遂ニ前内閣ハ倒レマシテ唯今ノ伊藤内閣トナリマシタ
ガ、其時ニ方ッテ世人ハ聊カ伊藤内閣ニ望ミシテ居ッタ人モアラウト思ハ
レマス、併ナガラ此選舉干涉ノ善後策ヲ論ズルニ躊躇逡巡シテ果斷ノ舉ヲ爲
シマセヌ伊藤内閣モ、故ニ我々ハ本期ノ議會ニ當ッテ質問書ヲ提出致シマシ
タ所ガ、現内閣ハ我々ガ此選舉干涉ノ質問ニ對シ誠ニ空漠ナル所ノ答辯ヲ與
ヘタノデゴザイマス、此答辯ハ業ニ已ニ諸君モ御熟知ノコトデハゴザイマス
ルケレドモガ、念ノタメ茲ニ其要領ヲ摘ミシテ置キマス、誠ニ現伊藤内閣
ノ答辯トモガ、我々ハ甚ダ不満足ニ堪ヘヌノミナラズ、又現内閣ノタメニモ甚
ダ惜ムベキコトデアラウト思フ、其答辯書ノ要領ハ
現内閣内治方針ノ第一要義ハ憲法ノ條章ニ遵由シ行政百般ノ機關ヲシテ憲
法ノ動作ヲ爲サシメ以テ益々其改善ヲ圖リ上ハ宏謨ヲ遵奉シテ國家ノ基
礎ヲ鞏固ニシ下ハ人民ノ權利ヲ保全シテ其慶福ヲ増進スルニアリ即チ憲
法及選舉法ニ依テ帝國臣民カ享有スル所ノ權利ヲ完全ニ保セラレンコトハ
現内閣ノ固ヨリ任スル所ナリ云々

ソレカラ其次ノ方ニ

本年二月衆議院議員總選舉ニ方リ官吏ニシテ非行アリタリトノ事實アリテ
司法裁判所ノ裁判ヲ受クヘキモノ果シテ今日之レアルニ於テハ被害者自ラ
司法上ノ補伸ヲ求ムルハ歟又ハ被害者ノ告訴ナキモ檢察官之ヲ起訴スル歟又
ハ檢察ノ機關ニ令シテ之ヲ起訴セシムル歟現内閣ハ其ノ非行ヲ糾治スルノ
手續ヲ取ルコトヲ避ケス其行政上ノ監督ニ至リテハ現内閣ハ當時ニ遡リテ
之ヲ行ウニ由ナシ

其他云々誠ニ漠然タルモノト我々ハ考ヘル、唯此答辯書ニ據リマスト現内閣
ハ全ク法律ノ楯ノ中ニ立籠ッテ仕舞フト云フヤウナ意味トシカ解サレヌノデ
ゴザイマス、政治上ノ德義ナルモノハ少シモ考ヘナイ答辯者ト斷言セザルヲ
得マセヌ、好シ又ツレトシマシテモ大變此法律上ニ關シタル事實ノアルコト
ガゴザイマス、其後前内閣ノ所ヲ觀察致シマス、世論自ラ憲法ノ範圍外
ニ馳セ道ナラヌ勸キヲ爲シタ内閣アルカラシテ、其善後策ヲ講ズル答デモ
ナイ、併ナガラ此非行ニ就イテハ無論焉々ツレガタメ天下ノ志士仁人ハ甚ダ
憂憤ニ堪ヘズ、又國家將來ノコトヲ慮ツテ此弊ヲ杜絶セザル以上ハ、我帝國
ノ立憲政體ヲシテ圓滿ニ最モ著實ニ運行セシムルコトガ出來ナイト云フコト
ヲ感ジマシタ、而シテ遂ニ前内閣ハ倒レマシテ唯今ノ伊藤内閣トナリマシタ
ガ、其時ニ方ッテ世人ハ聊カ伊藤内閣ニ望ミシテ居ッタ人モアラウト思ハ
レマス、併ナガラ此選舉干涉ノ善後策ヲ論ズルニ躊躇逡巡シテ果斷ノ舉ヲ爲
シマセヌ伊藤内閣モ、故ニ我々ハ本期ノ議會ニ當ッテ質問書ヲ提出致シマシ
タ所ガ、現内閣ハ我々ガ此選舉干涉ノ質問ニ對シ誠ニ空漠ナル所ノ答辯ヲ與
ヘタノデゴザイマス、此答辯ハ業ニ已ニ諸君モ御熟知ノコトデハゴザイマス
ルケレドモガ、念ノタメ茲ニ其要領ヲ摘ミシテ置キマス、誠ニ現伊藤内閣
ノ答辯トモガ、我々ハ甚ダ不満足ニ堪ヘヌノミナラズ、又現内閣ノタメニモ甚
ダ惜ムベキコトデアラウト思フ、其答辯書ノ要領ハ
現内閣内治方針ノ第一要義ハ憲法ノ條章ニ遵由シ行政百般ノ機關ヲシテ憲
法ノ動作ヲ爲サシメ以テ益々其改善ヲ圖リ上ハ宏謨ヲ遵奉シテ國家ノ基
礎ヲ鞏固ニシ下ハ人民ノ權利ヲ保全シテ其慶福ヲ増進スルニアリ即チ憲
法及選舉法ニ依テ帝國臣民カ享有スル所ノ權利ヲ完全ニ保セラレンコトハ
現内閣ノ固ヨリ任スル所ナリ云々

ヲ干涉ノタメニ支出シ、ノミナラズ此證書ハ即チ悉ク偽造偽印デアルト云フコトノ證據ガ此處ニ上ツテ居ル、斯ノ如キモノハ即チ德義ノ罪人ナルノミナラズ既ニ業ニ我ハ法律上ノ罪人ト言ハザルヲ得ナイ、然ルニ此事タルヤ其狀ヲ具シテ佐賀縣會議長ナル者ガ、内務大藏兩大臣ニ上申書ヲ呈シテアリマス、併ナガラ未ダ今日ニ至ル迄内務大藏兩大臣ハ之ニ如何ナル處分ヲナシタカ、我ハ此等トモ聞カナイ、即チ其書類ハ大變ゴザリマスカ悉ク之ニハ證明書ヲ附ケテゴザリマス、其重ナルモノヲ一ツ申シマスレバ

一警察費ニ係ル書類中明治二十五年二月十八日小城郡小城町二百八十五番地野田利兵衛同年同月二十七日同郡同町三百三十四番地江頭喜三同年三月二十二日同郡同町三百四十八番地橋本安吉同年三月十四日同郡同町二百七十五番地南里彌三同年三月十四日同郡同町二百十四番地山口政太郎同年二月二十二日同郡同町二百六十番地森永龍三郎

マダ是ハ澤山ゴザリマスケレドモ、一々讀ムコトハ煩ハシウゴザリマスカラ省イテ置キマス、ソレカラ其次ニ
一同上明治二十五年二月十六日小城郡小城町二百十四番地山口政太郎同郡同町二百七十一番地寄留永石爲吉ノ名義ニテ小城郡東多久村別府ヨリ佐賀郡役所迄十里往復二人挽人力車賃金壹圓五十錢ノ受取証アルモ前顯人名右往復ニ雇ハレタル事之レナキノミナラズ其受取証ニ捺印シタル印影ハ其ノ印影ニアラザルコト即チ偽造証ナルコト別紙明治二十五年十二月十三日附同人等ハ急行人力車賃手續書ニ依リテ明ナリ
是ハ澤山ゴザリマス、ソレデ此中ノ手續書ヲ一ツ讀ンデ置キマセウ
急行人力車賃手續書
本年二月十六日小城ヨリ多久分署迄人力車賃三里分六拾錢其金受取タルコト更ニ覺ヘ無之且ツ該領收證ニ押印致タル事無之候也

明治二十五年十二月十三日
小城郡小城町三百四十八番地 橋本安吉
同郡同町三百三十四番地 江頭喜三

佐賀縣會審查委員

竹下以善殿

是モ澤山ゴザリマス、先ヅ各府縣ノヲ舉ゲレバ誠ニ枚舉スルニ遑アラヌ譯デゴザリマスガ、是ガ即チ佐賀縣ノ一部ヲ申シタ譯デゴザリマス、ソレカラシテ此選舉干涉善後策ヲ現内閣ガ講ジナイ、タメニ即チ地方、各府縣ハ如何ナル苦情ガ起リタカ、タメニ如何ナル人民ハ苦ヲ受ケテ居ルカト云フト、今日考ヘマシタナラバ明ナコトデゴザリマセウ、即チ此干涉ノ餘弊、善後策ヲシナイカラシテ干涉ノ餘弊ガ及ンデ、昨年ノ通常府縣會ニ如何ナル有様デゴザリマシタカ、或ハ大阪ニ或ハ徳島ニ或ハ埼玉ニ此縣會ヲ解散シテサウシテ再選舉ヲ行フト云フ場合ニ至リマシタハ、抑、其原因ハ何デゴザリマセウ、即チ是ハ悉ク選舉干涉ノ餘弊ト謂ハザルヲ得ヌ、唯我帝國ノ中苟クモ此干涉ノ餘弊ヲ受ケザル所ハ三府四十餘縣ノ中、一府縣モナイト云フコトヲ私ハ此壇ニ斷言スルコトヲ憚ラナイ、然ルニ現内閣ハ其有様ヲ知ツテ居ルヤ否ヤト考ヘルト、唯今朝讀シタル佐賀縣ノ所謂干涉ニ支拂ヲシタ證書ハ、即チ偽造偽印デアルト云フコトハ縣會議長ガ職務上ノ資格ヲ以テ内務大藏兩大臣

ニ上申シテアルニモ拘ハズ、未ダ之ヲ處分スルノ手續ヲ爲サザルハ、抑、何等ノ故デゴザリマセウ、僅ニ佐賀縣ノ如キ知事ト警部長ノ更迭ヲ行ヒマシタガ、併ナガラ此警部長タルヤ一度三重縣ニ轉任セシメタ所ガ、夫ノ三重縣ノ人民ハ大ニ激昂致シテ遂ニ三重縣ニ留置クコトヲ得ズシテ先般沖繩縣ニ轉任ヲ命ジタ譯デゴザリマセウ、斯ノ如キ證據ガアルモノトスレバ私ノ目ヨリ見ルトキハ、既ニ德義ノ罪人ノミナラズ法律上ノ罪人ト看做サザルヲ得ナイ、宜シク轉任位ノ處分ヲ行ウベキモノデハナイト私ハ考ヘル、然ルニ前御話申シタ通り此衆議院ハ第三議會ニ於テ決議ヲナシ第四議會ニ於テ質問ヲナスニモ拘ラズ、政府ノ答辯ハ誠ニ茫漠タルモノニシテ殆ド雲ヲ捉ヘルガ如キ憾ミガアッタノデアアル、故ニ事はニ至ツテ我ハ我帝國ノ立憲政體ヲシテ益鞏固ニ益圓滿ナラシメムガタメニハ、此選舉干涉ノ善後策ヲ第一ニ講ジテ、我帝國ノ多數臣民ノ腦裡ニ染込ンデ居ル夫ノ干涉ト云フコトヲ直ホスノ策ヲ講ゼンデハ、到底我帝國ノ立憲政體ハ圓滿ニ行ハレ難イト云フコトヲ信ジテ居ル者デアリマス、故ニ止ムコトヲ得ズシテ此上奏案ヲ提出シタ譯デゴザリマス、又其實例ノ如キハ幾ラモ證據ガゴザリマスガ、前内閣ハ誠ニ此先キニ御話申シタ通り選舉干涉ヲ爲シタ所謂非憲法的ノ舉動、法ヲ破ツテ非立憲的ノ舉動ヲナシタコトハ掩フベカラザルコトデアアル、然ルニ夫ノ鹿兒島縣地方ニ於テ其重ナルモノヲ爲シタ人ハ誰デアアルカト云フト、誠ニ驚クベキデアアル、當時鹿兒島ニ在ツテ此選舉干涉ノ事ニ一番奔走盡力シテ、所謂選舉干涉ノ發端人トモ云フベキ人ハ陸軍中將伯爵西郷從道、貴族院議員中村博愛、内閣書記官佐藤暢、大藏主稅官小島正一、警視宮內盛高、警視倉內季盛、警視室田景春、滋賀縣書記官寺原長暉、宮崎縣書記官野村政明、高知縣警部新納久、長崎縣警部堀內某、熊本縣警部佐土原親愛、此等ノ人ハ身官職ヲ帶ビナガラ名ヲ公正ニ托シテ、現ニ鹿兒島ノ諸所ニ自ラ其本營ヲ設ケテ選舉干涉ヲナシタル人々デアアル、然ルニ今日マデ斯ノ如キ事實アル者ニ向テ内閣ハ相當ノ處分ヲ施サヌハ抑、何故デゴザリマセウ、我ハ事はニ至ツテハ最早、陛下ニ訴ヘルヨリ外ニ道ハナイト思フ、質問ノ道モ盡キ建議ノ道モ盡キ外ニ道ガナイカラ、上奏案ヲ提出スルノ止ムコトヲ得ザル譯デゴザリマス、又衆議院ニ於テ建議ハ致シマセウガ、即チ第三議會ニ貴族院ハ大多數ヲ以テ之ヲ議決シテ政府ニ向ツテ建議ヲシタ、故ニ我立法部ニ於テハ質問ノ道モ取り、建議ノ道モ取り、是デ政府ガ所謂改善ノ策、善後ト策ヲ斷行セザル以上ハ、我ハ即チ立法部ノ所謂輿論ヲ代表スル所ノ一人トシテ、最早止ムコトヲ得ズ憲法ノ許サレ、所ノ條章ニ從ツテ、陛下ニ訴ヘルヨリ外ニ道ハナイト思フ、ソコデ一々實例ヲ舉ゲマスル、大阪若クハ徳島縣埼玉縣福島縣佐賀縣石川縣兵庫縣三重縣福岡縣神奈川縣其他各府縣ニ於テ皆悉ク證據ヲ持ツテ居リマス、ケレドモ今日ハモウ小サイコトハ一々茲ニ諸君ニ向ツテ御申述ベルノ必要ハナイト思フ、我々ガ上奏案ヲ提出シタル次第ハ斯ノ如キ譯デゴザリマスカラ、諸君ハ我帝國ノ立憲政治ヲ圓滿ニ進行セシムルガタメニ、此案ニ向ツテ御賛成下サレムコトヲ希望致シマス
○千葉胤昌君(二百十四番) 議長質問ヲ致シマス
○議長(皇亨君) 二百十四番何デスカ
○千葉胤昌君(二百十四番) 今選舉干涉ノ議論ハ詰リ第三議會ノ時ニ決議ヲシタ趣意ヲ以テ上奏スルト云フノデゴザリマスガ、詰リ議論ハ第三議會ノ決

議ノ時ノ通りノ議論ヲ總テ此事ハ致シテ宜シカラウト思ヒマスガ、如何デス
○長谷場純孝君(二百三十六番) 丁度御問ノ通りデス、第三議會デ決議ヲシ
タ精神ヲ何處マデモ履ミ行フト云フ決心デアルノデス

○千葉胤昌君(二百十四番) 然ラバ御問ヒ申シマス、此第三議會ニ於テ先キ
ニ選舉干渉ノ上奏案ノ時ニ當リマシテ、島田三郎君ハ宮城縣第五區ニ於テハ
百三十八ノ無辜ノ人民ヲ拘留シテアル、而シテ其百三十八人ヲ拘留シテ置イテ
此反對派ニ勝タシタ、其百三十八人ハ悉ク選舉人デ之ガ投票ヲナサシメナカ
タト云フコトヲ明ニ申シテ居ル、然ルニ是ハ何ニ據テ島田君ハ調ベラレタカ、
又島田及外ノ同意者ハドウ云フコトニ據リマシタカ、私ガ之ヲ取調ベマシタ
所ガ……

○議長(星亨君) 二百十四番、島田君モ通告シテ居ルカラ其時ニ御聽キナサ
イ、知ラヌト言ハレ、バツレ迄デアル

○千葉胤昌君(二百十四番) 外ノ人デモアノ事ヲ以テ……

○議長(星亨君) ツレハ島田君モ通告シテアルカラ其時ニ御聽キナサイ

○千葉胤昌君(二百十四番) 併シ是迄ハ島田君ノ議論マデハ中ニ至ルマイト
思フカラ……

○井上角五郎君(七十八番) 議長質問ヲ致シマス

○議長(星亨君) 七十八番
○井上角五郎君(七十八番) 此選舉干渉ニ關スル上奏案ト云フモノハ屢、當
議場ニ(質問ハ要ラヌト呼バ者アリ)現ハレマシタノデアアル、是ハ自由黨ノ諸
君ガ重ニ署名シテ居ルカラ長谷場君ニ伺ヒマス、過日 詔勅ノ下ルヤ評議員
ヲ拵ヘ政府ト協議ヲシテ、其結果トシテ豫算ニ就イテ齋藤圭次君ガ豫算報告
ノ演說ヲシタ言葉ヲ聽クト、今日マデノ事ハ一切萬事打明ケテ何事モ政府ト
折合ツテ往クト言ハヌベカリノ演說ヲシテ居ル、此選舉干渉ニ關スル上奏案
ノコトハ自由黨カラ出テ居リマスガ、今日マデ夫ノ御詔勅ヲ拜シテ有難サト
云フコトヲ云フ自由黨ノ諸君ガ、度々言ハレタコト、全ク關係ハナイノデア
ルカ、少シ關係ガアリサウニ思ヒマスガドウデス、若シ關係ガアレバ今日ハ
是ハ九デ潰レハシナイカ……(答ヘルニ及バヌト呼バ者アリ)

○長谷場純孝君(二百三十六番) 度々議事日程ニ出タリ引込シタ、ツ
レハ議長ニ御尋ネナサイ、私ハ職權ガナイカラ答ヘラレナイ、他ハ銘々御思
召ノ御議論ニナルナレバツレデ宜イコトデアラウト思フ

○議長(星亨君) 百八十八番
○議長(星亨君) 百八十八番

(工藤卓爾君演壇ニ登ル)

○工藤卓爾君(百八十八番) 私ハ本案ニ反對スル意見ヲ述ベル者デゴザイマ
ス、元來申ス迄モナク上奏ト申シマスルコトハ極メテ重大ナルコトデゴザイ
マスカラ、之ヲ爲スニ當ツテハ宜シク鄭重ニ鄭重ヲ加ヘ、謹慎ノ上ニモ謹
ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトハ勿論ノコトデゴザイマスカラ、斯ノ如キ
上奏ヲスルニ當ツテモ餘程研究ヲシナケレバナラヌコトハ勿論ノコトデア
ラウト思ヒマス、即チ本事件ニ就キマシテ第二期ニ當ツテ選舉干渉ノ案ニ向
テ決議ヲシタル以上ハ、當時ノ内閣ガ變ツテモ今日ノ内閣ニ至ツテ之ヲシ
ナケレバナラヌモノデアアルヤ否ヤ、若クハ警部長ナド、云フ小役人ノ爲シタ
ル事ハ、其時ノ内閣ノ指揮命令ニ從ツテ爲シタルモノデアアルカラ、是ハ内閣
ノ更タル後ニハ不問ニ付シテ置クベキモノデアアルカ、又ハ何處迄モ踐行シ

ナクテハナラヌモノデアアルカト云フ問題ニ至ツテハ、隨分研究スベキ問題デ
アラウト思ヒマスシ、是等ノ事ハ特ニ研究シナケレバナラヌコト、思ヒマス
ルガ、併ナガラ最早今日ノ場合ニナリマシテハ是等ノ事ヲ研究スルヨリハ、
要スルニ今日ハ如何ナル場合デアアルカト云フコトヲ研究シナケレバ、此問題
ノ如キハ之ヲ決スルニ於テ十分デアアラウト思ヒマス、故ニ私ハ此第三期ニ爲
シタル決議ハ、今日現内閣ガ其責ヲ負ハナケレバナラヌモノデアアルヤ否ヤ、
若クハ警部長ヤ何カノ小役人ノ爲シタル事ハ、現内閣ノ指揮命令ニ從ハナケ
レバナラヌモノトシテ、追究シナケレバナラヌモノデアアルヤ否ヤト云フコト
ヲ論ズル場合デアナイト思ヒマス、ツレ故ニ是等ノコトハ省イテ今日ノ場合ハ
如何デゴザイマセウト云フコトヲ數言ヲ費シマシテ、簡單ニ是等ノコトハ遺
ルモノデアナイト云フ理由ヲ述ベルニ止メテ置カウト思ヒマス、諸君モ心ニ問
ヒマシタナラバ十分感ズル所ガアルデゴザイマセウ、此議場ノ有様即チ政治
局面ハ十日以前ト十日以後トハ餘程違フテ居ル、我衆議院ハ政府ト衝突シテ
其衝突モ極點ニ達シテ、殆ド一步ヲ移スノ餘地ナキコトハ十日以前デゴザイ
マス、其後政治ノ局面ハ一變シテ十日以前トハ餘程違フテ居ル、言葉ヲ換ヘテ
言ヘバ 大詔煥發後ト以前トハ餘程違フテ居ル、故ニ今日此問題ヲ議スル
ニ當ツテハ 大詔煥發以後デアアルト云フコトハ記憶ヲシテ居ルテ貴ヒタイ、
唯今提出者ガ言ハレタコトハ多クハ此 大詔煥發以前デアアル、即チ内閣
ニ向ツテ質問書ヲ提出シタコトモアル、其答辯ハ如何デアアルカ、其質問ニ對
シテ答ヘタ所ハ或ハ要領ヲ得ナイ或ハ宜シクナイコトモアラウガ、其質問ヲ
提出シ政府ガ答辯シタノハ何時デアアルカト云フコトモアラウガ、大詔煥
發以前デアアルト云フコトハ、諸君モ御承知デアリマセウ、然ラバ即チ 大詔
煥發以前即チ政府ト議會ト衝突シテ一步ヲ移スノ餘地ナキ當時ノ事情ヲ以
テ 大詔煥發後互ニ和衷協同シテ遺ルト云フ時ニ之ヲ適用スルノハ宜シ
クナイト思フノデアアル、過日豫算案ニ對シテ上奏致シマシタ時ニ 大詔ガ下
リマシタ、即チ唯今申シマシタ通り本月十日ノ 大詔デゴザイマス、其中
ニドウ云フコトガアルカト云フト斯ウ云フコトガゴザイマス
朕ハ特ニ閣臣ニ命シ行政各般ノ整理ハ其ノ必要ニ從ヒ徐ロニ審議熟計シテ
遺算ナキヲ期シ 朕ガ裁定ヲ仰カシム
ト云フコトガ書イテアリマス、而シテ又豫算委員ノ當議場ニ向ツテ報告サレ
タ所ニ依レバ、豫算ノ金ニ於テ政府ノ大臣ガ政府ノ意見トシテ委員會ニ公言
シタト云フコトガ述べテアリマスガ、其中ニ斯ウ云フコトガアル
政府ノ今日ニ決心スル所ハ諸君ガ、申ス迄モナク凡ソ相當ノ智識ヲ有ツテ政
治上ノ考ヲ有ツテ居ル人ハ必ス満足スヘク信用スルニ違ヒナイガ其中ニ或
ハ満足シナイト云フ人ガ居ルカ知ラヌガ諸君ハ申ス迄モナク凡ソ日本國帝
國ニ於テ政治上ノ見識ヲ有ツテ居ル人ハ満足セラル、又ハ改革ヲスル積リ
デアリマス
ト云フコトヲ云フテ居リマス、斯ウ云フコトヲ此議場ニ報告シテアリマスガ、
然ラバ 大詔ニゴザイマス行政各般ノ改革ヲサセルト云フコトハ、又内閣大
臣ガ誓ツテ行政各般ノ整理ヲスル、其整理ヲスルニ就イテハ當ニ議員諸君ノ
満足スルノミナラズ苟モ政治上相當ノ智識ノアル者ハ……(石阪昌孝君議
長 辯士中止)……決心ト云フハ秋ノ空ダ何モ決心ハ一モナイト呼ブ)
ツレデ行政各般ノ整理ヲスルト云フ行政各般ト云フ中ニハ、諸君ノ議論ノ

如クスレバ選舉干渉ノ如キコトハ取除テアルトシナケレバナラヌ、併ナガラ私ノ考デハ行政百般ノコトハ必ズ改良スルコト云フコトハ、勿論干渉ノヤウナ惡イコトハ、之ヲ改革シナケレバナラヌ方針デアルト云フコトハ、勿論ノコトデアラウト思ヒマス、諸君ガ今日ノ遺リ方ト從來ニ就イテノ遺リ方トハ私ハ甚ダ疑ガアル、豫算ヲ議スルニ當テハ政府ハ行政百般ノ改革ヲスル、即チ言ヒ換ヘレバ和衷協同ノ實ヲ舉ゲルト云フ御方針ノヤウニ承ハッテ居リマ

スガ、今日之ヲ議スルニ當テハ政府ハ選舉干渉ノ善後策ヲシナイト云フヤウニ言ハル、ノハ、行政百般ノ改良ノ中ニハ即チ選舉干渉ハ取除ケデアルト云フヤウニ私ハ察セラレマス、併ナガラツレハ諸君ノ御考デカラ致方ハナイガ、通常ノ智識ノアル人通常ノ感覺ノアル人デアラナラバ、行政百般ノ改革ト云フコトガアレバ無論ハ改革スルト云フコトハ言ハズモ私ハ分ツテ居ルコト、思フノデアアル、既ニ行政百般ノコトニ就イテ改革ヲスルト云フ言葉ノ中ニハ、選舉干渉ノ如キ弊ハ勿論改メルト云フ趣意ガナイトシタ所ガ、私ハ今日此上奏案ヲ提出スルノ必要ハナイノデアラウト思フ、故ニ私ハ多クハ言ヒマセヌガ、行政百般ノ改良ト云フ中ニハ無論選舉干渉ノ如キコトハ改メルト云フコトハ分リ切ツテ居ルト思ヒマスカラ、此上奏案ハスベキモノデア

イト思フノデアアル、ツレデ今日此上奏案ハ諸君ガ議スルト云フコトニ就イテハ私ハ甚ダ疑ガアル、何ゼ疑ガアルカト申シマスレバ、今申ス如ク行政百般ノコトハ必ズ改革スルト云フニ拘ラズ、之ヲ爲スト云フ所カラシテ見レバ、過日諸君ハ和衷協同ノ實ヲ舉ゲナケレバナラヌト云フ心持ヲ以テ夫ノ議事ヲサレタ所カラシテ見レバ、今日之ヲ爲スト云フコトハ甚ダ疑ナキ能ハザルコトデゴザイマス故ニ私ハ之ヲ諸君ノタメニ疑フ、疑フノハ一旦之ヲ議場ニ提出シタカラ今更引込ムノモ少シ間ガ惡イカラ、免ニ角之ヲ通サナケレバナラヌト云フノハ、何處迄モ之ヲ遺ルト云フ考デハナクシテ、ドウニカシナケレバナラヌト云フ考デナラ起ツタコトデアラウト思フノデアアル、(田中正造君餘リ智恵ノナイ考ダネト呼ブ)併ナガラ若シサウ云フコトデモアリマスナレバ、寧ロ男ヲシク本案ヲ撤回スルガ宜シイ、總テ己レノ提出シタル議案ハ一旦出シタ以上ハ免ニ角遺リタイト云フコトハ人情トシテ免レヌガ、併ナガラ其不可ナルヲ覺ツタ以上ハ、公然男ヲシク撤回スルノガ私ハ其宜シキヲ得タルモノト思ヒマス、私共モ議員ノ歳費ヲ減ズル法律案ヲ提出シマシテ、一旦出シタ以上ハ何處迄モ遺リタイトハ思ヒマシタガ、熟シ議場諸君ノ有様ヲ聞イテ見マスルニ、既ニ中ニハ獻納トシテ願出デタ人モアルト聞キマシタカラ、左様ナ法律案ハ最早必要ガナイト云フノデ即チ之ヲ撤回シマシタ、固ヨリ上奏案ト議員ノ歳費ニ關スル法律案トハ其輕重大小ハアルデゴザイマセウガ、苟モ己レガ思ヒマシタ所ノ議案即チ提出ヲ致シマシタル以上ハ、何處マデモ之ヲ遺リタイト云フ心ニ至ツテハ敢テ違ヒハナイト思ヒマス、併ナガラ私共ニ於テハ一旦其實況ヲ知リ法律ヲ以テ定メズトモ、既ニ獻納ノ願ヲ出シタ人ガアルト云フナラバ、今日之ヲ議スルノ必要ガナイト思フテ撤回シタノデア

リマス、故ニ私ハ自分ノ意見ヲ法律案若クハ上奏案トシテ出シタル所ガ、其不可ナルコトヲ知ツタ以上ハ速ニ之ヲ撤回スル、是コソ寧ロ私ハ男ヲシイ事ト私ハ思フ、故ニ私ハ十日以前ノ此上奏案ヲ提出シタ時今日ト違ツテ居ルト云フコトガ、是ハ諸君モ心ノ中ニ問ハレタナラバ必ズ思ヒ半ニ過ギルデ

アラウト思フ、既ニ今日ニ於テ其事ガ定マツタ以上ハ何處迄モドウカシナケレバナラヌト云フヤウナ考ヲ棄テ、男ヲシクスル方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、私ノ此案ニ反對スルノハ此案ヲ提出シタル當時今日トハ其場合ガ甚ダ違ツテ居リマスカラ、寧ロ男ヲシク撤回シタ方ガ宜カラウト云フノデア

スルノデアアリマス、是丈

○議長(星亨君) 五十二番

(加藤政之助君演壇ニ登ル)

○加藤政之助君(五十二番) 諸君、木員ハ此上奏案ニ賛成スル者デゴザイマス、デ是ヨリ賛成ノ理由ヲ述ベマスルノデゴザイマス、去ナガラ最早選舉干渉ノ事實ニ至リマシテハ世間公衆ノ認ル所デゴザイマス、加之ナラズ提出者ヨリモ細シ事實ハ諸君ノ前ニ陳辯セラレマシテゴザイマス、左レバ本員ハ此壇ニ於キマシテ再ビ選舉干渉ノ事實ヲ繰返スノ必要ハナイト思ヒマス、ツレガ故ニ其事實ニ就イテハ申シマセヌガ、此上奏案ヲ今日提出スルノ止ムベカラザルノ理由ハ述ベナケレバナラヌデゴザイマス、即チ輿論政治デアアル、此輿論政治多數政治ノ實ト云フモノハ如何ニシテ舉ガルカト申シマシタレバ、日本全國此憲法ニ依リ附則法ニ依リ選舉權ヲ有スル人ヲシテ任意ノ投票ヲ爲サシメテコソ、始テ日本四千萬ノ輿論ト云フモノハ現ハレテ來ルノデアアルト本員ハ信ズルノデアアル、然レニ若シ此選舉權ト云フモノヲ政府ノ權力ニ依ツテ若クハ何等カ外ノ力ニ依ツテ、此權ヲ蹂躪スルト云フコトガアリマシタラバ、此立憲政體ノ議論ト云フモノハ其時最早破壞サレテ仕舞ツテ、此議場ニ集ツタル所ノ三百ノ議員ハ眞正ニ日本全國四千萬ノ輿論ヲ代表シタト云フ者デハナイコトニナリマス、然ラバ此選舉干渉ヲシタ事實ガアルト同時ニ此輿論政治ノ基礎ハ其時ヨリ崩レルモノデアアルト云フコトヲ我々ハ考ヘナケレバナラヌノデアアルマス、即チ輿論政治ガ毀ハレテ立憲政體ガ毀ハレテ、少數專制ノ成立ツタル藩閥ノ政治ニナルノデアアル、此專制ノ政體ノ名ノ下ニ藩閥ノ政體ノ名ノ下ニ專制ノ政治ヲ行フコトハ固ヨリ其本色デアアルカラ、我々ハ深ク答ムルコトハナイト思フ、併ナガラ立憲政體ノ名ノ下ニ多數政治ノ冠ヲ被リ輿論政治ノ皮ヲ被ツテ此少數專制ノ政ヲ行フニ至ツテハ、私ハ其奸惡焉ヨリ大ナルハナク其罪辟焉ヨリ大ナルモノハナイト信ズルノデゴザイマス、然ルニ前ノ松方内閣ハ此選舉干渉シタノデアアル、此選舉權ヲ蹂躪シタノデアアル、然ラバ松方内閣ハ此大罪ヲ犯シタモノデアアル、本員等ハ此議院ノ内ニ於テモ又外ニ於テモ、此松方内閣ニ向ツテハ立憲政體ノ謀反人デアアルト云フコトヲ公言スルニ憚ラヌノデゴザイマス、而シテ現内閣ハドウデアアルカト申シマスルト、現内閣ハ此選舉干渉ノ事實ハ認メテ居ルヤウニ私ハ思フ、現内閣ハ此事實ヲ認メ選舉干渉ハ宜シクナイト云フ事ヲ知ツテ居ルト云フ事實ハ、私ハ此處ニ之ヲ證明スルコトガ出來ルト思フ、ツレハ何デアアルカナレバ伊藤總理大臣ガ現内閣ヲ組織シテ後、各地方官ヲ喚シテ其時ニ地方官ニ向ツテ如何ナルコトヲ申サレタカ、即チ各地方官ニ向ツテハ縱令政府ノ命ズル所デアツテモ、上長官ノ命ズル所デアツテモ、其事柄ニシテ若シ惡イナレバ、決シテ其命ハ奉シナケレバナラヌト云フノ必要ガナイノデアアルト、斯様ナコトヲ述ベラレマシタガ、其當時世間ノ人ガ之ヲ解釋シテ言フニハ、伊藤總理大臣ハ選舉干渉ノ如キコトハ再ヒ爲スベキモノデアナイ、決シテ政府ガ之ヲ命令シ

テモ是ハ爲スベキモノデナイト云フコトノ意味ヲ示シタモ、ス様ニ世間ノ人ハ申シテ居リマシタ、又モウ一ツノ證據ハ井上總督總理大臣ガ如ナルコトヲ言ハレタカト云フニ、本院ノ會議ノ初メニ當リマシテ、現内閣ハ憲法ノ條章ニ依ッテ立憲的ノ動作ヲスルモノデアルト云フコトヲ此演壇ニ於テ明言サレテ居ル、立憲政體ノ下ニ立憲的ノ運動ヲスルト云フコトハ、今更言フニハ及バヌコトデ極リ切タコトデアアル、此極リ切タコトヲ臨時總理大臣ガ此處ニ繰返サナケレバナラヌト云フニ至ツタ、其必要ノ起ツタノハ抑何故デアアルカ、抑前内閣ハ憲法以外ノ動作ヲシテ亂暴ノコトヲシタ、人民ノ權利ヲ蹂躪シタコトガアルガタメニ、此分リ切タコトヲ現内閣ガ再ビ之ヲ繰返サナケレバナラヌト云フ必要ガ起ツタデアアル、此解釋ニシテ若シ間違ナキモノトシタナラバ、前内閣ハ選舉干渉ヲシタコトガアッタト云フ事實ヲ認メ、又選舉干渉ハ宜シクナイト云フコトヲモ考ヘテ居ッタモノト私ハ認メタノデアリマス、併ナガラ現内閣ノ處置ハ……斯様デアアル、一面カラ眺メマスレバ選舉干渉ノ役人ヲ非職シ免職シ或ハ轉任シテ之ヲ賞罰シタル形蹟ガアル、又一面カラ眺メテ見レバ此選舉干渉ヲ爲シタル者ヲ、今日迄依然トシテ其席ヲ保タシメルノミナラズ、時ニ取ツテハ其役人ヲ榮轉セシメ之ヲ賞讃スルノ形蹟ガアル、茲ニ於テ我ハ現内閣ノ處置ガ分ラヌ、選舉干渉ヲ爲シタル役人ハ之ヲ褒スルガ如ク之ヲ貶スルガ如ク如何ニスルノデアアルカ、現内閣ノ方針ヲ窺ハシムルコトガ出來ヌ、併ナガラ一方カラ願レバ内閣ノ褒貶ガ此選舉干渉ノ善後策ヲ爲スコトガナイト云フコトヲ認メルコトガ出來ル、如何トナレバ當時選舉干渉ノ躍起知事或ハ躍起組ト世間デ稱セラレタル地方官ニシテ、今日尙ホ依然其地位ヲ保ッテ居ル者ガアルデハナイカ、此點カラ考ヘレバ現内閣ハ選舉干渉ヲ爲シタル者ガ唯今免職セラレ非職セラレタル者ガアルノハ、是ハ選舉干渉デナク他ニ現内閣ノ忌諱ニ觸レルコトガアルト判斷ヲ下サネバナラヌ、果シテ然ラバ現内閣ハ此選舉干渉ヲ爲シタル官吏、此立憲政體ヲ破壊セントスル舉動ヲ爲シタル者等ニ向ッテハ、今日迄何等ノ處置ヲ爲サヌモノト茲ニ斷言シテ私共差支ナイト思フ、果シテ然ラバ此ノ如キ選舉干渉ヲ爲シタノ如キ罪惡ヲ爲シテ、之ガ世ノ中デ惡事トセラレズ又懲罰ヲ受ケヌトスレバ、此選舉干渉ハ今日以後善事デアアル、宜シキ事デアアルトナル、一步進メテ言ヘバ選舉干渉シテ此政府ニ忠義ヲ盡セバ、己レガ地位ヲ進メル材料ニナルト云フ、馬鹿氣タ考ヲ爲ス役人ガ無イトモ言ハレヌ、斯ウナツテハ我内閣ハ其名ハアツテモ、立憲政體ノ眞面目立憲政體ノ實ト云フモノハ、今日以後亡ブルト云フコトヲ悲シマナラヌ、是ニ至ツテ諸君ニ記憶ヲ願ハネバナラヌ、諸君我立憲政體ハ如何ニシテ出來タカ、或人ハ血ヲ流サズシテ出來タト云フガ、立憲政體ヲ爲スニ至ル迄ハ日本幾千百萬人ノ人民ハ財產ヲ傾ケタ、日本幾千人ハ牢獄ニ墮イタ、又幾千人ハ罪科ニ觸レテ死シ、幾十幾百人ハ罪科ニ觸レタ、然ラバ是ハ容易ニ得タモノデアナイ、貴重ナル立憲政體デアアル、此選舉干渉ノ跡始末ヲ爲サズニ過ゴセバ、今日以後破壞セントスル端緒ヲ開ク、我々日本人ハ斯カル大事ニ當ツテハ、陛下ニ上奏シ奉ツテ此跡始末ヲ現政府ニ於テ爲スノハ、萬止ムヲ得ヌ次第ト思ヒマスカラ本案ニ賛成スル理由ヲ……

○中村彌六君(百六十九番) 動議ヲ提出シマス、是ハ慎重ヲ加フベキモノデアリマスカラ委員ニ付託スル……(賛成々々ノ聲起ル) 委員ハ九名ヲ選ンデ

議長ノ指名ニ任ヒマス

○石阪昌孝君(五十六番) 委員ニ付託スルト云フ説ガ出マシテ稍々賛成モアリマシタガ、就イテハ少シ話シタイコトガアリマス

○議長(星亨君) 先決問題ガアリマスカラ……

○石阪昌孝君(五十六番) 委員ヲ選ブニ於テハ少シ條件ヲ本大臣ハ附シタイト思フ(笑聲起ル) 本代議士デアリマス

○議長(星亨君) 簡單ニ言ヘバ條件ハドウデアリマス

○石阪昌孝君(五十六番) 斯ウ云フ譯デアリマス彼レ豺狼ガ檻ヲ脱シテサウシテ彼レ自ラ生首黨ト云フコトヲ天下ニ公言シタ、ウレハ何カト云フト皆租稅ヲ濫用致シテ選舉干渉シタル者デアアル、今日ハ最早第三議會カラ第四議會ニ移ツテ、サウシテ其生首黨ト云フコトヲ天下ニ公言シタ奴ト云フ者ハ、即チ最早其曲直ハ天下ノ判斷ガ既定マッテアルコトデアアル、然ラバ此本大臣ハ……本代議士ハ先刻辯士ノ中止ヲ命ジタ……、就イテハ彼レ選舉干渉シタ此帝國ノ役人ハ悉ク此帝國議會ノ門前ニ其……、而シテ畏レ多クモ天皇陛下ト我々人民ト……(無用々々ト呼ブ者アリ) 天下ノ政治ガ始テ明ニナラウト拙者ハ思フ、ツレヲ……

○議長(星亨君) 宜シイ

○石阪昌孝君(五十六番) 立憲ト即チ專制トノ境界ヲ瞭然シナケレバナラナイ、確然シナケレバナラナイ

○議長(星亨君) 分リマシタ、分リマシタ、百六十九番……、議長ノ指名ト云フノデス、ケレドモ議長ハ斯ウ云フ問題ニ就イテハ指名シ惡イコトガアリマスカラ、ドウカ通例ノ何ニ依ッテ各部デ選舉スルトカ何トカ云フコトニ願ヒタイ

○中村彌六君(百六十九番) 左ラバ各部デ選舉シテ通算スルコトニ致シマス(賛成々々ト呼ブ者アリ)

○井上角五郎君(七十八番) 本員ハ委員ニ付託スルト云フ説ニハ簡單ニ反對ヲ表シテ置キマス、中村彌六君何人デアアル、石阪昌孝君何人デアアル、此選舉干渉ト云フコトニハ第三期以來又此上奏案ト云フコトニ御盡力ナスッタ方々デ、過日來……

○田中正造君(百四番) 通告ノ順ハドウナツテ居リマス

○議長(星亨君) 色々アリマスガ……

○田中正造君(百四番) 今議論ヲシテ居ル

○議長(星亨君) 是ハ宜シイ

○井上角五郎君(七十八番) 明日ニ議會ガ閉會ニナルト云フ今日ニ於テ、或ハ延會セラレ、カ知レヌケレドモツレハ非常ノ臨時ノ場合デアツテ、當前ノ順序カラ行ケバ明日閉會セラレ、ト云フ今日ニナツテ、此上奏案ヲ可決スルナラバ多數デ可決スルガ宜イ、否決シタイナラバ否決シテモ宜イ、撤回シタケレバ撤回シテモ宜イ、何ヲ苦ンデ之ヲ委員會ニ付託シテ委員ニ掘潰サシテ、我黨ハ是迄ノ方針ヲ變ジナカッタト云フ唯一ツノ功績ヲ院外ニ得ントスル、斯クマデニ彼等民黨ノ仕案ハ卑劣デアアル、即チ民黨ノ面目ヲ保チ我此議會ノ面目ヲ保ツタメニ、此議場ニ於テ可決ノ論ヲ定メテ直ニ採決シタ方ガ宜カラウト思フ、中村君石阪君殊ニ石阪君未ダ内閣更迭ノ前カラ、自由黨内閣ノ時本大臣、警視總監ノ地位ヲ自ラ茲ニ唱ヘツ、論ヲスル、斯クマデ今民黨ノ……

甚ダ惜ムベキコトデアルカラ、簡單ニ委員說ニ反對ト云フコトノ趣旨ヲ述ベテ置キマス

○中村彌六君(百六十九番)未ダ少シ盡サヌ所ガアリマスカラ一寸……

○議長(星亨君) 宜イ

○中村彌六君(百六十九番) 私ハ此動議ヲ出スニ當ツテ上奏ノコトデアリマスカラ、慎重ニ慎重ヲ盡シテ文字ノ如キモノモ能ク調ベテサセニヤナラヌト云フ觀念デ居ルノデゴザイマス、然ルニ何故ニ御性質トハ云ヘ斯クマデニ横這ヲ爲スノデアルカ、何故ニ斯クマデ横這ニ這入ツテ議論ヲスルカ、更ニ私ハ分ラナイ、委員ト云フ者ハサウ長ク握ツテ居ルト云フコトハアルマイ、今日直ニ委員ノ報告ガ出來ルカモ知レナイ、且ツ議會ト云フモノモ二日延ビルカラ左様ニ御心配ニハ及バナイ、斯クマデ横這ヲスルト云フノハ……

○議長(星亨君) 委員付託說ガ出テ賛成ガアリマスカラ決ヲ採ル外ナイ、中村君ノ委員付託說ガ出テ、其委員ハ各部ニ於テ選舉スル、各部ニ於テ選舉シテ通算スルト云フノデスカ

○中村彌六君(百六十九番) 各部選舉シテ通算スル

○議長(星亨君) 中村君ノ說ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依ツテ委員ニ付託スルコトニナリマシタ諸君ニ 詔勅ガ傳達ニナリマシタカラシテ此 詔勅ヲ奉讀致シマス

(議員一同起立シテ敬禮ヲ表ス)

朕本月二十八日迄帝國議會ノ延長ヲ命ス

御名 御璽

明治二十六年二月二十四日

總テ大臣ガ連署シテゴザイマス

(小坂善之助君演壇ニ登ル)

○小坂善之助君(二百十六番) 本員ハ茲ニ緊急動議ヲ提出シマシテ議事日程ノ變更ヲ望ミマス者デゴザイマス、デ議事日程ヲ變更シマシテ貯蓄銀行條例廢止案ヲ茲ニ議シタイト思ヒマス、デ此貯蓄銀行條例廢止案ハ我々ガ昨年十二月既ニ提出シマシテゴザイマス、其際ニ既ニ之ヲ議サントスルニ當リマシテ、政府カラシテ緊急事件トシテ會社法ノ施行マデ銀行條例——貯蓄銀行條例施行ハ延期ト云フコトニ法律案ガ出マシタノデ、ソレヲ既ニ本院ニ於テ可決ニナリマシタカラシテ、其延期ト云フコトニ就イテ此案ヲ一旦撤回致シマシタノデ、然ルニ會社法ハ諸君モ御承知ノ如ク貴衆兩院ノ決議ヲ經マシテ本年七月一日ヨリ施行スルト云フコトニナリマシタ、是非トモ當議會ニ於テ之ヲ廢止スルノ必要ガ起ツテ參リマシタノデ、第五議會マデ待ツテ居ルコトガ出來マセヌ、此問題ニ就イテハ議事日程變更ニナリマシタ上ニ、此貯蓄銀行條例ト云フモノハ實際ニ行フコトノ出來ヌト云フコトヲ述ベル積リデゴザイマスガ、免ニ此處ニ議事日程變更シテ、此貯蓄銀行條例ヲ廢スルト云フコトヲ議サレンコトヲ希望致シマス

○議長(星亨君) 賛成ガアリマスカ

(賛成々々ト呼ブ者アリ)

○角田眞平君(百五十七番) 是ハ私共是非遣ラナケレバナルマイト思フ

○議長(星亨君) 議事日程變更ノ動議ガアリマスカラ決ヲ採リマセウト考ヘマス、即チ今小坂君ガ貯蓄銀行條例廢止法律案ヲ議スルタメニ議事日程ヲ變換シタイト云フ動議デゴザイマスカラ、此動議ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス

(多數々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ソレデハ數ヘテ見マス

(水野書記官長起立者ノ數ヲ數フ)

起立者 多數

○議長(星亨君) ソレナラバ多數ダサウデス、今度ハ間違ヒマシタ、依ツテ議事日程ヲ交換サレマシタ

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今小坂氏ヨリ提出ニナリマシタ貯蓄銀行條例廢止案……

○角田眞平君(百五十七番) マダ議事日程ヲ變更シタ丈デ、マダ問題ニハナラナイ

○政府委員(田尻稻次郎君) マダ問題ニナラナイ譯ナラバ後トデ宜シウゴザイマス、議長ヨリ宜シイト云フコトデアリマシタカラ此處ニ參リマシタ

(此時議長星亨君其席ヲ退キ副議長曾禰荒助君議長席ニ著ク)

貯蓄銀行條例廢止法律案 第一讀會

○議長(曾禰荒助君) 朗讀ヲ省キマス——、二百十六番

○小坂善之助君(二百十六番) 諸君ノ御同意ヲ得マシテ議事日程ヲ變更シテ、貯蓄銀行條例廢止案ヲ議スルコトニ相成リマシテ誠ニ幸ノコトデゴザイマス、デ此廢シマスルノハ

明治二十三年八月法律第七十三號貯蓄銀行條例ヲ廢ス

ト云フ法律案デゴザイマス、ソレデ之ヲ發サナケレバナラヌト云フ理由ハ、大體此貯蓄銀行條例ト云フモノハ實際地方ニ行フコトノ出來ヌモノデゴザイマス、何ゼ地方ニ行フコトガ出來ナイカト申シマスルト、大體此貯蓄銀行ノ資金ノ運轉ニ甚シイ制裁ヲ加ヘテアリマスルノデ、連モ此貯蓄銀行ハ其資金ヲ運轉スルコトガ出來ナイデ、此貯蓄銀行條例ノ第五條ニ「貯蓄銀行ハ左ニ掲グル事項ノ外其資金ヲ運轉スルコトヲ得ズ」トアリマスデ第一ガ「貸付」第二「證券ノ割引」第三ガ「國債證券及ヒ地方債證券ノ買込」トシテ第一「貸付」第六條ニ至ツテ「貯蓄銀行ニ於テ前條ニ依リ貸付ヲ爲スハ其期限六箇月以內ニシテ國債證券地方債證券ヲ質ト爲シタル場合ニ限リ其割引ヲ爲スハ支拂實力ニ付疑フベキ理由ノ存セサル者二名以上ノ裏書アル爲換手形約束手形ニ限ルヘシトナレマス、此貯蓄銀行ガ資金ヲ貸サウトシマス時分ニハ、公債證券ノ抵當ガナケレバ貸金ヲスルコトモ預金ヲスルコトモ出來ナイトナツテ居リマス、併ナガラ第一地方ニ行キマスルコトサウナカノ公債ヲ所有シテ居ル者ガ多クナインノデゴザイマス、殊ニ公債デモ多ク所有シテ居ル様ナ人ハ、ソレヲ抵當ニ出サズトモ信用ヲ以テ幾ラモ金ノ融通ガ出來マスタメニ、此制裁ニ依ツテ貸金ヲナサウトシテモ借ル者ガ無イヤウナ結果ニナリマス、ソレカラ證券ノ割引ト云フコトモ諸君御承知ノ通り今十分地方ニ行ハレテ居ラヌ、マ

ダ證券ノ割引ト云フコトヲ以テ貯蓄銀行ガ資金ノ運轉ヲスルト云フコトニハ往キマセヌ、サウシマスルト貯蓄銀行資金運轉ト云フコトニ就キマシテハ、公債證書ヲ買入レテ所有スルヨリ外道ナクニナリマス、公債ヲ買入レルト云フコトニシマスルト、詰リ其銀行ノ利益ト云フモノハ二五厘カ三厘カニハナヌト云フ様ナル結果ヲ見マスノデ、此七月一日ニ至ツテ此法律ヲ施行スルト云フ場合ニナリマス、此法律ニ依ツテ貯蓄銀行ノ起ラヌノミナラズ、是マデ地方ニ在ッタモノハ皆營業ヲ止メル外ナクニナリマス、デ普通ノ銀行ニナルト云フコトニシマスルト、第一是マデ地方ノ貯蓄銀行ガ預リ置イタ貯蓄金ト云フモノハ、其貯蓄者ニ渡シテ一時拂戻サナケレバナラヌコトニナリマス、其拂戻シタ貯蓄金ト云フモノハ何ウスルカト言ヘバ、詰リ貯蓄者ハ之ヲ永遠ニ貯蓄スル積リデ預ケタルモノデアリマスカラ、是ハ驛邊局ノ貯金ニテモ預ケルヨリ外ハナイコトニナルダラウト思ヒマス、サウ致シマスルト地方金融上ニ非常ノ影響ヲ及シテ、詰リ地方ノ金ヲ中央ニ集メルト云フ様ナ結果ニナツテ、金融上地方ハ餘程迷惑ヲスル様ナ結果ニナラウト思ヒマス、故ニ此條例ハ詰リ貯蓄銀行ヲ許シテ其實ハ禁止ト同シ性質ヲ帶ビテ居ルノデ、此條例ニ依ツテ營業ヲシヤウト云フニハ、詰リ地方ノ義務トカ何トカ云フ事デ無ケレバ、營業ノ目的ヲ持ツテ此條例ニ依ツテ貯蓄銀行ト云フモノハ起ラヌコトニナリマス、詰リ此條例ヲ施行スルト云フコトニナリマス、地方ノ金融上ニ一大影響ヲ及ボサウト思ヒマスカラ、此際ニ此條例ヲ未ダ施行シマセヌ前ニ當ツテ廢止ル方ガ、餘程得策デアラウト考ヘテ之ヲ提出致シマシマスノデ、成ルベクハ諸君ノ御賛成ヲ得テ速ニ可決セラレムコトヲ希望致シマス

(贊成キヤト呼ブ者アリ)

○野出鎬三郎君(二百九十三番) 質問ガアリマス、此銀行法——貯蓄條例デゴザリマスガ、此法律案ガ政府カラ提出セラレテ、延期法案ヲ出シテ當院デ之ヲ決議シテ、確カ兩院ノ決議ヲ經テ今ヤ發布ニナルコト、記憶シテ居ル、其タビ今發議者ノ提出サレタ此法案ハ撤回サレテ居ル、撤回サレテ又之ヲ提出スルノハ妨ハナイ話デアラガ、先キニ政府ガ提出シタノモ矢張同一ノ法案デアレバ、先キニハ延期シテ今之ヲ廢止スルト云フト、丁度一ツノ法律案ニ對シテ此衆議院ハ再ビ決議スルト云フ疑ガアル、之ヲ所謂二事再議ト云フ様ナモノデアナイカト云フ疑ガアリマスガ、ドウ云フ御考デアリマスカ

○小阪善之助君(二百十六番) 分リマシタ、ウレハ政府カラシテ此銀行條例貯蓄銀行條例ノ延期案ヲ出シテ、ソレガ本院ニ於テ可決ニナリマシタカラ一時撤回シマシタ、其政府ガ延期スルト云フ際ノ法律案ハ此會社法施行ニ至ルマデ、詰リ會社法デゴザリマス、商法ノ中ノ何條々々何編何章ト云フ様ニナツテ居リマスガ、其施行ニ至ルマデ延期スルト云フ法律案デアリマスデアリマスカラ、此商法ノ中ノ會社法ガ詰リ商法全體ト共ニ二十九年マデ延期ト云フ様ナコトニナレバ、今此貯蓄銀行條例ヲ廢止サナクテハナラヌト云フ必要ハ起リマセヌ、然ルニ此會社法ノ施行マデ延期スルト云フコトニナツテ居ル會社法ガ、今日ニ至ツテ本院ニ於テモ貴族院ニ於テモ本年七月一日ヨリ施行スルト云フコトニ兩院共議決シタ、本年七月一日カラ施行スルニ就イデハ、此實際行フコトノ出來ヌ貯蓄銀行條例ハ是ニ於テ廢止サナクテハナラヌト云フ

必要ガ起ツテ參ル、宜シウゴザリマス

○野出鎬三郎君(二百九十三番) サウ云フ御意見ナラ宜シウゴザリマス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 先刻ハ既ニ提出ニナツタモノト心得マシテ少シ早マリマシタガ、唯今提出ニナリマシタ案ハ幾々提出者ヨリ理由ヲ述ベラレマシタガ、貯蓄銀行ト申スモノハ御承知ノ通りノ立派ナモノデ、決シテ之ガ嚴正ノ檢束ヲ求メヌ以上ト云フモノハ之ヲ施行スルコトノ出來ヌモノデアリマスカラ、政府ニ於テハ一キリ嚴正ナ法律ヲ立テマシテ、サウシテ細民ノ貯蓄ト云フモノヲ安全ニ保護スルト云フ所ノ銀行特質ヨリシテ以テ、此法律ガ出テ居ル譯デアリマスルカラ、今之ヲ全ク廢セラレマスルト、貯蓄銀行ト云フモノニ對シテ特別ノ規定ガ無イト云フコトニナツテ、甚ダ貯蓄ノ安全ナルコトニ氣遣ヲ致シマスカラ、ドウゾ此法律ト云フモノハ同一視スルモノデアリトヲ願フ、他ノ銀行ト決シテ此貯蓄銀行ト云フモノハ同一視スルモノデアリマセヌカラシテ、其區別等ハドウカとつくり御研究ニナツテ、サウシテ貯蓄銀行ト云フモノハ貯蓄銀行ヲシテ他ノ又事業ニ向フ銀行ト云フモノハ其又特種ノ法律ニ於テ組立テ、以テ、我國銀行ノ總體ノ組織ト云フモノガ彼是相待ツテ完全ナランコトヲ求メマスカラ、ドウゾ此廢止案ハ成立タヌコトヲ希望致シマス

○加賀美嘉兵衛君(二百九十一番) 政府委員ニ質問ガアリマス、唯今ノ所デハ貯蓄銀行條例ハ勿論行ハレテ居ルモノデアナイ、即チ無イト同一ノ話デアル、是非共之ヲ布カナケレバナラヌト云フ理窟カラ言フト、今日貯蓄銀行條例ガナイタメニ、ドレ程世間ニ貯蓄ノ不安心ヲ來シテ不便デアルト云フ事實ヲ認メテ居ナケレバナラヌ、本員等ノ思フ所デハ今日貯蓄銀行條例ガ施行サレタメニ少シモ貯蓄ノ安全ヲ缺イテ差支アルト云フコトヲ認メテハ居リマセヌガ、政府委員ガ是非共ナケレバナラヌト云フノハドウ云フ御見込カラ主張ナサルルカ、ソレヲ伺ヒタイ、其他ニモ色々未ダアリマスガ追ヒ伺ヒマス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 十分ニ認メタ廉ガアリマス、ケレドモ是ハ銀行ノ内幕デ、彼ノ銀行ガ斯ウシタア、シタト云フコトニナリマスルト、甚ダ此公會ノ場所デハ言フニ忍ビヌコトガアリマスカラ、檢束ノ及バヌ所デ以テ不都合ヲ來シタコトハ、種々アリマシタト云フコトヲ申シテ置キマス

○加賀美嘉兵衛君(二百九十一番) 之ヲ伺フコトガ出來ナケレバ他日伺ツテ、法律ノ議事ニ就イテハ效ガアリマセヌカラ餘儀ナイコト、シテ、ソレデハ外ノコトヲ伺ヒマス、貯蓄金ヲ貸付スルニハ國債又ハ地方債ヲ抵當ニ取ラナケレバナラヌ、或ハ二人以上ノ割引手形デナケレバ出來ヌト云フコトガアル、之ヲ地方ニ實行スルコトニナレバ東京大阪ハ卒ザ知ラズ、其他ノ諸府縣デハ連モ貯蓄銀行ハ成立ツコトガ出來マイト思フ、政府ハ貯蓄銀行條例ヲ施行スレバ貯蓄銀行ヲ杜絶シテ仕舞フト云フ趣意デアル、此ノ如キモノヲ施行シテ貯蓄銀行ガ成立ツテ往ツテ、貯蓄ノ安全ヲ達スルト云フコトガ出來ルト云フ御考デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 御答ヲ致シマス、凡ソ物ノ完全ヲ來タシ盛大ヲ

致スト云フコトハ、其物ノ性質ニ依リマシテ、各々特種ガアリマスカラ其源ヲ押ヘマシテサウシテ其物ノ過チナカラシムル、終リヲ全カラシメルト云フコトヲ爲サス以上ハ、ドウシテモ盛大ヲ期スルコトハ出來マセヌモノデアリマスカラ、之ヲ貯蓄ト云フコトヲバ、ゾコノニ湧イテ來ルニ任シテ以テ立テルト言ヘバ、一言スレバ大ニ貯蓄ヲ獎勵スル様ナコトニナリマスグレ、モ一朝、茲ニ過チガ生ジマス誠ニ細民ヲ苦シムルカラ、非常ナ度ニ及ビマスカラ、ソレデ、成ル丈ニ至ッテ貯蓄ト云フコトハ確カニナランコトヲ好ミマスルト、小サイノガツコノニ立ツコトハ或ハ不便ナ箇條ガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ成ルタケ資力ヲ纏メマシテ大キク安全ニ立テ、以テ貯蓄者ノ満足ヲ求メル、貯蓄者ニ安全安心ヲ與ヘルト云フコトハ、此法ハ十分ニ目的ヲ達スル積リデ無論居ルノデス

○加賀美嘉兵衛君(二百九十一番) サウ云フ御考ナラソレデ宜シウゴザイマス

○角田眞平君(百五十七番) 私ハ一言質問ヲシテ、一寸賛成ノ意ヲ述ベ様ト思ヒマス、貯蓄銀行條例ト云フモノヲ止メテ、たゞ銀行ガ會社法ハ七月一日カラ行ハレマスガ、ソレニハ支配ヲ受ケマスカ受ケマセヌカ

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今角田君ノ御話ハ

○角田眞平君(百五十七番) 貯蓄銀行條例ヲ止メテ、たゞ銀行ガ會社法ガ實施ニナルト云フト、其支配ヲ受ケマスカ受ケマセヌカ

○政府委員(田尻稻次郎君) たゞ銀行ガデスネ、勿論アノ銀行條例ト申スノハ國立銀行條例デアリマセヌガ、極ク單行ノ法デゴザイマスガ、普通ノ商法ト云フモノハ奉ゼナケレバナラヌモノデアリマシテ、普通ノ商法ヨリモ少シ銀行ノ特殊ニ入ルベキモノガアレニ掲ゲテアルノデゴザイマスカラ、アノモノガ銀行條例ニ掲ゲテナイ様ナモノト云フモノハ、會社株式會社ナラ株式會社、合名ナラ合名ト云フテ各々商法ノ條項ヲ奉ゼナクチャナラヌモノデアリマス

○角田眞平君(百五十七番) 無論私ハ發案者ノ説ニ賛成致シマシテ、緊急ニ此日程ヲ變更スルト云フコトマデ私ハ希望シテ居ツタ、成程金ヲ預ケル人ノ安心ト云フコトニナルト、事ニ依ルト使ハセナイト云フノガ一番安心デア

ル、全國ノ貯蓄者ハ或ル日本ノ大ナル銀行ヘ持ッテ來テ其處ヘ金ヲ預ケル、但シ利子ハ取レヌ、斯ウ云フ仕方ガ一番安心デアアル、恐クハサウ云フコトデハナクテ、預ケルト同時ニ此金ガ利子ヲ生シテ往キ、而シテ日本全國ノ經濟ノ上デ其金ガ相當ノ働キヲスルト云フコトガ此成立ト考ヘル、大藏省ハ心配ヲセラル、ノデアアルニ違ヒナイ、サウデナケレバ全國ノ經濟ニ眼ヲ注グ大藏省ノ職務ト云フモノハ頓トナイノデゴザイマス、ソレ故ニ預ケル人モ好ケレバ預カル人モ好クナケレバナラヌ、細カク言フト到頭斯ウ云フハ釜シイコトニナリマス、ト一番郵便局ヘ預ケテ東京ヘ金ヲ集メテ仕舞フト云フノガ、是ガ一番手ツ取り早クナルデアラウト云フ恐ガアル、加之既ニ唯今明言セラル、如ク相當ノ會社ヲ起サウトスレバ、此會社條例ニ從ハネバナラヌト云フコトガ、今マデナキ一ツノ條例ガ施行セラル、銀行ノ方ニハ銀行條例、會社ノ方ニハ會社條例ガアツテ、是ニ從ハネバナラヌト云フコトガ一ツ

ゴザイマスノミナラズ、是又ノ金ヲ地方廳デ預ッテ其人ガドウ云フコトヲスレバ宜シイノデゴザイマセウ、預ッテ金ヲ又其地方ヘ融通シテ、其地方ガソレバ餘澤ヲ受ケテ利益ヲ得、預ケル人ハ利子ガ餘計ニ這入ッテ來ルト云フノデ便利ヲ得テ居ルト私ハ信シテ居リマス、之、加之漸ク此節ハ何處ノ會社ハドウ云フ資産デアアル、己レガ蓄ヘタ所ノ者ガ階イ目ニ達フトカ達ハヌトカ云フ鑑定ヲスルト云フコトニ、稍々日本人ノ頭ガ細密ニナッテ來テ居ル、經濟上ノ考ニ就イテサウ考ヘテ見マスルト云フト、今マデアツタモノヲ止メルト云フト、餘程デゴザイマスガ、施行シテナイコトヲ此處テ矢張施行セヌト云フト、施行シテアルモノヲ止メルト云フトハ餘程相違ガアラウト思ヒマス、著シキ例ヲ見ザルノミナラズ、會社條例ヲ實行セラル、上カラハ實際骨ノ折レル仕方デ、大藏省ハ働イテ貫ハナケレバナラヌ、條例規則ニ依ッテ手ヲ束ネテ居テモソレデ宜シイ、ドウ云フ融通ガ利カカ利カヌカハ知ラヌガ、條例デソレデ宜シイト云フ安心ノ仕方ヨリ、著々目ヲ著ケテ保護セラル、コトヲ私ハ希望シマスルカラ、寧ろ是ハ廢シマシテ是マデノ通りニシタイト云フノガ私ノ希望デゴザイマス

○松田源五郎君(百二十七番) 此建議者ニ少シ質問致シマスルガ、此貯蓄銀行條例ト云フモノ、一體精神ハ、銀行其物ヲ保護スルデハナクシテ、貯金者ヲ保護スルト云フノ精神デゴザイマスガ、之ヲ廢スルト云フ御趣意ハ貯蓄者ヲ保護スルト云フコトハ別ニ法律デモ設ケルト云フノ御趣意デアリマスガ、唯是ハ廢シテ仕舞ッテ貯蓄者ヲ保護スルニハ及バヌト云フ精神デアリマスガ、ソレヲ一應御尋ヲ致シマス

○小坂善之助君(二百十八番) 御答致シマス、此貯蓄銀行條例ヲ廢シテ貯蓄者ヲ保護スルト云フコトハ、別ニ法律ヲ設ケルカト云フコトデゴザイマスガ、私ハ別ニ設ケルニハ及バヌト考ヘテ居ル、其故ハ成程是マデ隨分貯蓄銀行ガ、或ハ潰レマシタト云フ様ナ銀行ガ多クハアリマスガ、間々ナイデモナイ、併ナガラ今日以後ニナッテ此普通ノ銀行ガ貯蓄金ヲ預カルト云フコトニシマシテモ、即チ是マデナイ所ノ銀行條例ト云フモノガ一ツ發布ニナッテ、此銀行條例ノ支配ヲ受ケナクチャナラヌ、ソレカラ銀行條例ノミナラズ銀行條例ト共ニ行ハル、所ノ會社法ノ支配ヲ受ケナクチャナラヌ、シマスルト是マデナイ所ノ會社法ノ支配ヲ受ケ、ソレカラ銀行條例ノ支配ヲ受ケマスルカラシテ、是マデノ如キ不體裁ナコトハナカラウト存ジマス、故ニ私ハ實際行ウコトノ出來ナイ、此禁止同様に法律ヲ以テ地方ノ貯蓄銀行ト云フモノ、跡ヲ絶タシメルト云フ様ナ法律ヲ廢シテ仕舞ッテ、單ニ銀行條例會社法ノ支配ヲ受ケテソレデ格別不完全ト云フ様ナコトハナカラウト云フ考デゴザイマス

○松田源五郎君(百二十七番) 少シ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、簡單デゴザイマスカラ此處デ述ベマス、之ヲ廢スルト云フコトニ就イテハ賛成デアアル、併ナガラ其賛成スルニ就イテ少シ理由ガアリマス、本員ハ全ク之ヲ廢シテ仕舞ッテ貯蓄者ヲ保護スル法ヲ置カナイト云フコトハ甚ダ善クナイ、ソレハ今政府委員モ説明セラレマシタ通りニ、此貯蓄者ハ誠ニ少數ノ金額ト多數ノ人員デ成立ツモノデアリマス、ソレデ不幸ニシテ若シ此銀行ガ萬一破産スル等ノ場合ニ至ッテハ多數ノ人間ニ即チ貧民ノ多數ガ困難ヲ生ズルト云フ様ナ憂ガアルデゴザイマス、ソレ故ニ此銀行ト云フモノハ、此條例ト云フモノハ即チ此貯蓄者ヲ保護スルト云フ方ガ條例ノ重ナルモノニナッテ居ルデゴザイマ

是ハ三分ノ二以上ナケレバ往ケマセヌヨ、讀會ヲ省略スルニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(會禰荒助君) 數ガ足りマセヌ、即チ省略ヲシナイノデアル、議事日程ノ第三ニ移リマス

第三 土岐川河身改修工事差止ノ請願(請願委員長報告)

(淺香克孝君演壇ニ登ル)

○淺香克孝君(百五十八番) 私ハ此特別報告ヲスルニ當リマシテ、委員長ニ代リマシテ御報告ヲ致ス考デゴザリマス、此請願ハ岐阜縣可兒郡豐岡村平民農古田嘉助外三百三名ノ請願デゴザリマス、土岐川河身改修工事差止ト云フ請願デゴザリマス、此事ニ附イテ請願委員會ハ審查ヲ致シマシタガ、前年岐阜縣下震災ノ際ニ道路河川堤防等ガ陷落龜裂シタ者ガアル、之ニ向ッテ緊急勅令デ三百萬圓以上ノ金ヲ交付サレタ、而シテ此緊急勅令ヲ以テ交付サレタ金ハ全ク復舊工事ノタメニ交付セラレタモノデアル、而シテ此勅令ニ就イテハ當議會モ事後承諾ヲ全ク復舊工事ト認メテシテ居ル、然ルニ縣廳ニ於テハ復舊工事ニ反シテ可兒郡ノ池田村ト云フ處ニ於テ、土岐川ノ一部ヲ全ク新規ノ工事ヲ施シテ居ル、而シテ此土岐川ノ一部ニ就イテ新規ノ工事ヲ施シマスレバツレガタメニ、其近郷ノ者ガ非常ナ害ヲ受ケテ、其害毒ハ實ニ恐シイノデアル、ツレ故此新規ノ工事ハ復舊工事トハ全ク性質ノ變ハルモノデアルカラ、ドウゾ新規工事ヲ止メテ貫ヒタイト云フノデ縣廳ニ請願ヲ致シタ、縣廳モ採用セズ、縣廳ハ常置委員會ニ決議ヲ取リ此工事ヲ著々歩ヲ進メテ往クニ依ッテ、止ムヲ得ズ衆議院ニ請願致シタノデアル、斯様ナ請願趣旨デゴザリマス、ツレ故請願委員會ハ是ハ趣旨尤モナリト審查ヲ致シマシタ、之ヲ政府ヘ轉送スルコトヲ至當ナルト認メタノデゴザリマス、斯ク御報告致シマシタナラバ必ズ或ル御異論ガアル御方モアルカ知リマス、思フノデアリマス、例ヘバ何デモドウモ其工事ニシテ良イ工事デアラナラ異議ノアルベキ筈ガナイト、併ナガラ緊急勅令デ三百萬圓以上支出シタル目的ハ、全ク毀ハサレタノヲ舊ニ復スルタメニ支出シタル金額デアリマスカラ、假令現在其土地ニ於テ其河ニ於テ必要ナリ結構ナリト認メマシタモノデモ、復舊工事ノ外ハ決シテスルコトハ出來マセヌノデアリマス、ツレガタメニ害ヲ蒙ルト云フ此請願ハ、諸君ノ參同ヲ得マシテ其筋ニ轉送スル様ニ致シタイと思ヒマス

(藤野政高君演壇ニ登ル)

○藤野政高君(百十七番) 諸君、私ハ此土岐川河身改修工事差止ノ請願ハ之ヲ採擇スルコト云フコトヲ贊成スル者デゴザリマス、昨年十一月ノ初メニ當リマシテ改野耕三君高瀬藤次郎君ノ兩君ハ此土岐川河身改修工事ヲナサント致シマスル現場ニ臨ミマシテ、親シク取調ベラレタ譯デゴザリマス、然ルニ此現場其近傍ノ土岐川沿岸堤防ハ是非夫ノ震災ノタメニ破壊シテ居ル等ノ箇所、又此近傍ノ河身ヲ變更致シテ居ルト云フヤウナコトハ更ニ無イトノコトデアリマス、シテ見マシマス、シテ見マシマスハ全ク河身改修ニアラズシテ河身新設工事ヲ致ス者デゴザリマス、シテ見マシマスレバ此新設工事ニ夫ノ震災土木費補助ヲ濫費スルモノト言ハナケレバナリマセヌ、殊ニ又此河身改修工事ヲ施サント致シマシタ所ノ現場彼ノ多治見町字脇島ト申シマス所ハ、其

ス、ツレヲ九デ廢シテ仕舞フト云フノハ甚ダ宜シクナイ、ツレナラバ置カナイカト云フ御論モアルカハ知レマセヌガ、併ナガラ置クト云フコトニ致シテ置キマシテ、唯今ノ條例ヲ以テ此各地方ニ當籍メルコトガ出來ルカト云フト甚ダ出來ナイ、アノ條例ヲ以テ單獨ニ貯蓄銀行ト云フモノヲ設ケテ、各地方ニ置クト云フコトハドウシテモ事實出來ナイ、ツレデ出來ナイモノヲ置クノハ不用デアルト云フ所カラシテ、之ヲ廢スルコト云フノ意見デゴザリマス、之ヲ廢シテ代リニ貯蓄者ヲ保護スル法ハ銀行テ兼業ナリ或ハ專業ナリ、此貯蓄ヲ預カルモノハ斯様々々ナ方法ヲ以テスルト云フコトハ、精神ハ同ジ様ナコトヲ以テ別ニ法律ヲ設ケタト云フ考デゴザリマス、是ハ廢シテ別ニ法律ヲ設ケルト云フノ趣意ヲ以テ、此廢スルコト云フ方ニ本員ハ贊成致シマス

○野出鎬三郎君(二百九十三番) 一寸議長ニ御尋シタイコトガアル、衆議院規則第八十六條ヲ見レバ法律案ハ理由ヲ附シテ定規ノ贊成者ヲ得テ書面トシテ之レヲ出スコトニ規定シテアル、ツレカラ第八十八條ニハ此議案ヲ已付シテ後二日間ヲ經テ議スルコトナッテ、其但書ニ緊急勅令トシテ二日間ヲ制限スルコトガ出來マスル、ケレドモ冤ニ角議案ヲ配付シナイ以上ハ議事ニ上ボスコトハ出來ヌモノデアルト考ヘル、ツレニ就イテ此議案ハ既ニ配付ニナッテ居ルヤ否ヤ……

○議長(會禰荒助君) 隨分前ニ配付シテアル積リデス、二十五年十二月十日ノ提出ニナッテ居リマス

○野出鎬三郎君(二百九十三番) ツレハ一旦撤回サレタノデアリマス、今議スルノハ……

○議長(會禰荒助君) ツレハ一時止メタノデアリマセヌカ

○野出鎬三郎君(二百九十三番) 一時延期シタノデアリナイ、撤回シタノデス

○鶴飼郁次郎君(二百四十六番) 暫ク引クト云フ……

○小坂善之助君(二百十六番) 速記録ニアリマスカラ……撤回シタノデアリナイ

○議長(會禰荒助君) 二百九十三番ドウデス、モウ少シ遣リマセウカ

○野出鎬三郎君(二百九十三番) 撤回デナイト御認メナラバ宜シイ

○議長(會禰荒助君) 別ニ御異議ガナクバ本案第二讀會ヲ開クヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クニ贊成ノ方ハ起立

起立者 多數

○議長(會禰荒助君) 多數

○小坂善之助君(二百十六番) 會期モ切迫シテ居リマスカラ直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ……二讀會省略シテ二讀會ヲ確定議トスルヤウニ……

(贊成々々ノ聲起ル)

○角利助君(二百二十九番) 一體今日ノ議事ガ緊急勅令トシテ持出サレタカラ、議案等モ携ヘテ居リマセヌ、尙ホ先刻野出君ノ言ハレタル如ク以前撤回シタト云フヤウナコトニ遭遇シタ議案ヲ、商法施行ノ法律ガ決シタカラ云フテ持出サレタ議案、然ルニ本日直ニ三讀會ヲ開イテ確定スルコト云フコトハ不同意デアル、既ニ延會ニナッタコトナラ延バサレテ然ルベシト考ヘル

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(會禰荒助君) 決ヲ採リマセウ、讀會ヲ省略スルコト云フ決ヲ採リマス、

名稱ノ如ク三面ハ何レモ川デゴザリマス、又一面ハ山デアリマス、斯様ナ地
形デアリマスカラ致シマシテ、農業ヲ他ノ村ニ出テ致サント致シマスコトハ
實ニ難事ノ所デゴザリマス、而シテ此脇島ノ戸數ハドレ丈アルカ申シマス
ニ百二十四戸アリマス、其人口ハドレ丈アルカ申シマスニ四百二十有餘人
アリマス、是ハ皆平生如何ナル事業ヲ取ツテ生活ヲシテ居ルカト申シマス
ニ、何レモ専ラ農業ニ從事シテ農業ヲ以テ今日世渡ヲナシテ居ル所ノ者デゴ
ザリマス、サウシテ此脇島ノ田畑ハドレ丈アルカト申シマスニ、僅ニ二十五
町許リデゴザリマス、サウシテ此度此ノ河身改修工事ヲ致シマスガタメニ田
畑ヲ費シマス所ノ、潰シマス所ノ町歩ハドレ丈アルカト申シマスニ、幾
ド五町歩デゴザリマス、デ戸數ガ百二十戸デアッテサウシテ田畑ノ町歩ガ二
十五町デアリマスレバ、之ヲ一戸ニ分割ヲ致シテ見マスルト稍ク二段五歩
ニ、二段半ニ足ラス所ノモ、デアリマス、サウシテ此村ノ人民ハ何レモ
農業ヲ以テ生活シテ居ル者ト致シマスレバ、五町歩ノ田地ヲ潰シマスレバ如
何デアリマス、其脇島ノ人民ハ其生活ノ道ニ困難ヲ來スハ非常ナモノデハ
ゴザリマセヌカ、斯様ナ次第デアリマスカラシテ、是非此河身改修工事ト云フ
コトヲ差止メナケレバナラヌ次第デアリマス、然レモ拘リマセズ一萬六千有
餘圓ノ大金ヲ之ニ費シテ、此河身改修工事ヲサント致シマスノハ如何ナル
次第デゴザリマセウ、實ニ我ニ於キマシテハ此源因ヲ能ク確メテ、之ヲ排
斥シナケレバナラヌ次第デアリマス、聞ク所ニ據リマスレバ此脇島河身改修
工事ヲ爲サント致シマスル其近傍ノ或ル人民ト、夫ノ土木官吏其局ニ當リマ
ス所ノ人トガ此不急ナル無用ナル有害ナル工事ヲ起シテ、サウシテ各々其懷
ヲ暖カニセントスル等ノコトガアリマス、如何ニモ私思ヒマスニサウデアラ
ウト思ヒマス、昨日モ齋藤君ガ言ハレマシタガ、過日岐阜縣下ノ土木官吏ハ
悉ク一時ニ免職サレタデハゴザリマセヌカ、此免職サレタノハ何ノタメデゴ
ザリマセウ、土木官吏ノ一吏位ガ免職サレタト云フコトナラ免モ角モ、悉ク
土木官吏ガ一時ニ免職ニナッタト云フノハ皆、震災費ニ就キマシテ種々不
都合ナルコトヲ爲シ、ソレガタメニ此議場ノ質問ヲ受ケ、殆ド之ヲ抛ッテ置
クコトガ出來ヌト云フノデ、左様ナコトヲ默許セラレタル縣知事ニ於テモ如
何セン許スコトガ出來ナイカラ、一時ニ免職シタ譯デハゴザリマセヌカ、實
ニ此ノ如キ不都合ナル奸徒——官吏此等ノタメニ此儘ニ置キマシタナラバ、
實ニ此人民ハ迷惑ヲ蒙ルノデゴザリマス、我々ノ膏血ヲシテ斯クナル無法
ナル斯クナル暴惡ナル官吏ト人民ト共ニ相組ンデ、己ノ懷ヲ暖メヤウト云フ
ノデアル、故ニ是非私ハ此請願ハ採擇シテサウシテ速ニ政府ニ廻ハシテ、
此工事ヲ直ニ差止メルト云フコトニスルト云フコトニセナケレバナラヌト思
フデゴザリマス、ソレ故ニ此請願ハ採擇スルト云フコトニ賛成スル一人デゴ
ザリマス、滿場ノ諸君願クハ滿場ノ一致ヲ以テ賛成スルコトヲ願ヒマス、昨
日夫ノ羽栗郡ノ工事ノ請願ニ就キマシテハ之ヲ採擇スルト云フニ就イテハ多
數デゴザリマシタガ、若シ此工事ヲ爲サシメマシタナラバ人民ノ害ニナル次
第デアリマスカラ、ドウカ滿場ノ諸君ハ、是非此請願ヲ採擇スルト云フコトニ
賛成アラシコトヲ希望シマス

(賛成々々ノ聲起ル)
(採決ト呼ブ者アリ)

○議長(會禰荒助君) 採決シマス原案ニ賛成ノ諸君ハ起立

(少數) 多數ト呼ブ者アリ

○議長(會禰荒助君) 暫ク御猶豫ヲ願ヒマス、坐ッテ宜ウゴザリマス

○木佐徳三郎君(七十五番) 議長

○議長(會禰荒助君) 何デス

○木佐徳三郎君(七十五番) 唯今ノ起立ハ何デ御取替ニナリマシタカ

○議長(會禰荒助君) 默ッテ居テ貰ヒタイ

(定員ハナイ定員ハ十分アルト呼ブ者アリ)

○議長(會禰荒助君) モウ一遍宣告シマスヨ、本案即チ土岐川河身改修工事
差止ノ請願、之ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(會禰荒助君) 多數、諸君ニ御諮リシマスガ、先刻今日直ニ二讀會ヲ
開クト云フノガ消滅致シマシタガ、時期モ切迫シテ居リマスカラアノ議事ヲ
明日ノ議事日程ニ掲ゲテハ如何デアラウカト思ヒマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(會禰荒助君) 別ニ御異議ガナケレバ其通り計ラヒマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(會禰荒助君) 議事日ノ第四ニ移マス

(加賀美嘉兵衛君演壇ニ登ル)

○加賀美嘉兵衛君(二百九十一番) 請願委員長ニ代ッテ御報告致シマス

岐阜縣震災土木工事實地調査ノ請願、即チ印刷シテ配付ニ及ンダ通り、岐阜縣
安八郡牧村平民農金森万次郎外四十五名ヨリ提出デゴザリマス、此請願ノ
大要ハ岐阜縣ノ震災ニ際シテ政府ガ三百萬圓ヲ支出シテ土木工事ノ費用ニ充
テタガ、其監督ガ甚ダ不行届デ工事ガ疎漏デ復舊工事ノ實ヲ舉ゲルコトハ出
來ナイカラ、此際檢査ヲシテ貰ヒタイト云フ請願デゴザリマス、請願委員會
ハ之ヲ採擇スベキモノト審査判定シテ、茲ニ報告ニ及ビマス場合デゴザリマ
ス、岐阜縣震災土木工事ノ不信用ナルコトハ既ニ天下公論ノ認ムル所デ、又
當衆議院ニ於テモ第三議會以來屢々質問討論致シタコトデゴザリマス、最早
此岐阜縣ノ土木工事ニ向ッテハ不都合ト云フコトヲ喋々辯ズル迄モナカラウ
ト思フ、併ナガラ此請願ヲ採擇シテ何ガ故ニ工事ガ粗惡不完全デアル、何ガ
故ニ復舊工事ノ實ヲ舉ゲヌカ、何ガ故ニ建築ノ監督ガ疎漏デアルカ、何ガ故
ニ調査ガ必要デアルカト云フ材料ノ一二ヲ述ブルコトハ、簡單ト云フ御要求
アルニモ拘ラズ必要デハナカラウト思フカラ、極ク大要ナルモノ僅カ一二
ヲ述ブルコト、致シテ止メス置キマス、大垣市ニ於テ震災後新ニ架シタル所
ノ橋ガ昨年ノ九月十三日ノ唯一夜ノ中ニ七箇所程一時ニ墜落致シタ、其墜落
メニ、一時ノ出來事トシテ一時ニ墜落シタト云フコトハ、工事ガ完全ナルガ
カ監督ガ行届イテ居ルカト云フコトハ判斷スルニ餘リアルト思フ、又高河原
ノ閘門即チ水門工事デゴザリマス、是ハ二萬五千圓程ヲ費シタ工事デゴザリ
マスガ、是モ落成後數月ナラズシテ昨年六月二十四日ニ唯長良川一回出水ノ
タメニ破損シテ、加納輪中九十五村一時ニ溺没ノ害ヲ被リマシタ、而カモ此

工事ハ直轄ノ工事デアル、日本土木會社ニ於テ請負ツテ其請負タル日本土木會社ト、此工事ノ設計ヲ爲シタル技師ノ佐伯某ト云フ者トノ間ニハ、開クニ忍ビザル醜聞モアツタサウデゴザイマスガ、其風説ハ風説トシテ其證據トナルベキモノ、一ヲ考レバ、即チ地形ヲ圖メタルニ一丈三尺程ノ杭ヲ打込メ設計デアル、處ガ夜中竊ニ切リ縮メテ請負人ガ六尺五寸ノ杭ヲ打込メ即チ二萬五千圓ヲ費ヤシタル水門ガ破壊シタルコトハ事實デアル、關係村落ノ人民ハ證據物件ヲ押ヘテ佐伯技師ニ質問シタル所ガ、技師ノ言フニ最初ハ一丈三尺程ノ杭ガ要ルト思フタ所ガ、段々考ヘテ見タルハ學術上實驗上六尺五寸デ宜シイト云フコトヲ發見シタルカ切リ縮メタルト云フ、然ラバ何ゼ最初ニ一丈三尺ノ設計ヲシタルカ、何ゼ途中デ發見シタルナラバ其設計ヲ變ヘナイノデアルカ、是等ノ事實ハ縱令二百二十八番ナラザルモ、本員ヲシテ述ベシメテモ、二時間ヤ三時間デハ述ベ盡セヌ程アル、ケレドモ凡ソ一語ヲ擧ゲテ三語ヲ推シ測ルコトガ出來ヤウト思フニ依ツテ此處等ハ之ニ止メテ置キマス、諸リ請願者ハ監督ガ不行居デアル工事が粗漏デアル、故ニ實地ノ調査ヲ請ヒタイト申出タルハ事實ニ就イテ至當ノコト、考ヘマス、抑ニ國家ノ金ヲ支出スルコト三百萬圓、之ヲ岐阜震災地方ノ土木工事ニ充テタ其支出シタル金ハ帝國ノ公金デアル、之ヲ受ケタル所ノ者ハ災害ヲ被タル災餘ノ慘狀ヲ極メタ地方デアル、之ヲ適宜ニ支拂ツテ以テ國家ノ公金ヲ一厘タリトモ苟モシナイト云フコトハ、監督者タル者ノ當ニ務ムベキ所デアル、之ヲ適宜ニ使用シテ災害地方ノ災難ヲ救フト云フコトモ監督者タル者ノ適當ノ仕事デアル、然ルニ監督ニ任ズル人ガ慎重憂慮以テ事ノ萬全ヲ圖ルコトヲ務メズシテ、不完全極マル工事を爲シテ國家ノ公金ヲ濫費シ、災害地方ノ供給ヲ怠ツタ云フコトニ至ツテハ甚ダ容易ナラヌコトデアラウト思フ、我天下ノ公論ヲ代表スル所ノ衆議院、行政ノ監督ヲスル所ノ衆議院ハ、滿場一致ヲ以テ此請願ヲ採擇スルコトニ御賛成ニナルコトヲ本員ハ信ジテ疑ヒマセヌ

(採決々々ノ聲起ル)
○議長(會禰荒助君) 決ヲ採リマセウ本案ニ賛成ノ諸君ハ起立
起立者 多數
○議長(會禰荒助君) 多數 議事日程第五ニ移リマス 朗讀
○齋藤桂次君(二百二十八番) 豫算委員ハ五時カラ豫算委員會ガゴザイマス
ノデ……

第五 宮津港ニ浦潮斯德港等貿易ニ關スル船舶ノ出入
及貨物ノ積卸ヲ許スノ法律案(神輿知常君提出) 第一讀會
(町田書記官朗讀)

明治二十六年四月一日ヨリ京都府丹後國宮津港ニ於テ露領浦潮斯德及朝鮮國貿易ニ關スル帝國臣民所有ノ船舶ノ出入及貨物ノ積卸ヲ許ス
但該貿易ニ關スル手續ハ明治十六年十二月布告第四十號ニ依ルヘシ
(神輿知常君演壇ニ登ル)

○神輿知常君(二百四番) 是ハ甚ダ關係ノ小サイ、國家ニ對シマシテハ小サイコトノヤウデアリマスガ、時日切迫シタ今日清聴ヲ煩スノハ恐縮デゴザイマスケレドモ、簡單ニツレヲ述ベマスカラ清聴ヲ願ヒマス、宮津港ハ申シマス

迄モゴザイマセヌ、既ニ御承知ノ通りニ過日鐵道ニ關係ノゴザイマス舞鶴ヨリ六里許リ西ノ港デゴザイマシテ、ソレニハ談話室ニハ寫眞ナドモ出シテ置キマシタガ、長ク申ス迄モナク御承知ノ港デゴザイマス、昨年來浦潮斯德ノ方ハ此地方カラ二三名人ヲ遣シテゴザイマス、處ガ此諸種ノ物品ノ貿易ノ見込ノゴザイマス外ニ特ニ牛ト石デゴザイマス、浦潮斯德ノ方デハ例年牛ヲ朝鮮カラ買ヒマス、處ガ朝鮮デハ檢疫ノ法ガ届カヌカラ兎角病牛ガアルカラ、依ツテ日本ノ牛ヲ取リタイモノデアルト云フテ相談ヲ受ケマシテ、年六千頭位ヅ、ハ約束ガ出來ルト云フコトデアリマスガ、唯今ノ模様デハ運搬ノ工合ガ不便デ之ヲ達スルコトガ出來ナイ、三丹ハ御承知ノ如ク牛ノ有名ナ地方デゴザイマス、デ幸ニ此港カラ直接ニ送りマスヤウニナリマスレバ、初年ハ二千乃至三千頭位ヨリシカ行ケマスマイガ、一兩年ヲ俟タズシテ其約束ヲ滿タスコトガ出來、又アノ地方ノ増殖ヲ見マスレバ一萬頭ニモ及ブコトノ出來ルノハ甚ダ賭易キコト、初年カラ二千頭三千頭ハ出來ル見込、又彼地ニ建築條例ガ出マシテ、石若クハ煉瓦デナクテハ家ヲ造ルコトハ出來ヌトナリマシタ、ガ石モ三丹地方ハ最も多ウゴザイマス、殊ニ内務省ノ調ニ據リマスルト最も寒氣ニ堪ヘル石ガ多クアリマスデ、ドウカ是モ遣リタイト云フコトデゴザイマス、デ朝鮮地方ノ方ノ貿易ノコトハ是ハ特ニ申シマセズトモ、最も是ハ各員ノ御承知ノ如ク北海岸ノ地方ノ者ガ切望シテ居ル所デゴザイマス、唯特ニ申シテ置キマスノハ北海岸地方ニハ五六港モゴザイマス、是等ニモ追ニ開クコトハ必要デゴザイマセウカラト云フテ居ル意見モゴザイマスコトヲ承知シマシタガ、既ニ南海岸ノ所デハ馬關ナリ博多ナリニ許サレタル、對州ニモ二箇所許サレタルアルト云フコトデ船舶ニ限ツテ出入ヲシマスルノハ、軍防上ニモ他日開港上ノ談判ニモ少シモ差響ノナイコトデゴザイマスカラ、ドウカ御賛成下サルヤウニ願ヒマス

(贊成々々採決々々ノ聲起ル)
○議長(會禰荒助君) 御異存ハゴザイマセヌカ、(大贊成ト呼ブ者アリ)然ラバ決ヲ採リマセウ、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フノ諸君ハ起立
起立者 多數
○議長(會禰荒助君) 多數
○神輿知常君(二百四番) 殊ニ斯ノ如キ單純ノ問題デゴザイマスカラ、直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
(贊成々々ノ聲起ル)
○議長(會禰荒助君) 別ニ御異存ガゴザイマセネバ滿場一致ト見マシテ……

○村松龜一郎君(二百十一番) 直ニ確定議ヲ願ヒマス
○議長(會禰荒助君) 然ラバ是ヨリ二讀會ヲ開キマス
○由雄與三平君(二百八十五番) 序ニ三讀會ヲ違ネテ開クコトニシタイ即チ讀會ヲ省略シタイ
(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(會禰荒助君) 然ラバ二讀會ヲ以テ確定議トシテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(會禰荒助君) 一人モ異議者ナクシテ確定致シマス、……少シ時間モ早ウゴザイマスガ段々委員會ノ方ニ參ルノデ人ガ減リマスカラ、今日ハ本會ハ是デ閉ヂマシテ明日ノ議事日程ヲ報道致シマス……明日ノ議事日程ヲ報告致シマス

(水野書記官朗讀)

午前十時開議

第一 明治二十四年度豫備金支出ノ件(政府提出) (特別委員 長報告)

第二 明治二十四年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出) (特別委員 長報告)

第三 明治二十四年度大阪砲兵工廠豫備費支出ノ件(政府提出) (特別委員 長報告)

第四 明治二十四年度ニ於テ中央備荒儲蓄金、第一高等中學校用途指定寄附金、鹿兒島高等中學造士館特別資金、東京盲啞學校維持資金ヲ以テ豫算超過若クハ豫算外支出ノ件(政府提出) (特別委員 長報告)

第五 貯蓄銀行條例廢止法律案(小坂善之助君外一名提出) (第二讀會(特別委員 長報告))

第六 海軍改革建議案 (特別委員 長報告)

第七 製鐵所設立ニ關スル建議案(柏田盛文君提出) (特別委員 長報告)

第八 生絲検査所法案(神輿知常君外十三名提出) (第一讀會)

第九 生絲検査所設置ノ建議案(影山秀樹君外七名提出) (第一讀會)

第十 蠶業傳習所設置建議案(五十嵐力助君外十三名提出) (第一讀會)

第十一 海底電線布設ニ關スル建議案(鵜飼郁次郎君提出) (第一讀會)

第十二 加波山事件入獄者特赦請願 (請願委員 長報告)

第十三 加波山靜岡等ノ事件ニ關係セシ集治監在囚人特赦請願 (請願委員 長報告)

第十四 加波山靜岡名古屋屋浦和等ノ事件ニ連係セシ罪囚特赦復權請願 (請願委員 長報告)

第十五 舊福井縣藩卒士族へ編入及復秩ノ請願 (請願委員 長報告)

第十六 風水災地方租稅特別處分法案(加賀美嘉兵衛君外十二名提出) (第一讀會)

第十七 古物商取締條例中改正法律案(森東一郎君外二名提出) (第一讀會)

第十八 海關稅法案(鈴木昌司君外四名提出) (第一讀會)

第十九 外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案(角田眞平君外十名提出) (第一讀會)

第二十 官有林野ノ處分ニ關スル建議案 (特別委員 長報告)

第二十一 昆布輸出稅免除法律案(鈴木萬次郎君外二名提出) (特別委員 長報告)

第二十二 神祇官復興上奏案(早川龍介君外五名提出) (會禰荒助君) 諸君、唯今報告シマシタ時間ヲ晝ノ一時トシマシタガ、是ハ誤デアリマス、明日ハ朝ノ十時カラ開キマス、左様御承知ヲ…… 午後五時四十四分散會

